操作ガイド

PIXUS MG6130

フォト／楽しい写真印刷

コピー

ディスクレーベルの印刷

写真に手書き文字合成

写真の焼き増し

スキャン／パソコンから印刷／
そのほかの使いかた／用紙 / 原稿のセット／
お手入れ／困ったときには など

かんたんスタートガイド

らくらく操作ガイド（本書）

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

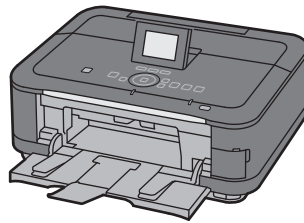
使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

こんなことができます

プリント写真から

メモリーカードやUSB
フラッシュメモリーから

カメラや
携帯電話から

写真を印刷

レイアウトして印刷

文字や絵と合わせて印刷

絵はがき、カレンダー、シールも作れるよ！

写真を印刷

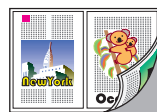
文字や絵と
合わせて印刷

レーベルをコピー

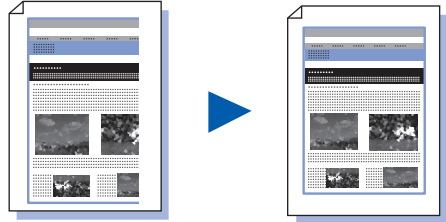
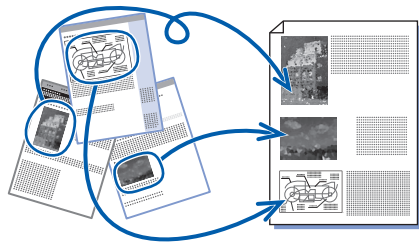
両面にコピー

2ページを１枚にコピー

4ページを１枚にコピー

組み合わせると

ウェブページを思いのままに印刷する

Easy-WebPrint EX

ページの端が切れないように印刷

自由にレイアウトして印刷

パソコンのデータを使って印刷する

Easy-PhotoPrint EX

写真を印刷する

アルバムを印刷する

レーベルを
印刷する

動画を切り出して
印刷する

カレンダー、シール、名刺も作れるよ！

写真や文書などを
スキャンする
MP Navigator EX

プリンターを設定する
マイ プリンタ

詳しい使いかたを
調べる
『もっと活用ガイド』

付属の説明書の種類と見かた

かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。
はじめにお読みください。

らくらく操作ガイド（本書）

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。
写真の印刷やコピーなどの基本操作のほかに、インクタンクの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

一歩進んだ使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。
本製品をさらに使いこなすためにお読みください。

このほかに、『設置前に必ずお読みください』、『ネットワーク設置で困ったときには』などが付属しています。

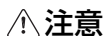
目次

Exif Printについて

本製品は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

記載について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重　要	守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
参　考	操作の参考になることや補足説明が書かれています。
Windows	Windows独自の操作について記載しています。
Macintosh	Macintosh独自の操作について記載しています。

本書ではWindows 7 operating system Home PremiumまたはMac OS X v.10.6.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。
ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

商標、ライセンスについて

- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品には、Microsoft社より使用を許諾されたexFATファイルシステムの技術が組み込まれています。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop ElementsおよびAdobe RGB、Adobe RGB（1998）は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Photo Ragは、Hahnemühle FineArt GmbHの商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- IrDAは、Infrared Data Associationの商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- IrSimpleは、Infrared Data Associationの商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Macintosh、MacおよびAirMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

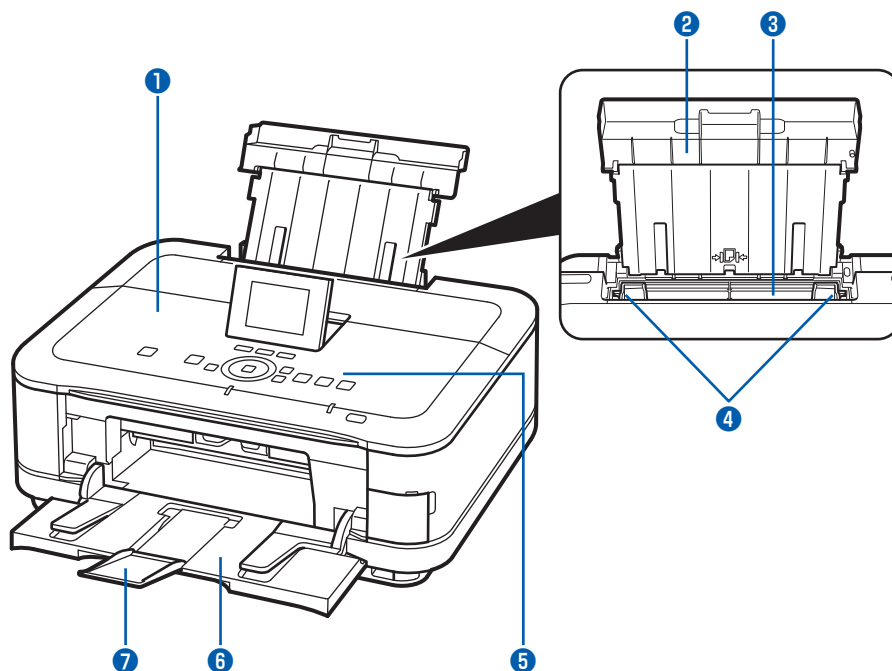
お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品について知っておこう

ここでは、製品の各部名称や、製品を使用する前に知っておいていただきたい基本操作について説明しています。

各部の名称と役割

前面

❶ 原稿台カバー
原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

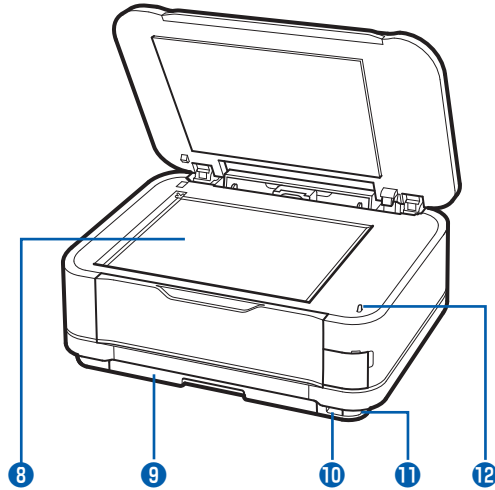
❷ 用紙サポート
後トレイに用紙をセットするときに、引き出して奥に傾けて使用します。

❸ 後（うしろ）トレイ
本製品で使用できる写真用紙やはがき、封筒をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。
⇒P.101

❹ 用紙ガイド
動かして用紙の両端に合わせます。

❺ 操作パネル
本製品の設定や操作をするときに使用します。
⇒P.12

❻ 排紙トレイ
コピーや印刷が開始されると自動的に開き、印刷された用紙が排出されます。

❼ 補助トレイ
用紙を支えるために手前に開いて使用します。
印刷するときは開いてください。

8 原稿台ガラス
コピーやスキャンする原稿をセットします。

9 カセット
A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットして、本体に差し込みます。一度に同じサイズの普通紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。
⇒P.99

10 カメラ接続部
デジタルカメラなどのPictBridge対応機器や、オプションのBluetoothユニットBU-30から印刷するときに、ここに接続します。⇒P.94
また、USBフラッシュメモリーもここにセットします。
⇒P.33

⚠警告

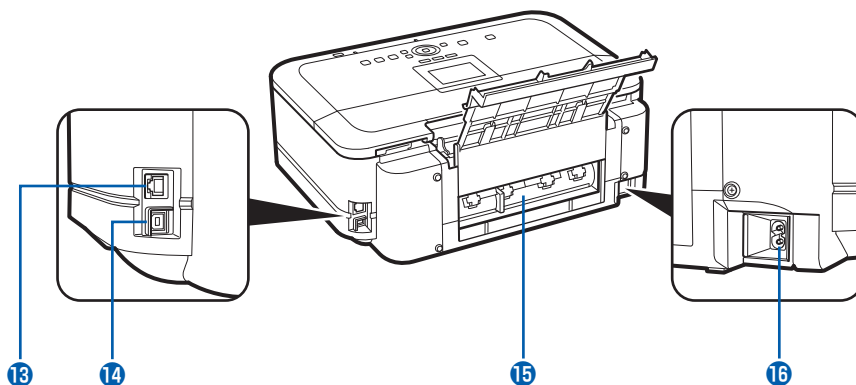
- 本製品のカメラ接続部には、PictBridge対応機器、BluetoothユニットBU-30（オプション）およびUSBフラッシュメモリー以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

重　要

- 金属部分に触れないでください。
- PictBridge対応機器を接続する場合は、3mを超える長さのUSBケーブルを使用すると周辺の機器の動作に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。

11 赤外線ポート
携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレス印刷するときに使います。⇒P.94

12 スキャナーユニット検知ボタン
原稿台カバーを開いている間、スキャナーユニット（カバー）をロックするボタンです。原稿台カバーを閉じるとボタンが押され、スキャナーユニット（カバー）を開くことができます（このボタンの操作は不要です）。⇒P.11

背面

⑬ LANケーブル接続部
LANケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

重　要

- 金属部分に触れないでください。

参　考

- LANケーブルを接続する前に、LANケーブル接続部のキャップを取り外してください。

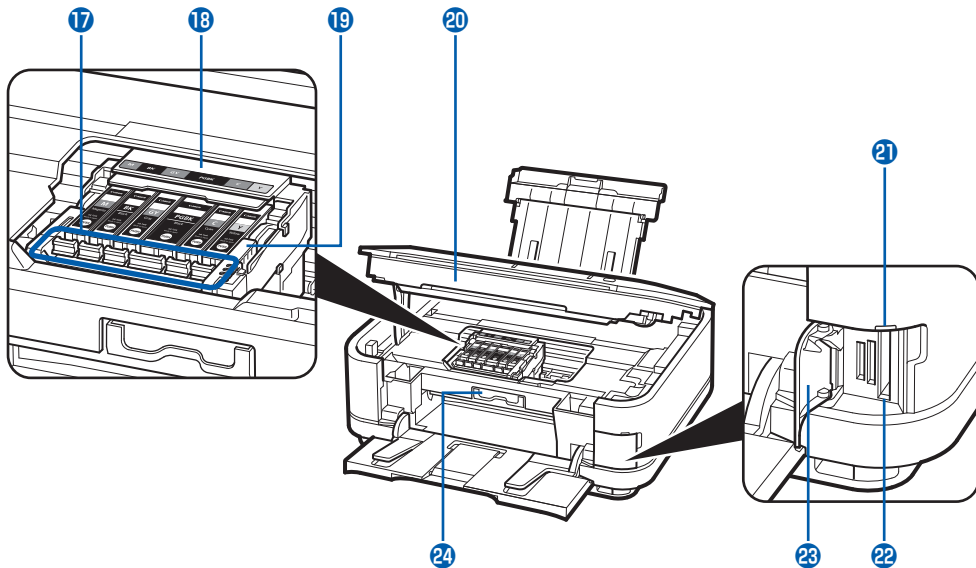
⑭ USBケーブル接続部
USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

重　要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

⑮ 背面カバー
紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。⇒P.157

⑯ 電源コード接続部
付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

内部

⑰ インクランプ
赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
⇒「インクの状態を確認する」（P.119）

⑱ プリントヘッドホルダー
プリントヘッドを取り付けます。

⑲ プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドを固定します。

重　要

• プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

⑳ スキャナーユニット（カバー）
原稿をスキャンするユニットです。インクタンクを交換するときやインクランプを確認するとき、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。開くときには、原稿台カバーと一緒に持ち上げます。

㉑ アクセスランプ
点灯または点滅し、メモリーカードの状態を知らせます。⇒P.30

㉒ カードスロット
メモリーカードをセットします。⇒P.29

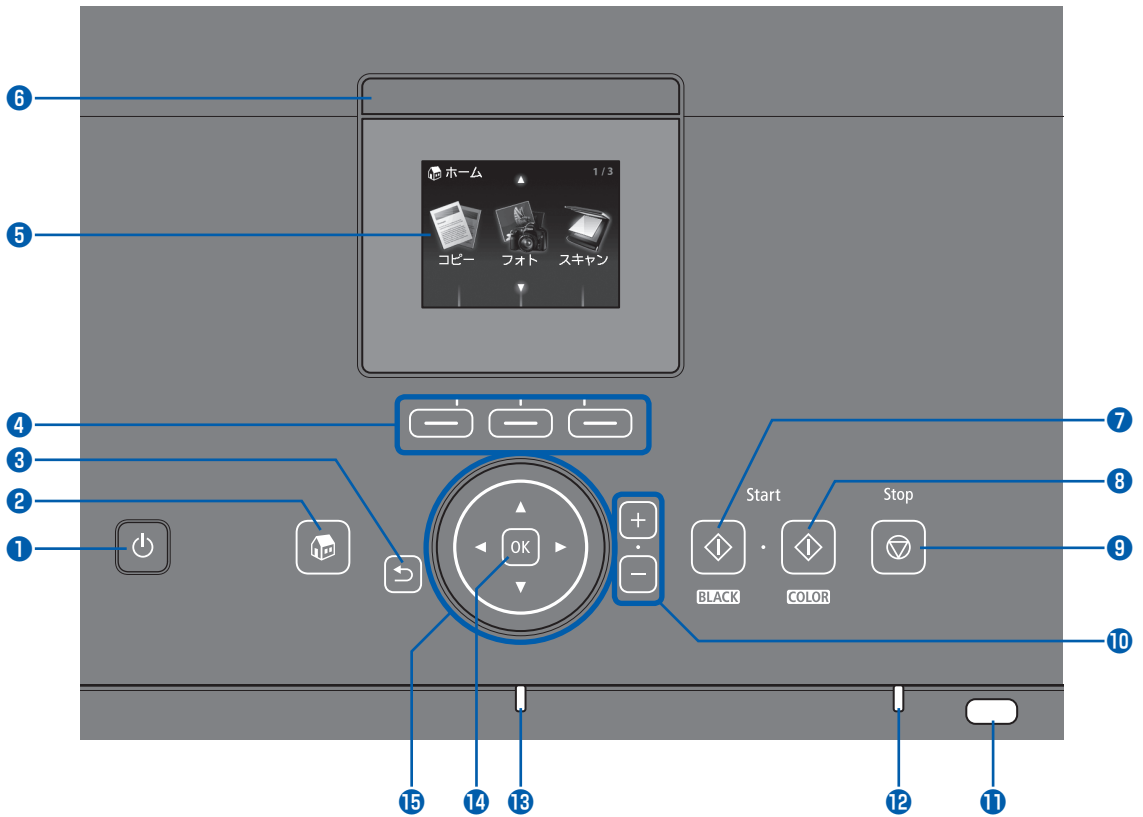
㉓ カードスロットカバー
メモリーカードをセットするときに開きます。
⇒P.30

㉔ 内部カバー
ディスクトレイをセットします。プリンタブルディスクに印刷するときだけ手前に開いて使用します。通常は閉じておきます。

参　考

• プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

操作パネル

※下記のイラストは、操作パネルのボタンがすべて点灯している状態です。
　電源ボタン以外のボタンは、使用できるときに点灯します。

❶ 電源ボタン
電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

重　要

電源プラグを抜くときは

- 電源を切ったあと、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから電源プラグを抜いてください。電源ランプが点灯／点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。

❷ ホームボタン
ホーム画面を表示するときにタッチします。⇒P.14

❸ 戻るボタン
前の画面に戻ります。

❹ ファンクションボタン
ホーム画面でメニューを選んだり、液晶モニターの下部に表示されているファンクションメニューを選ぶときにタッチします。⇒P.16

❺ 液晶モニター
メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。印刷する写真もここで確認します。

参　考

- 約5分間操作をしないと、画面や操作パネルのボタンの表示が消えます。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンをタッチすると液晶モニターが表示され、そのあとに使用できるボタンが表示されます。また、パソコンなどから印刷を開始すると、液晶モニターが消えたときの状態に復帰します。

❻ 液晶モニターオープンボタン
液晶モニターを起こすときに押します。

❼ モノクロボタン（Black）
白黒コピーや白黒スキャンをするときにタッチします。

❽ カラーボタン（Color）
カラー印刷やカラーコピー、カラースキャンをするときにタッチします。

❾ ストップボタン（Stop）
印刷中やコピー中、スキャン中にこのボタンをタッチすると、印刷やコピー、スキャンを中止します。

❿ ＋ーボタン
コピー部数や印刷部数を指定するときにタッチします。

⓫ Wi-Fiランプ
青色に点灯または点滅して、無線LANのネットワークの状態を表示します。
点灯：無線LANが有効のときに青色に点灯します。
点滅：無線LANのネットワーク経由で印刷やスキャンしているときに青色に点滅します。また、無線LANのセットアップでアクセスポイントを検索しているときや、アクセスポイントに接続しているときにも青色に点滅します。

⓬ エラーランプ
用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

⓭ 電源ランプ
電源を入れると青色に点滅後、点灯します。

⓮ OKボタン
メニュー項目や設定項目を確定するときにタッチします。また、印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあとに復帰するときもタッチします。

⓯ ▲▼◀▶ボタン（スクロールホイール）
メニューや設定項目などを選ぶときに使用します。
⇒P.14

参　考

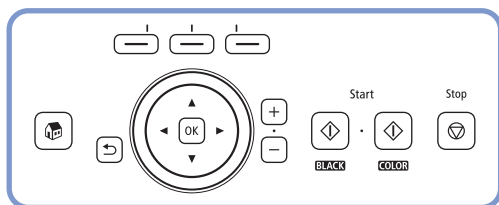
- ボタン操作をするとキータッチ音やアラーム音が鳴ります。音量の設定については、「本製品の設定について」（P.95）を参照してください。

液晶モニター画面の基本操作

本製品では、パソコンを使用しなくても本製品の操作だけでメモリーカードやUSBフラッシュメモリーの写真を印刷したり、コピーやスキャンの操作が可能です。
液晶モニターに表示されるメニュー画面や設定画面から、本製品のいろいろな機能を使用できます。

ここでは、操作の入口となるホーム画面のメニューや、印刷に必要な設定項目の選びかたなどについて説明します。

操作パネルの使いかた

操作パネルに表示されるボタンは、表示されている画面により異なります。
その画面で、使用できるボタンのみが表示され、操作を手助けします。
操作パネルのボタンを選ぶときは、指先で軽くタッチします。

重　要

使用上の注意

- 操作パネル上には何も物（特に金属物、水分を含む物）をのせないでください。誤動作の原因となります。
- 指輪やブレスレットなどの貴金属は、誤動作する可能性があります。操作パネルから貴金属を2cm以上離して操作してください。

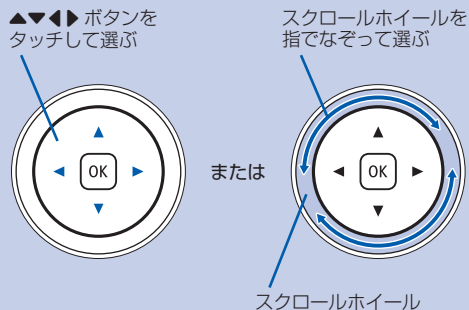
参　考

- 操作パネルのボタンは、約5分間操作をしないと表示が消えます。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンをタッチすると液晶モニターが表示され、そのあとに使用できるボタンが表示されます。また、パソコンなどから印刷を開始すると、液晶モニターが消えたときの状態に復帰します。

▲▼◀▶ボタン（スクロールホイール）の使いかた

▲▼◀▶ボタンを
タッチして選ぶ

または

スクロールホイールを
指でなぞって選ぶ

スクロールホイール

▲▼◀▶ボタンをタッチするときに、同時にスクロールホイールをなぞらないでください。

本書では、操作の中でスクロールホイールが使える場合は、「▲▼◀▶ボタン（スクロールホイール）」のように記載しています。

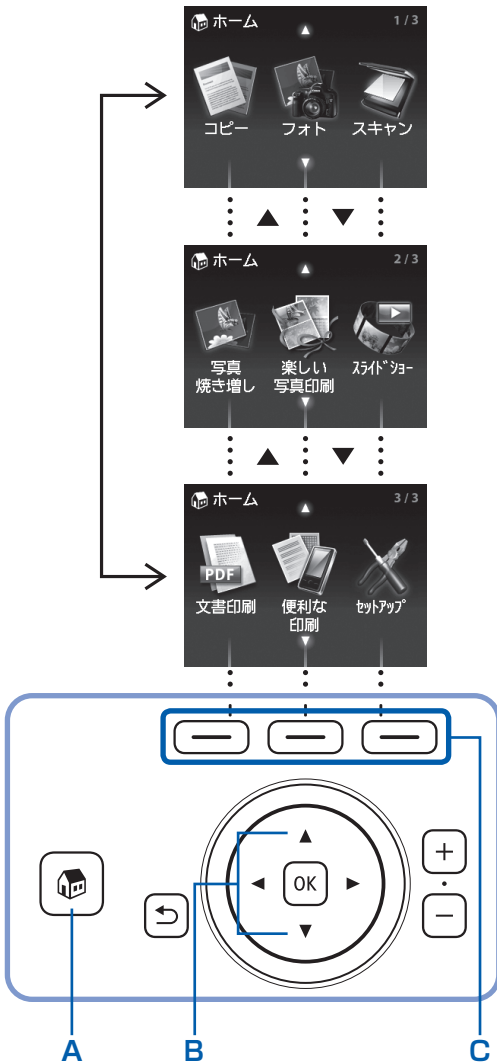
ホーム画面でメニューを選ぶ

ホーム画面は、電源を入れたときや、ホームボタンをタッチしたときに表示される画面です。
ホーム画面には3つの画面があり、各画面にはコピーや写真の印刷、スキャンなどを行うメニューが表示されています。各画面の切り替えは▲▼ボタンで行います。
それぞれのメニューを選ぶときは、左、中央、右のファンクションボタンを使用します。

1 ホーム画面を表示する

ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタン（A）をタッチして表示させてください。

2 ▲▼ボタン(B)で使いたいメニューを表示させ、ファンクションボタン(C)をタッチする

選んだメニューの画面が表示されます。

ホーム画面では以下のメニューを選ぶことができます。

コピー

倍率を変更したり、本などをコピーしたときの黒い外枠やとじ部の影を削除したり、いろいろなレイアウトでコピーができます。ディスクレーベルのコピーも行えます。⇒P.35

フォト

デジタルカメラのメモリーカードや、USBフラッシュメモリーに保存されている写真を印刷することができます。プリンタブルディスクにも印刷できます。⇒P.19

スキャン

操作パネルを使ってスキャンしたデータをパソコンに保存／転送したり、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存できます。⇒P.65

写真焼き増し

プリント写真をスキャンして印刷することができます。⇒P.61

楽しい写真印刷

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーの写真を使って、シールやカレンダー、ディスクレーベルなどを印刷できます。⇒P.26
また、写真に手書きの文字や絵を合成し、はがきやカード、プリンタブルディスクなどに印刷することもできます。⇒P.49

スライドショー

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーの写真を液晶モニターに順次表示することができます。また、気に入った写真を選択して、印刷することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

文書印刷

本製品でスキャンした文書（PDFファイル）を印刷することができます。⇒P.92

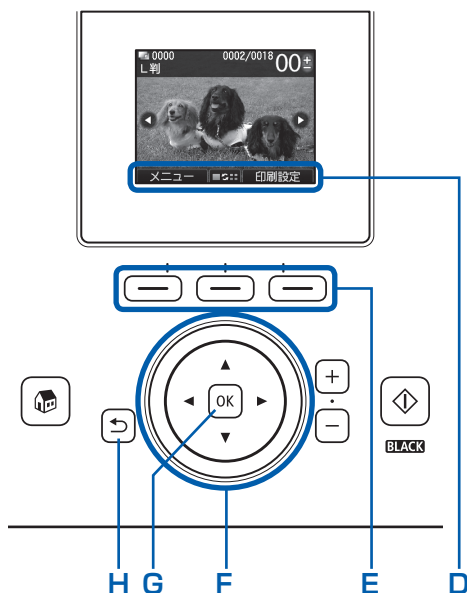
便利な印刷

レポート用紙などの定型フォームを印刷することができます。また、携帯電話からワイヤレスで印刷することもできます。⇒P.93、P.94

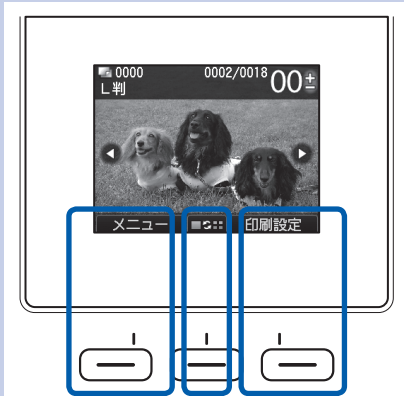
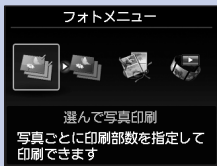
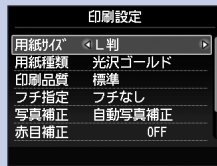
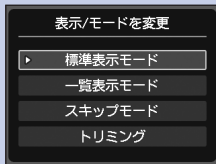
セットアップ

本製品のお手入れをしたり、本製品の設定を変更することができます。⇒P.121、P.95
また、無線LANを接続するためのセットアップを行うこともできます。⇒P.95
無線LANのセットアップについて詳しくは『かんたんスタートガイド』を参照してください。

メニュー項目や設定項目を選ぶ

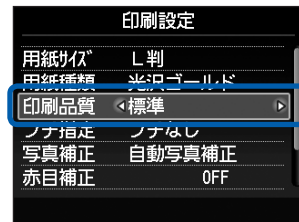
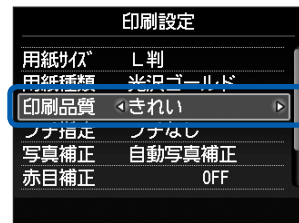
ホーム画面で選んだメニューにより、画面の下部にファンクションメニュー（D）が表示されます。それぞれのファンクションメニューに対応したファンクションボタン（E）をタッチすると、メニュー画面や設定画面を表示できます。

メニュー画面や設定画面では、▲▼◀▶ボタン（スクロールホイール）（F）で項目を選び、OKボタン（G）をタッチして操作を進めます。
戻るボタン（H）をタッチすると、前の画面に戻れます。

ファンクションボタンの使いかた

たとえば、フォトの写真選択画面で左のファンクションボタンをタッチして［メニュー］を選ぶと、フォトメニュー画面が表示されます。
右のファンクションボタンをタッチして［印刷設定］を選ぶと、印刷設定画面が表示されます。
中央のファンクションボタンをタッチすると、表示/モードを変更する画面が表示されます。
ファンクションメニューの数や内容は、画面ごとに異なります。画面の下部に表示されるファンクションメニューを確認して選んでください。

設定画面の基本操作

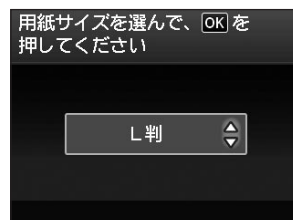
印刷の設定などを行う画面では、▲▼ボタン（スクロールホイール）(F) で項目を選び、◀▶ボタンで設定を選んでOKボタン (G) をタッチします。

たとえば、フォトの印刷設定画面で、印刷品質を変更する操作は次のようになります。

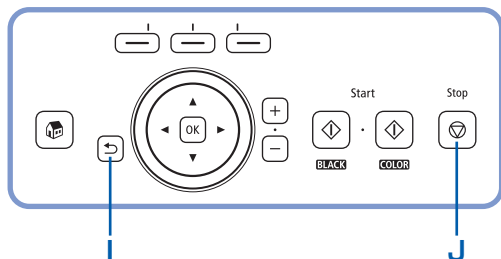
1 ▲▼ボタン（スクロールホイール）で［印刷品質］を選ぶ

2 ◀▶ボタンで［きれい］を選び、OKボタンをタッチする

選んだ内容が設定されます。

参　考

設定項目が 1 つで、複数の選択項目がある場合

- ▲▼ボタン（スクロールホイール）で設定を選び、OKボタンで設定する画面

選択項目が横に並んで表示されている場合

- ◀▶ボタン（スクロールホイール）でメニューを選び、OKボタンで設定する画面

そのほかの操作

前の画面に戻る

戻るボタン（I）をタッチするたびに、前の画面に戻ります。

コピー／印刷／スキャンを中止する

コピー、印刷、スキャンを開始したあとに中止したいときには、ストップボタン（Stop）（J）をタッチします。

写真を印刷してみよう（フォト／楽しい写真印刷）

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存されている写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷できます。
お好みの写真をいろいろなレイアウトで印刷したり、シール作りを楽しむことができます。

印刷の設定をする

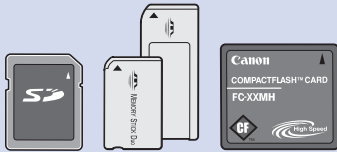
印刷設定	
用紙サイズ	L判
用紙種類	光沢ゴールド
印刷品質	標準
フチ指定	フチなし
写真補正	自動写真補正
赤目補正	OFF

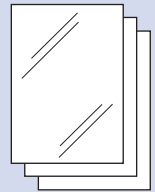
カラーボタン（Color）をタッチすると

写真の完成！

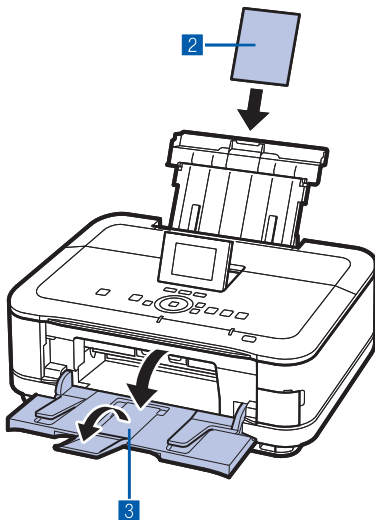
メモリーカード／USBフラッシュメモリーの写真を印刷する

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存されている写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、写真をフチなしで印刷する方法について説明します。
操作する際は、参照先のページに記載されている注意事項と操作方法を確認してください。

または

写真の入ったメモリーカード*
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.29）

写真の入ったUSBフラッシュメモリー*
⇒「USBフラッシュメモリーをセットする」（P.33）

印刷用の写真用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.106）

* 読み込みができる画像枚数は最大2000枚です。

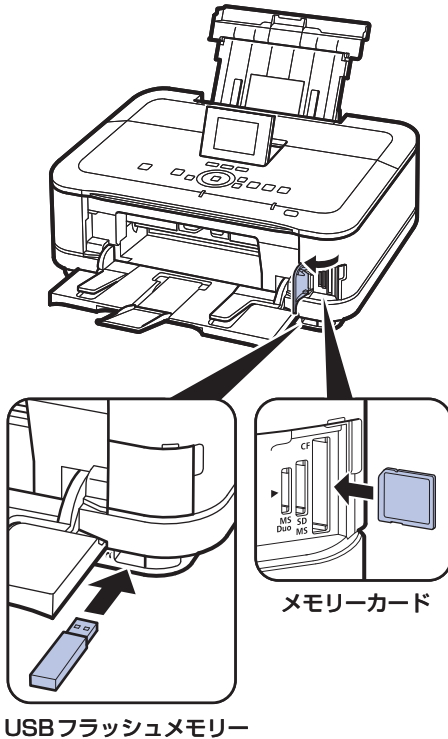
1　印刷の準備をする

1 電源を入れる⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.98
ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参考

- A4またはレターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットに用紙がセットされていることを確認します。
  それ以外の用紙は、後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

メモリーカード

USBフラッシュメモリー

1 ホーム画面から［フォト］ を選ぶ⇒P.14

「USBメモリーまたはメモリーカードがセットされていません」というメッセージが表示されます。

2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

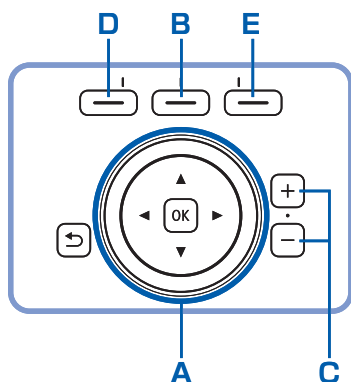
メモリーカード：ラベル面を左にしてカードスロットにセットします。本製品にセットできるメモリーカードの種類とセット位置については、「メモリーカードをセットする」（P.29）を参照してください。

USBフラッシュメモリー：カメラ接続部にセットします。⇒P.33

［選んで写真印刷］の写真選択画面が表示されます。

参　考

- ホーム画面やコピーの待機画面などで、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットしても、［選んで写真印刷］の写真選択画面を表示することができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- メモリーカードとUSBフラッシュメモリーを同時にセットしないでください。また、一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。
- ［カード書き込み状態］を［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷することはできません。メモリーカードから印刷する場合は、ホーム画面で［セットアップ］を選んでから［本体設定］、［本体の基本設定］の順に選び、［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
  ＊USBフラッシュメモリーからは、［カード書き込み状態］の設定に関わらず印刷することができます。

3 印刷したい写真を選ぶ

1 ◀▶ボタン（スクロールホイール）（A）で印刷したい写真を表示する

参 考

- 写真の読み込み中は、液晶モニターに⌛が表示される場合があります。⌛が表示されているときに◀▶ボタン（スクロールホイール）を使用すると、画像が正しく選べないことがあります。
- 中央のファンクションボタン（B）をタッチすると、表示／モードを変更する画面が表示され、写真の表示方法を切り替えることができます。また、トリミング画面に切り替えると、写真の一部を切り抜くことができます。⇒P.27、P.28

2 ＋－ボタン（C）で印刷部数を指定する

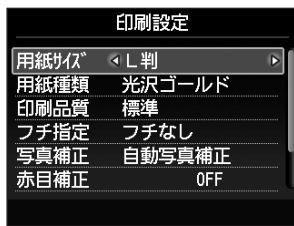
参 考

- 印刷部数を指定せずにカラーボタン（Color）をタッチすると、選択されている写真を1部印刷することができます。

3 手順1、2を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷部数を指定する

参 考

- 左のファンクションボタン（D）をタッチして［メニュー］を選ぶと、［選んで写真印刷］以外のいろいろな印刷方法を選ぶことができます。⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.25）

4 印刷を開始する

1 右のファンクションボタン（E）をタッチして［印刷設定］を選び、用紙のサイズや種類、印刷品質などを確認する

ここでは、用紙サイズに［L判］、用紙種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認します。

設定内容を変更するには、▲▼ボタン（スクロールホイール）で変更したい項目を選び、◀▶ボタンで変更します。

確認／変更が終了したら、OKボタンをタッチして写真選択画面に戻ります。

⇒「設定画面の基本操作」（P.17）、「設定を変更する」（P.24）

参　考

- 印刷設定画面で、［写真補正］や［日付印刷］の設定を行うこともできます。⇒「設定を変更する」（P.24）

2 印刷に必要な用紙の枚数を確認する

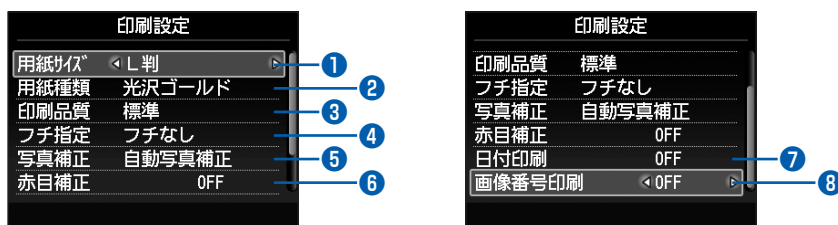
3 カラーボタン（Color）をタッチする

写真の印刷が開始されます。

参　考

- 印刷中に右のファンクションボタンをタッチして［印刷予約］を選ぶと、写真選択画面に戻り、続けて印刷する写真を選択できます。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。
- モノクロボタン（Black）をタッチしても、印刷は開始されません。
- メモリーカードを取り出すときは、「メモリーカードを取り出す」（P.32）を参照してください。また、USBフラッシュメモリーを取り外すときは、「USBフラッシュメモリーを取り外す」（P.33）を参照してください。

設定を変更する

写真選択画面で右のファンクションボタンをタッチして、［印刷設定］を選ぶと、印刷設定画面が表示されます。
▲▼ボタン（スクロールホイール）で、印刷するときの用紙サイズや用紙種類、印刷品質などの設定項目を選び、◀▶ボタンで、印刷設定を変更することができます。
設定方法については、「設定画面の基本操作」（P.17）を参照してください。
［すべての写真を印刷］や［楽しい写真印刷］での印刷設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

❶ 用紙サイズ	：	［L判］や［A4］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。
❷ 用紙種類	：	［光沢ゴールド］や［光沢］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

参　考

- 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。⇒「用紙のセット位置について」（P.98）

❸ 印刷品質	：	［きれい］または［標準］を設定できます。
❹ フチ指定	：	フチなし／フチありを設定できます。

参　考

- ［フチなし］を選んだ場合、使用している用紙のサイズによっては、画像データと縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に収まらないことがあります。

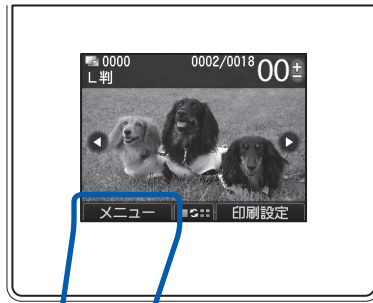
❺ 写真補正	：	自動写真補正または手動補正で写真を補正します。また、写真を補正しないで印刷することもできます。 ［手動補正］を選び、右のファンクションボタンで［詳細設定］を選ぶと、明るさやコントラスト、色あいなど、個別に調整することができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
❻ 赤目補正	：	人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。
❼ 日付印刷	：	写真に撮影日の日付を付けて印刷できます。⇒P.28
❽ 画像番号印刷	：	写真に画像番号を付けて印刷できます。⇒P.28

参　考

- 用紙のサイズや種類、印刷品質、写真補正、フチ指定などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回［フォト］を選んだときにその設定が表示されます。
- 各項目の組み合わせにより設定／印刷できないときには、設定できない項目に❗マークが表示されます。左のファンクションボタンをタッチして［エラー詳細］を選び、エラーの内容を確認して、設定し直してください。

いろいろな機能を使ってみよう

写真選択画面で、左のファンクションボタンの［メニュー］を選ぶと、いろいろな方法で写真を印刷することができます。また、写真を印刷するときに使用できる便利な機能もあります。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

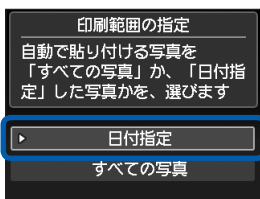
フォトメニュー画面から選べる機能について

フォトメニュー画面では、［選んで写真印刷］、［すべての写真を印刷］、［楽しい写真印刷へ］、［スライドショーへ］を選ぶことができます。

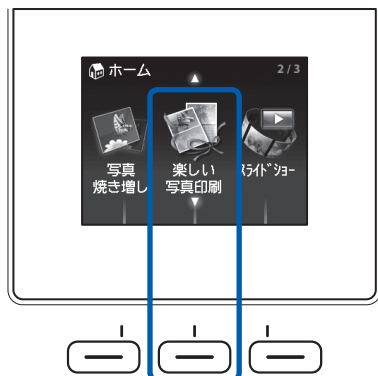
参　考

- ［楽しい写真印刷］、［スライドショー］は、ホーム画面からも選ぶことができます。⇒P.14
- ［スライドショー］については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

■すべての写真を印刷する

［すべての写真を印刷］を選ぶと、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーのすべての写真をまとめて印刷できます。また、指定した日付の範囲内に撮影した写真だけを印刷することもできます。

日付で写真を絞り込む

印刷したい日付の範囲を指定する

[楽しい写真印刷]から選べる機能について

中央のファンクションボタンをタッチする

[レイアウト印刷]

1. [2面フチなし]などのレイアウトを選択
2. 写真の貼り付け方法を自動／手動で選択
3. レイアウトに合わせて、写真を貼り付けて印刷

[シール紙印刷]

1. [16面シール]などのレイアウトを選択
2. 印刷する写真を指定
3. 写真に付けるフレームを指定して印刷

[DPOF印刷]

1. カメラで指定したDPOF情報が保存されているメモリーカードをセット
2. DPOF情報にしたがって印刷

[撮影情報印刷]

1. Exif情報を印刷するときに、指定写真／一覧を選択
2. 印刷する写真1枚や、一覧に印刷する写真の範囲を指定
3. 撮影時のExif情報を指定写真や一覧の余白に印刷

[インデックス印刷]

1. 一覧のタイプとして、ベタ焼きサイズ／標準を選択
2. 一覧に印刷する写真の範囲を指定
3. 指定したタイプにしたがって、写真の一覧を印刷

[カレンダー印刷]

1. カレンダーのタイプ(1ヵ月／2ヵ月／1年)を選択
2. レイアウトを選択
3. 印刷する写真を指定
4. 印刷する年または年／月を指定
5. 背景色を指定して印刷

[証明写真サイズ印刷]

1. 証明写真のサイズを選択
2. 印刷する写真を指定
3. 印刷する範囲をトリミング
4. 印刷設定を確認して印刷

[ディスクレーベル印刷]

1. 印刷するプリンタブルディスクを設定
2. 印刷する写真を選択
3. プリンタブルディスクをディスクトレイにセット
4. ディスクトレイを本製品にセットして印刷

[手書きナビ印刷]

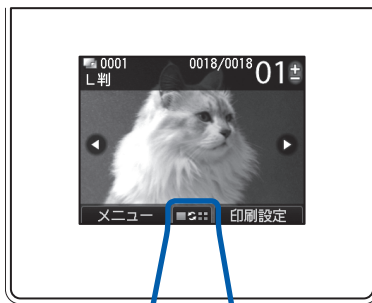
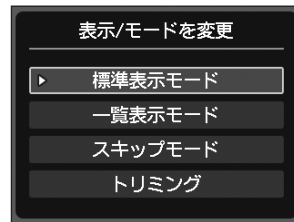
操作方法については、「写真に手書き文字を合成して印刷する」（P.50）を参照してください。

[ディスクレーベル手書き]

操作方法については、「写真に手書き文字を合成してディスクレーベルを印刷する」（P.56）を参照してください。

そのほかの便利な機能について

フォトメニュー画面で選択できる機能のほかにも、写真の表示方法やトリミング、写真補正や日付印刷などを指定できます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

■表示方法を変更する

中央のファンクションボタンをタッチする

[標準表示モード]

1枚ずつ表示

[一覧表示モード]

9枚ずつ表示

[スキップモード]

10枚単位、100枚単位、撮影日などでスキップ表示

[トリミング]

写真の一部を切り抜く

■写真の一部を切り抜く

トリミング画面では、＋－ボタンまたはスクロールホイールでトリミングサイズを変更したり、▲▼◀▶ボタンでトリミング位置を変更できます。OKボタンをタッチすると、トリミング結果を反映して、写真選択画面に戻ります。

トリミング画面で
印刷したい範囲を設定

■写真を補正する

印刷設定画面で［写真補正］を
［手動補正］に設定

手動補正
VIVIDフォト OFF
オートフォトモード OFF
ノイズ除去 OFF
顔明るく補正 OFF
携帯画像補正 OFF
明るさ 標準
コントラスト 標準

印刷設定画面で［写真補正］を
［自動写真補正］に設定

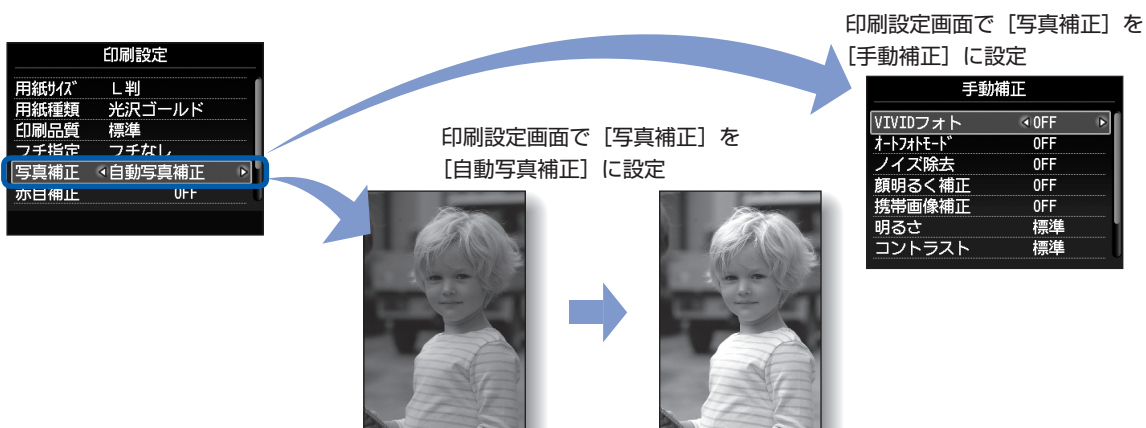
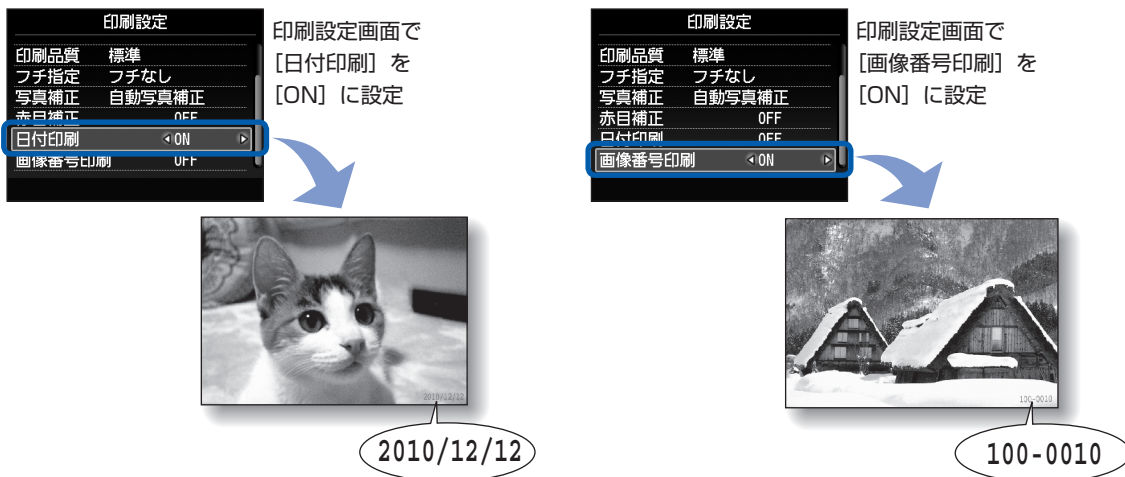
■撮影した日付や画像番号を付けて印刷する

印刷設定画面で
［日付印刷］を
［ON］に設定

2010/12/12

印刷設定
印刷品質 標準
フチ指定 フチなし
写真補正 自動写真補正
赤目補正 OFF
画像番号印刷 ON

印刷設定画面で
［画像番号印刷］を
［ON］に設定

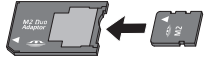
100-0010

メモリーカードをセットする

メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

重　要

デジタルカメラで撮影した画像データについて

- デジタルカメラで動作が保証されていないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラで動作が保証されているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

	• SD/SDHC メモリーカード • マルチメディアカード • マルチメディアカード プラス
	• コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応 • マイクロドライブ
	• メモリースティック • メモリースティックPRO • メモリースティックDuo • メモリースティックPRO Duo

カードアダプターを使用してセットするメモリーカード：

重　要

- 以下のメモリーカードは、必ず専用のカードアダプターに取り付けてからカードスロットにセットしてください。カードアダプターに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。そのような場合は「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」（P.172）を参照してください。

	• miniSD/miniSDHCカード *1
	• microSD/microSDHCカード *1
	• xD-Pictureカード *2 • xD-Pictureカード Type M *2/Type H *2
	• RS-MMC *3 • MMCmobile *3
	• メモリースティック マイクロ *4

*1　専用の「SDカードアダプター」を使用してください。
*2　別途xD-Pictureカード用コンパクトフラッシュカードアダプターをお買い求めください。
　推奨xD-Picture Cardアダプター（2010年３月現在）
　富士フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*3　専用のカードアダプターを使用してください。
*4　専用のDuoサイズアダプター、またはスタンダードサイズアダプターを使用してください。

印刷できる画像データ：

- 本製品はDCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、TIFF（Exif ver.2.2/2.21準拠）、およびDPOF（Ver.1.00準拠）に対応しています。その他の静止画（RAW画像等）や動画は印刷できません。
- 本製品で原稿種類を［写真］、データ形式を［JPEG］に設定してスキャンし、保存した画像データ（拡張子「.jpg」）に対応しています。

メモリーカードをセットする

重　要

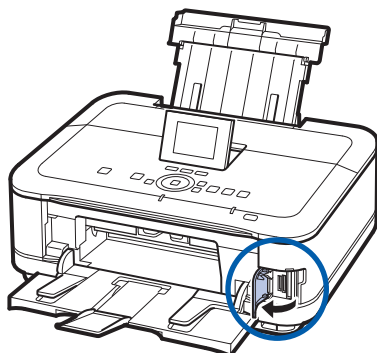
- メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

参　考

- ［カード書き込み状態］を［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存したりすることはできません。本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜き、ホーム画面で［セットアップ］を選んでから［本体設定］→［本体の基本設定］の順に選び、［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

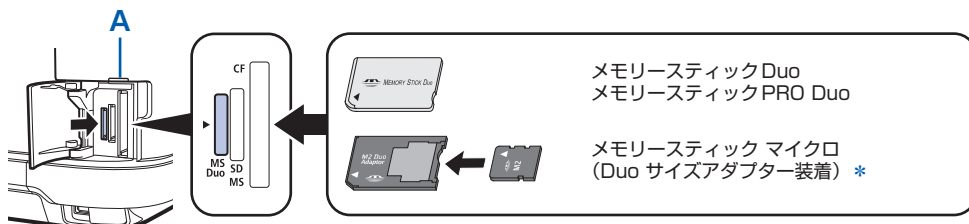
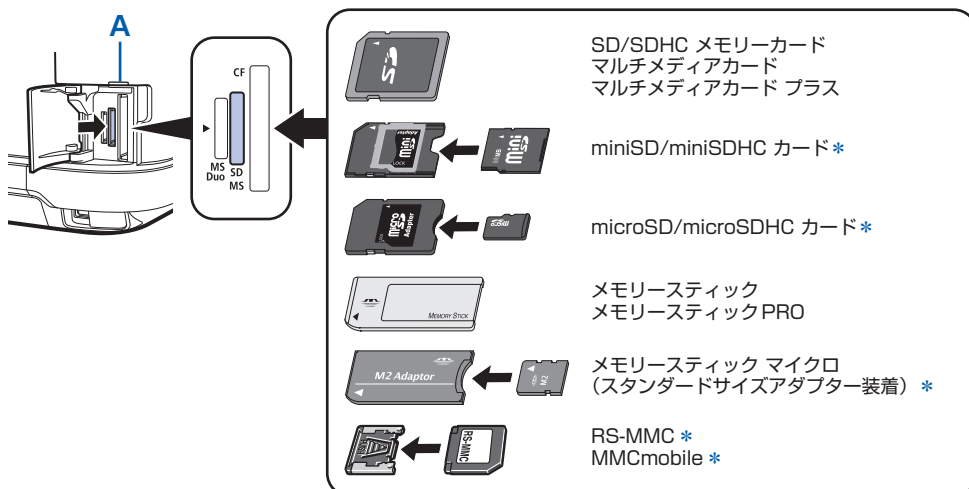
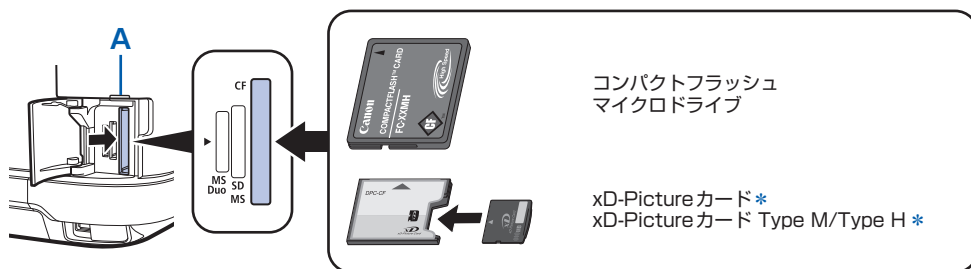
1　メモリーカードを準備する

「メモリーカードをセットする前に」（P.29）を参照して、カードアダプターが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプターに取り付けます。

2 電源を入れ、カードスロットカバーを開ける

3 メモリーカードを 1 枚だけセットする

メモリーカードの種類により、セットする位置が異なります。以下のセット位置を参照しながら、ラベル面を左にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。
メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。

下記の＊のメモリーカードはカードアダプターに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

左のスロットにセットするメモリーカード

中央のスロットにセットするメモリーカード

右のスロットにセットするメモリーカード

重　要

- メモリーカードはカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。

4 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードを取り出す

重　要

- カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用していた場合は、メモリーカードを本製品から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。
  －USB接続でWindowsをご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点灯していることを確認し、カードを取り出してください。
  ネットワーク経由でカードスロットをご使用の場合は、パソコン側の取り出し操作は必要ありません。
  －Macintoshをご使用の場合は、アイコンをゴミ箱に捨ててください。

1 カードスロットカバーを開ける

2 アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

重　要

- アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

3 カードスロットカバーを閉じる

USBフラッシュメモリーをセットする

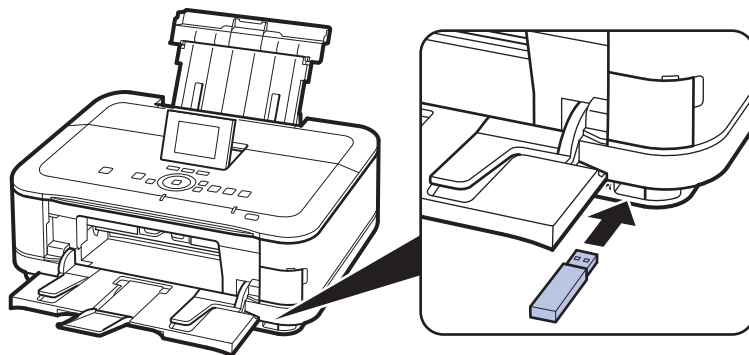
USBフラッシュメモリーをセットする

参 考

USBフラッシュメモリーをセットする前に

- ご使用のUSBフラッシュメモリーが本製品のカメラ接続部に取り付けられない場合は、USBフラッシュメモリー用延長ケーブルが必要なことがあります。電器店にてお買い求めください。
- ご使用のUSBフラッシュメモリーによっては動作の保証ができない場合があります。
- セキュリティ設定がされているUSBフラッシュメモリーは使用できない場合があります。
- 本製品で印刷できるデータについては、「メモリーカードをセットする前に」の「印刷できる画像データ：」（P.30）を参照してください。

USBフラッシュメモリーをセットする

以下のイラストを参照しながら、端子の向きに注意してまっすぐ差し込んでください。

USBフラッシュメモリーを取り外す

1 データが読み込み／書き込み中でないことを確認する

液晶モニターで動作が終了しているか確認します。

重 要

- 動作中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。また、動作中に電源を切らないでください。

参 考

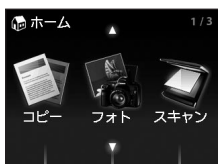
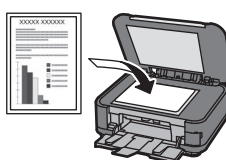
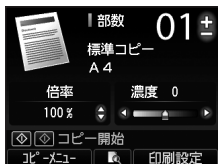
- セットしたUSBフラッシュメモリーにアクセスランプがある場合は、USBフラッシュメモリーの取扱説明書を参照して、データが読み込み／書き込み中でないことを確認してください。

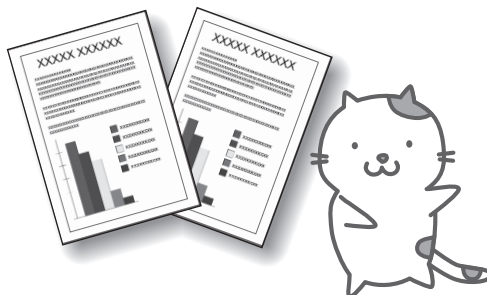
2 USBフラッシュメモリーを取り外す

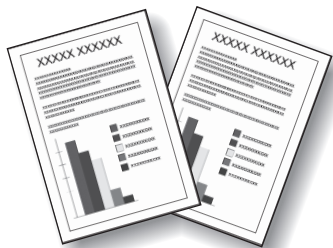
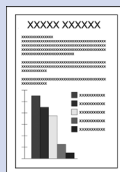
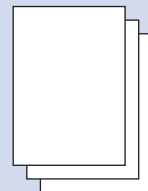
USBフラッシュメモリーをつまんで、まっすぐに取り外します。

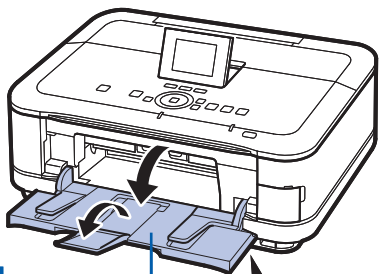
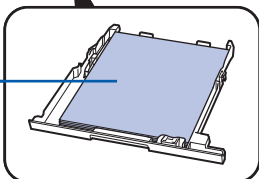
コピーしてみよう

印刷する用紙に合わせた拡大／縮小や、２枚の原稿を１枚の用紙に収めるなど、いろいろなコピー方法を選べます。

［コピー］を選ぶ

設定を確認する

カラーボタン（Color）またはモノクロボタン（Black）をタッチすると

コピーの完成！

コピーする

ここではA4サイズの書類を普通紙にコピーする方法について説明します。操作する際は、参照先のページに記載されている注意事項と操作方法を確認してください。

用意するもの

コピーしたいもの
⇒「セットできる原稿について」（P.112）

印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.106）

1 コピーの準備をする

1 電源を入れる⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.98

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙は、カセットにセットします。それ以外の用紙は、後トレイにセットしてください。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

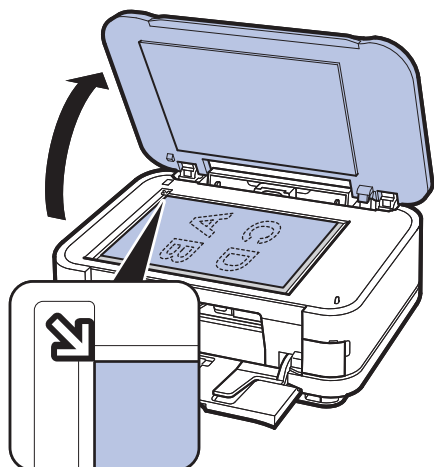
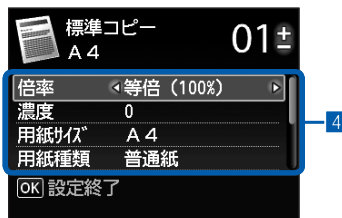
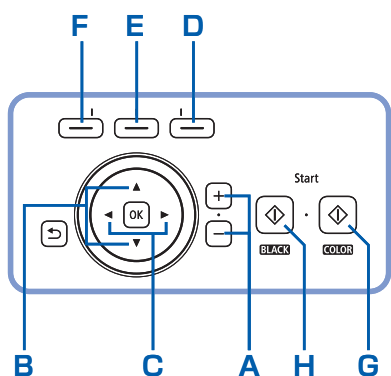
4 ホーム画面から［コピー］を選ぶ⇒P.14

5 原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.110

コピーしたい面を下にして、図のように原稿位置合わせマーク（⇘）に合わせます。

原稿をセットしたあとは、原稿台カバーをゆっくり閉じてください。

参　考

- コピーできる原稿の種類や条件、原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」（P.110）を参照してください。
- 色の薄いペンや蛍光ペンで書かれた文字や線などは、正しくコピーできない場合があります。

2 コピーを開始する

1 ＋－ボタン（A）でコピー部数を指定する

コピー部数はスクロールホイールで指定することもできます。

2 ▲▼ボタン（B）でコピー倍率を選択する

ここでは［100%］を選びます。

3 ◀▶ボタン（C）で濃度を設定する

◀ボタンをタッチすると薄くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなります。
自動濃度調整に設定することもできます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

4 右のファンクションボタン（D）をタッチして［印刷設定］を選び、用紙のサイズや種類などを確認する

ここでは、用紙サイズに［A4］、用紙種類に［普通紙］が設定されていることを確認します。
設定内容を変更するには、▲▼ボタン（スクロールホイール）（B）で変更したい項目を選び、◀▶ボタン（C）で変更します。確認／変更が終了したら、OKボタンをタッチしてコピー待機画面に戻ります。
⇒「設定画面の基本操作」（P.17）、「設定を変更する」（P.38）

参　考

- 中央のファンクションボタン（E）をタッチすると、プレビュー画面で原稿台ガラスに置いた原稿の印刷イメージを確認することができます。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
- 左のファンクションボタン（F）をタッチして［コピーメニュー］を選ぶと、［フチなしコピー］など、いろいろなコピーが選べます。⇒P.40

5 カラーコピーをする場合はカラーボタン（Color）（G）をタッチし、白黒コピーをする場合はモノクロボタン（Black）（H）をタッチする

コピーが開始されます。
コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

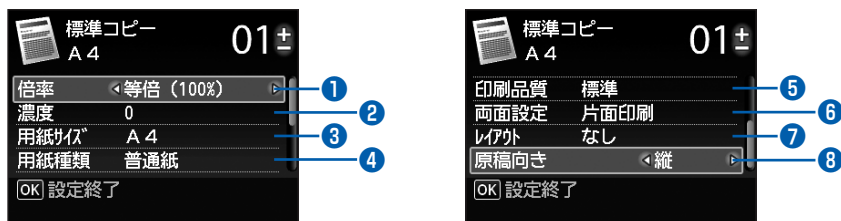
重　要

- コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿を動かしたりしないでください。

参　考

- コピーを中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。

設定を変更する

コピー待機画面で右のファンクションボタンをタッチして［印刷設定］を選ぶと、コピーするときの用紙サイズや用紙種類、印刷品質など、印刷設定を変更することができます。
設定方法については、「設定画面の基本操作」（P.17）を参照してください。
また、設定の詳細については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

❶ 倍率	：	拡大／縮小の方法を設定します。［47% A4→はがき］、［70% A4→A5］など、用紙サイズを選んで倍率を設定することもできます。拡大／縮小せずにコピーするときは、［等倍（100%）］を選びます。
❷ 濃度	：	原稿を濃く／薄くコピーしたいときなどに、コピーの濃度を任意に設定できます。［オート］を選ぶと原稿に合わせて自動で調整できます。
❸ 用紙サイズ	：	［A4］や［B5］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。
❹ 用紙種類	：	［普通紙］や［光沢ゴールド］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

参 考

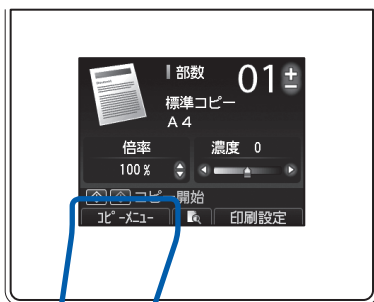
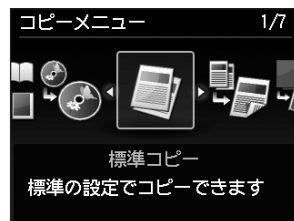
- 用紙サイズや用紙の種類を正しく設定しないと、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。
  ⇒「用紙のセット位置について」（P.98）

❺ 印刷品質	：	［標準］や［きれい］など、コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を選びます。選べる印刷品質は、［用紙種類］で指定した用紙により異なります。
❻ 両面設定	：	片面原稿を1枚の用紙の両面に印刷することができます。［両面印刷］を選んだあと、右のファンクションボタンで［詳細設定］を選ぶと、とじ方向を選ぶことができます。
❼ レイアウト	：	［2in1 コピー］、［4in1 コピー］から、印刷したいレイアウトを選びます。 ⇒「いろいろなコピー機能を使ってみよう」（P.40）
❽ 原稿向き	：	［縦］向きと［横］向きから、コピーしたい原稿の向きを選びます。

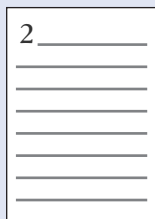
参　考

- ［両面コピー］を選んだ場合や［両面印刷］を設定した場合は、［用紙サイズ］で［A4］または［レターサイズ］、［用紙種類］で［普通紙］を選んでください。
- ［2in1 コピー］、［4in1 コピー］を選んだ場合は、［用紙サイズ］で［A4］または［レターサイズ］を選んでください。
- ［フチなしコピー］を選んだ場合は、［用紙サイズ］で［A4］、［L判］、［2L判］、［はがき］、［KG］、［名刺］、［レターサイズ］のいずれかを選び、［用紙種類］で［普通紙］以外を選んでください。
- フチなしでコピーした場合、画像を用紙サイズより拡大して印刷するため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- 用紙のサイズや種類、印刷品質、自動濃度調整などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回［コピー］を選んだときにその設定が表示されます。
- 各項目の組み合わせにより設定／印刷できないときには、設定できない項目にマークが表示されます。左のファンクションボタンをタッチして［エラー詳細］を選び、エラーの内容を確認して、設定し直してください。
- 用紙の種類が［普通紙］の場合で、［はやい］を選んで思ったような品質で印刷できないときは、［標準］または［きれい］を選んで、もう一度印刷してみてください。

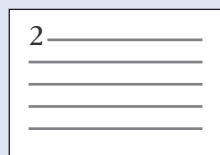
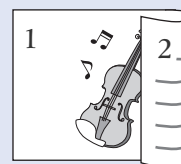
いろいろなコピー機能を使ってみよう

コピー待機画面で、左のファンクションボタンの［コピーメニュー］を選ぶと、フチなしでコピーしたり２枚の原稿を１枚の用紙に収めたりなど、いろいろなレイアウトを設定できます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

[両面コピー]

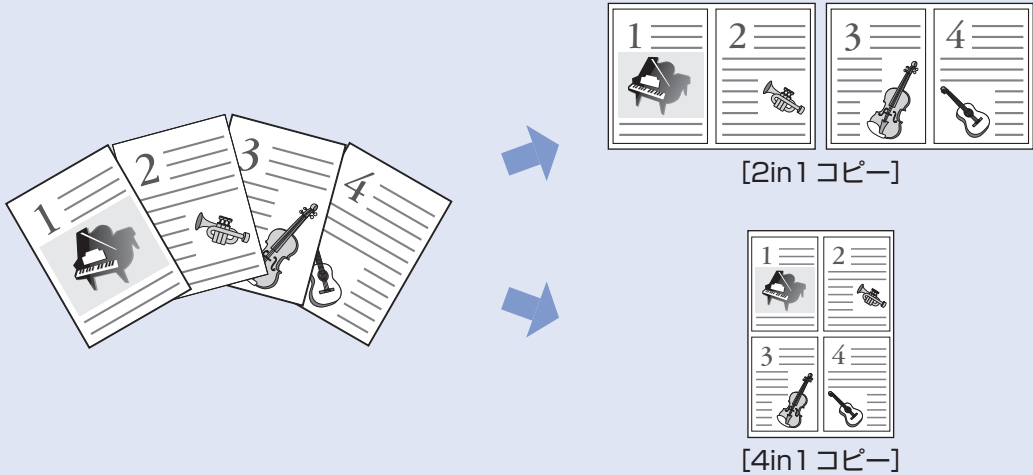
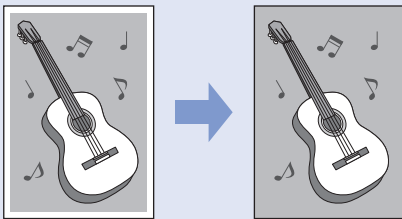
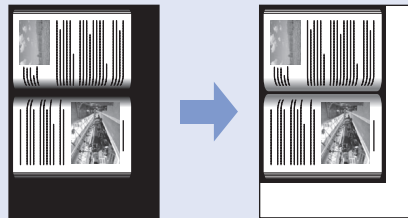
［両面コピー］を選ぶと、標準コピー画面が表示され、［印刷設定］の内容が、「両面設定：両面印刷」、「原稿向き：縦」に自動設定され、図のようにコピーできます。設定を変更するときは、右のファンクションボタンを押して［印刷設定］を選んでください。

縦原稿の場合

［長辺とじ］

［短辺とじ］

横原稿の場合

［長辺とじ］

［短辺とじ］

[2in1 コピー][4in1 コピー]

[2in1 コピー]または[4in1 コピー]を選ぶと、標準コピー画面が表示され、[印刷設定]の内容が、「レイアウト：2in1 コピーまたは4in1 コピー」、「原稿向き：縦」に自動設定され、図のようにコピーできます。設定を変更するときは、右のファンクションボタンをタッチして[印刷設定]を選んでください。

[フチなしコピー]

[枠消しコピー]

[ディスクレーベルコピー]

ディスクレーベルをプリンタブルディスクにコピーできます。⇒P.44

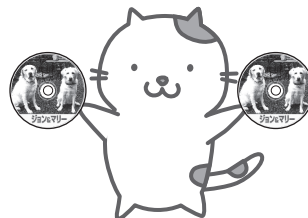
ディスクレーベルを印刷してみよう

付属のディスクトレイを使うことで、プリンタブルディスク（BD/DVD/CDなど）に印刷することができます。
ここでは、ディスクレーベルをコピーする方法とプリンタブルディスクのセット方法を説明します。

［コピー］ を選び、
［コピーメニュー］から
［ディスクレーベルコピー］を選ぶ

プリンタブルディスク
の設定を行う

コピーしたいディスク
をセットする

ディスクトレイをセットする

印刷
すると

ディスクレーベルの完成！

ディスクのレーベル面をコピーして印刷する

ここでは、既存のディスク（BD/DVD/CDなど）のレーベル面をプリンタブルディスクにコピーする方法について説明します。

ほかにも、メモリーカードの写真やプリントした写真を使って、オリジナルのディスクレーベルを作成することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

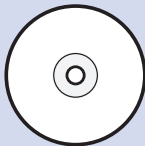
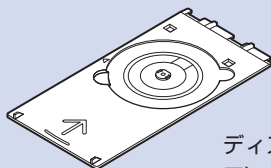
重　要

- 8cmプリンタブルディスクへの印刷は、パソコンからのみ行うことができます。

参　考

- 不要なプリンタブルディスクにお試し印刷することをお勧めします。
- 画像がずれて印刷される場合は、［セットアップ］メニューの［本体設定］から［印刷設定］を選び、［ディスクの印刷位置調整］でプリンタブルディスクの印刷位置を調整してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

用意するもの

コピーしたいディスク

12cmプリンタブルディスク（レーベル面に印刷可能なもの）⇒P.46

ディスクトレイ（本製品に付属）⇒P.46

1 印刷の準備をする

重　要

- プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

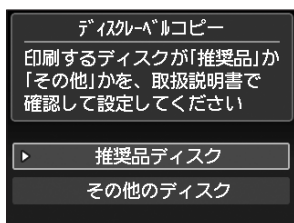
1. **電源を入れる⇒P.12**
2. **ホーム画面から［コピー］ を選ぶ⇒P.14**
3. **左のファンクションボタンをタッチして［コピーメニュー］を選ぶ**
4. **［ディスクレーベルコピー］を選び、OKボタンをタッチする**

2 プリンタブルディスクの印刷設定をする

1. **▲▼ボタンで［外径］または［内径］を選び、◀▶ボタン（スクロールホイール）で印刷領域を指定して、OKボタンをタッチする**

参　考

- 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

2 印刷するプリンタブルディスクの種類を選んで、OKボタンをタッチする

ディスクレーベルコピー
印刷するディスクが｢推奨品｣か｢その他｣かを、取扱説明書で確認して設定してください
推奨品ディスク
その他のディスク

参　考

- 使用するプリンタブルディスクが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品ディスク］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他のディスク］を指定してください。
- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

3 コピーしたいディスクを原稿台ガラスにセットする⇒P.112

1 コピーしたい面を下にして、ディスクを原稿台ガラスの中央付近に置く

重　要

- 原稿台ガラスの端に置くと画像が欠けることがあります。

2 原稿台カバーをゆっくり閉じ、OKボタンをタッチする

3 確認画面で設定内容を確認し、カラーコピーをする場合はカラーボタン（Color）をタッチし、白黒コピーをする場合はモノクロボタン（Black）をタッチする

参　考

- 設定内容を変更したい場合は、戻るボタンで変更したい画面まで戻って設定し直してください。

4 プリンタブルディスクをセットする⇒P.46

参　考

- 左のファンクションボタンをタッチすると、プリンタブルディスクのセット方法を参照することができます。

5 OKボタンをタッチし、印刷を開始する

重　要

- 印刷が終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿台ガラスにセットしたディスクを動かしたりしないでください。

参　考

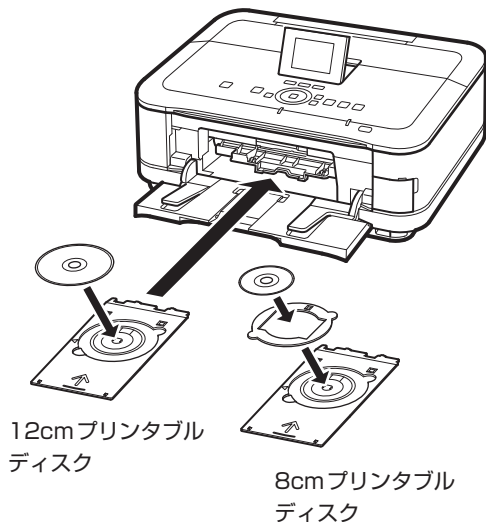
- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷終了後ホームボタンをタッチすると、［ディスクレーベルコピー］を終了してホーム画面に戻ります。

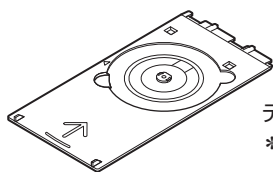
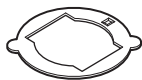
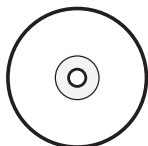
6 ディスクを取り出す⇒P.48

重　要

- 内部カバーを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ず内部カバーを閉じてください。
- 印刷品質を保つため、10枚以上連続して印刷する場合は、10枚ごとに一度印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外して内部カバーを閉じてください。3分経過したあとで内部カバーを開き、ディスクトレイをセットして印刷を再開してください。

プリンタブルディスクをセットする

プリンタブルディスクに印刷するには、付属のディスクトレイにプリンタブルディスクをセットして本体に差し込みます。
パソコンからプリンタブルディスクに印刷する場合も、同様の方法でセットしてください。

プリンタブルディスクをセットする前に

プリンタブルディスクに印刷するには次のものが必要です。

ディスクトレイ（本製品に付属）
＊表面に「G」と入っています

8cmディスクアダプター
（8cmプリンタブルディスクに印刷するときに使用）
＊ディスクトレイに装着されています

市販の12cmまたは8cm
プリンタブルディスク
レーベル面がインクジェット方式のプリンターに対応したもの

重　要

- 8cmプリンタブルディスクへの印刷は、パソコンからのみ行うことができます。

参　考

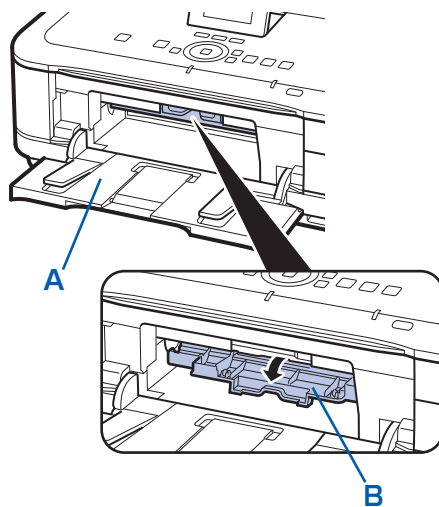
- プリンタブルディスクとは、レーベル面に特殊な加工が施された印刷が可能なディスクです。推奨のプリンタブルディスクを使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

プリンタブルディスクをセットする

重　要

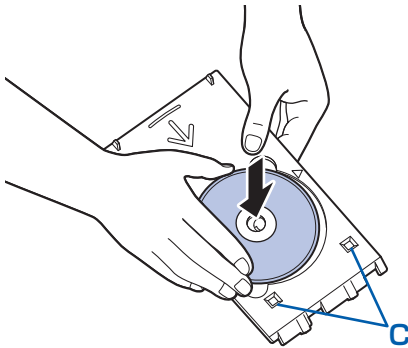
- プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

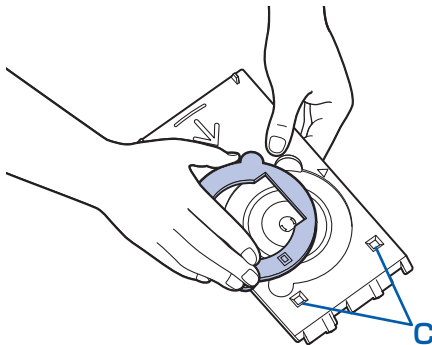
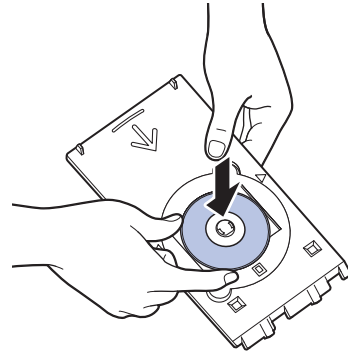
1 排紙トレイ(A)を開く

2 プリンタブルディスクのセットを促すメッセージを確認し、内部カバー(B)を手前に開く

3 ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットする

重 要

- ディスクトレイにゴミなどがないことを確認してからセットしてください。
- セットするときにプリンタブルディスクの印刷面や反射板（C）に触れないでください。

12cmプリンタブルディスクの場合：
印刷面を上にして、プリンタブルディスクをディスクトレイにセットする

8cmプリンタブルディスクの場合：

1 8cmディスクアダプター両端の突起部分を、ディスクトレイのくぼみに合わせてセットする

2 印刷面を上にして、8cmプリンタブルディスクをディスクトレイにセットする

4 ディスクトレイをセットする

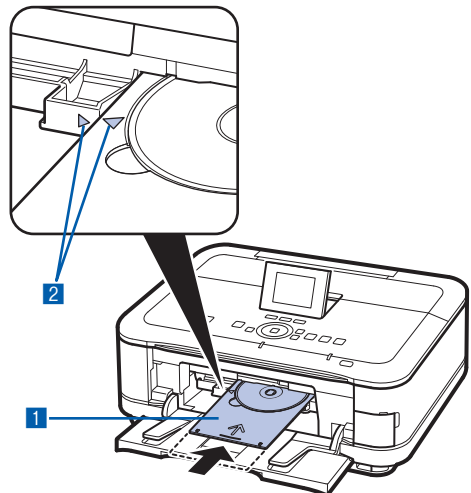
参 考

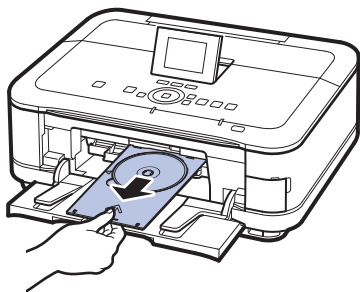
- ディスクトレイをセット後、一定時間を経過すると、セットしたディスクトレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示にしたがって、ディスクトレイをセットし直してください。

1 ディスクトレイを内部カバーにセットする

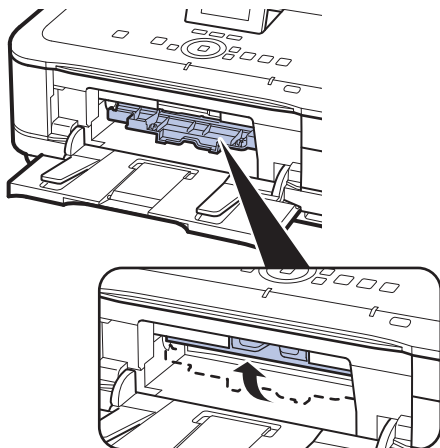
2 ディスクトレイの矢印（◁）と、内部カバーの矢印（▷）がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入する

重 要

- 内部カバーの矢印（▷）の位置より奥にディスクトレイを押し込まないでください。

プリンタブルディスクを取り出す

1 ディスクトレイを手前に引いて取り出す

2 内部カバーを閉じる

重　要

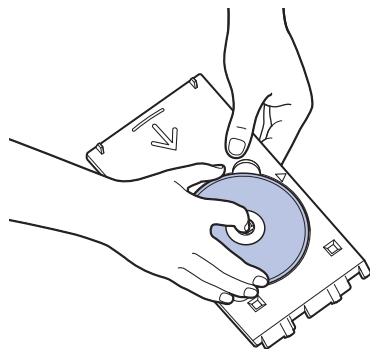
• 内部カバーを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ず内部カバーを閉じてください。

3 プリンタブルディスクを取り外す

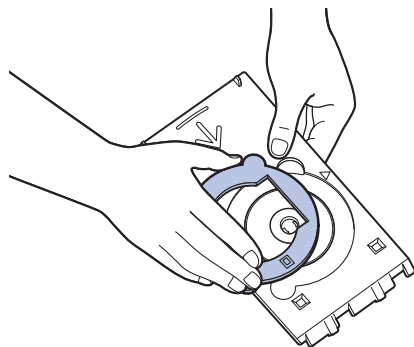
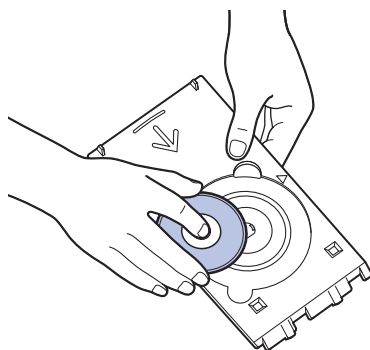
重　要

• 取り外す際に印刷面に触れないでください。

参　考

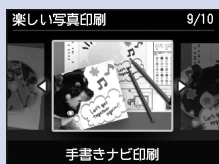
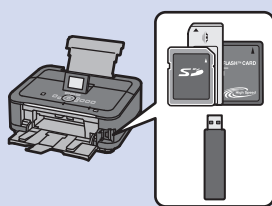
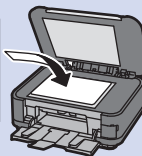
• 印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。ディスクトレイ上に印刷された場合や、プリンタブルディスクの外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてから拭き取ってください。

12cmプリンタブルディスクの場合：
ディスクトレイからプリンタブルディスクを取り外す

8cmプリンタブルディスクの場合：

1 8cmディスクアダプターを取り外す

2 ディスクトレイから8cmプリンタブルディスクを取り外す

重　要

• ディスクトレイは反ると使用できなくなることがあります。必ず平らなところに保管してください。

写真に手書き文字を合成して印刷してみよう

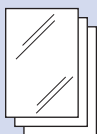
本製品から印刷される手書きナビシートを使うと、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存されている写真に手書きの文字や絵を加えた合成写真やディスクレーベルをかんたんに印刷できます。
本製品に登録されているフレームやイラストなどを組み合わせれば、手軽な操作でオリジナルの年賀状やグリーティングカードの印刷が楽しめます。

写真に手書き文字を合成して印刷する

ここでは、手書きナビシートを使って、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの写真に手書きの文字や絵を加えて印刷する方法について説明します。

用意するもの

写真の入ったメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.29）
⇒「USBフラッシュメモリーをセットする」（P.33）

A4サイズの普通紙１枚
手書きナビシート印刷用*1

筆記用具
マーク用の鉛筆と色の濃いペンやマーカーなど*2

印刷用の写真用紙*3

*1　手書きナビシート印刷用の普通紙は、表裏ともに白い用紙を用意してください。
色のついた紙などは使用しないでください。

*2　文字や絵を書き込む筆記用具には、色の薄いペンや細いペン、蛍光ペンなどは避けてください。薄いとうまく読み取れないことがあります。

*3　印刷に対応した用紙は、はがき、L判、名刺、KG、シール紙です。

手書きナビシートを印刷する

1　印刷の準備をする

1　電源を入れる⇒P.12

2　カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認する⇒P.99

3　排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2　メニューを選び、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

1　ホーム画面から［楽しい写真印刷］を選ぶ⇒P.14

2　［手書きナビ印刷］を選び、OKボタンをタッチする

3　［手書きシート印刷］が選ばれていることを確認し、OKボタンをタッチする

4　メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

メモリーカード：ラベル面を左にしてカードスロットにセットします。⇒P.29

USBフラッシュメモリー：カメラ接続部にセットします。⇒P.33

重　要

- 写真の印刷が終了するまで、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜かないでください。
- 手書きナビシートを印刷したあとに、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに写真を追加したり、削除した場合は、手書きナビシートをスキャンしたときに、写真がうまく印刷されない場合があります。手書きナビシートを印刷したあと、手書きナビシートをスキャンするまでメモリーカードやUSBフラッシュメモリーの内容を書き換えないでください。

5 液晶モニターの表示を確認し、OKボタンを2回タッチする

3 写真と本製品に登録されているイラストを選ぶ

1 ◀▶ボタン（スクロールホイール）でレイアウトを選び、OKボタンをタッチする

ここでは、［用紙全面に写真］を選びます。

参　考

- ［シール紙］を選んだ場合は、手順4に進みます。
- ［用紙全面に写真］のほかにも、いろいろなレイアウトが選べます。
  ⇒「いろいろなレイアウトで印刷してみよう」（P.55）

2 ▲▼ボタン（スクロールホイール）で用紙サイズを選び、OKボタンをタッチする

3 ▲▼ボタン（スクロールホイール）で用紙種類を選び、OKボタンをタッチする

4 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で印刷したい写真を表示し、OKボタンをタッチする

参　考

- 中央のファンクションボタンをタッチすると、表示/モードを変更する画面が表示され、写真の表示方法を切り替えることができます。⇒P.27

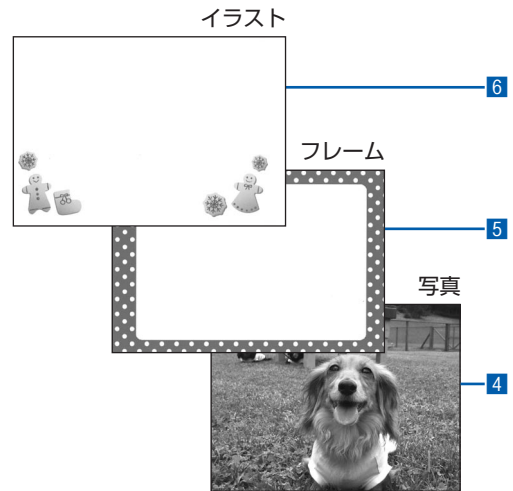
5 フレームを選び、OKボタンをタッチする

参　考

- フレームを指定しない場合は、「フレームなし」と表示されている画面でそのままOKボタンをタッチしてください。フレームの選択中に［フレームなし］を選ぶには、右のファンクションボタンをタッチします。
- フレームと写真の方向が合わない場合は、▲▼ボタンでフレームを回転させて、写真に合わせて印刷します。
- フレームに合わせて写真を90度回転させたい場合や写真の一部を切り抜きたい場合は、中央のファンクションボタンをタッチして、トリミングの設定をしてください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）
- ［名刺］や［シール紙］を選んだ場合は、手順4に進みます。

6 イラストを選び、OKボタンをタッチする

参　考

- イラストを指定しない場合は、「イラストなし」と表示されている画面でそのままOKボタンをタッチしてください。イラストの選択中に［イラストなし］を選ぶには、右のファンクションボタンをタッチします。

4 メッセージを確認して、カラーボタン（Color）をタッチする

手書きナビシートが印刷されます。

重　要

- 印刷されたシートは汚さないでください。シートが汚れていると正しく読み取れない場合があります。

参　考

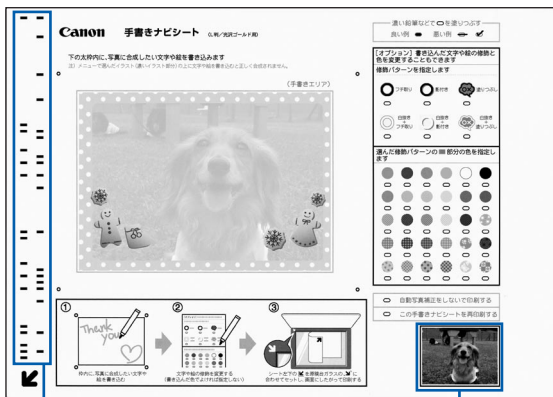
- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。
- 使用するカメラ、撮影の向きなどにより、手順3の1で選択したレイアウトで印刷されない場合があります。その場合は、もう一度「手書きナビシートを印刷する」（P.50）の手順2からやり直し、他のレイアウトを選択してください。

シートに合成したい文字や絵を書き込む

マークを塗るときは、濃い鉛筆などを使ってしっかりと塗りつぶしてください。

良い例

悪い例

チェックマーク　線のみ　うすい

参考

- 塗りつぶしたマークが薄いとスキャンされないことがあります。

（A）印刷設定情報がバーコードで表示されます。この部分は汚さないようにしてください。
（B）選んだ写真が印刷されます。

1 シートの手書きエリアに合成したい文字や絵を書き込む

文字や絵は太枠の内側に書くようにしてください

参考

- 文字や絵は、濃い筆記用具でかすれのないようはっきりと書いてください。蛍光ペンなどの薄い色はうまく読み取れない場合があります。
- 手書きエリアに書いた文字や絵は、印刷する用紙に合わせて写真とともに拡大／縮小されます。
- 写真に合わせて書いた文字や絵は、実際に合成したときにわずかにずれる場合があります。
- 「手書きナビシートを印刷する」（P.50）の手順**3**で選んだイラストに文字や絵を重ねて書いた場合、文字修飾の効果やフチなどが正しく印刷できない場合があります。イラストに文字や絵を重ねて書かないようにしてください。
- 写真の周囲近辺に書いた文字や絵は印刷されないことがあります。

2 シートで必要な設定を行う

シートの［オプション］で、書き込んだ文字や絵に色を付けたり、影を付けることができます。詳しくは、「手書きの文字や絵に飾りを付ける」を参照してください。
［オプション］を指定しない場合、文字や絵は手書きしたままの色になります。

参　考

- 自動写真補正をしない場合は、「自動写真補正をしないで印刷する」にマークを付けてください。マークを付けない場合は自動写真補正が有効になります。
- 「この手書きナビシートを再印刷する」にマークを付けると、手書きナビシートをもう一度印刷します。マークを付けるとほかのマークはすべて無効になります。

手書きナビシートでシールを印刷するとき

- 「手書きナビシートを印刷する」（P.50）の手順**3**の**1**で［シール紙］を選んだ場合、シール紙用のシートの「Step 2」でシール紙のレイアウトを選びます。
- シール紙に対応したレイアウトは以下のとおりです。
  －ピクサスプチシールPS-101：16面
  －フォトシールセットPSHRS：2 面、4 面、9 面、16面
- 模様を選ぶ場合は、大きなサイズのシール紙に印刷することをお勧めします。
  シール紙 16面で模様を選ぶと、模様が見えづらい場合があります。

手書きの文字や絵に飾りを付ける

シートの［オプション］のマークを塗りつぶすと、書き込んだ文字や絵をいろいろな修飾パターンで飾ったり、色を付けることができます。
－［オプション］を指定しない場合、文字や絵は手書きしたままの色になります。
－修飾パターンと色のそれぞれの枠内で、2つ以上のマークを塗りつぶさないでください。

- **文字や絵の飾りかたを修飾パターンから選びます。**

フチ取り：
文字や絵に指定の色や模様の細いフチを付けます。

影付き：
文字や絵の右下に指定の色や模様の影を付けます。

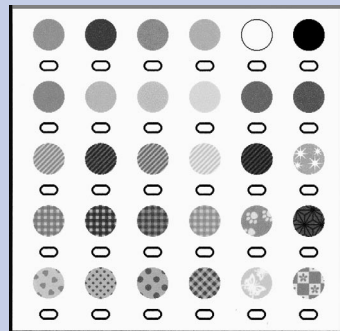
塗りつぶし：
文字や絵で囲まれたエリアを指定の色や模様で塗りつぶします。

白抜き＋フチ取り：
文字や絵を白抜きにし、さらに文字や絵に指定の色や模様の細いフチを付けます。

白抜き＋影付き：
文字や絵を白抜きにし、さらに文字や絵の右下に指定の色や模様の影を付けます。

白抜き＋塗りつぶし：
文字や絵を白抜きにし、さらに文字や絵で囲まれたエリアを指定の色や模様で塗りつぶします。

影付きは、撮影した写真の向きや選んだレイアウトにより、意図しない方向につく場合があります。

- **フチ取りや影、塗りつぶしに使用する色や模様を選びます。**

チェック模様などを選ぶときは、「塗りつぶし」や「白抜き＋塗りつぶし」を指定することをお勧めします。それ以外の修飾パターンでは、模様が見えづらくなる場合があります。

シートをスキャンして写真を印刷する

1 「手書きナビシートを印刷する」(P.50)の手順3で選んだ用紙を後トレイにセットする

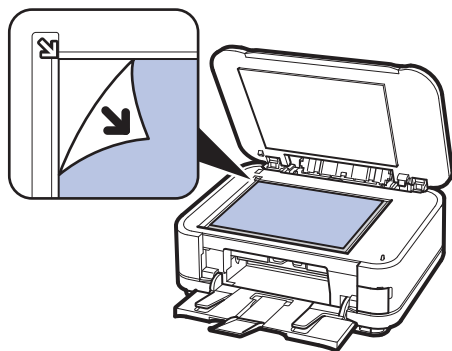
用紙のセット方法については、「後トレイに用紙をセットする」(P.101)を参照してください。

2 [手書きシート読込]が選ばれていることを確認し、OKボタンをタッチする

参　考

- [手書きシート読込]が選ばれていないときは、ホーム画面から[楽しい写真印刷]を選び、[手書きナビ印刷]から[手書きシート読込]を選んでください。

3 原稿台ガラスに、手書きナビシートをセットする

文字などを書き込んだ面を下にして、シートの左下隅のマークを原稿位置合わせマーク( )に合わせます。

4 原稿台カバーをゆっくり閉じて、OKボタンをタッチする

5 +−ボタンまたはスクロールホイールで印刷部数を設定し、カラーボタン(Color)をタッチする

手書きナビシートがスキャンされ、指定した写真にフレームと手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。
印刷が終了するまで原稿台カバーを開けないでください。

印刷終了後、原稿台ガラスから手書きナビシートを取り出してください。

重　要

- 液晶モニターに「手書きナビシートの読み取りに失敗しました」と表示された場合はOKボタンをタッチし、「困ったときには」の「手書きナビシートからうまく印刷できない」(P.170)を参照してください。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタン(Stop)をタッチします。
- 手書きした文字や絵の大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- 撮影方法や画像編集の条件によっては、画像の上下が逆に印刷されることがあります。その場合は用紙の向きを逆にしてセットしてください。
- ホームボタンをタッチすると、[楽しい写真印刷]を終了してホーム画面に戻ります。
- 指定したレイアウトによっては、画像データと縦横の比率が異なるため、画像の一部が指定用紙や枠内に収まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズや枠の大きさに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。

いろいろなレイアウトで印刷してみよう

［手書きシート印刷］のレイアウト選択の画面で、いろいろなレイアウトを選ぶことができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

［縦置き：上半面に写真／横置き：左半面に写真］

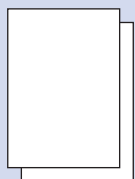
［縦置き：下半面に写真／横置き：右半面に写真］

［シール紙］

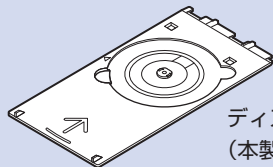
写真に手書き文字を合成してディスクレーベルを印刷する

ここでは、ディスクレーベル手書きナビシートを使って、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの写真に手書きの文字や絵を加え、プリンタブルディスクに印刷する方法について説明します。

用意するもの

写真の入ったメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー
⇒「メモリーカードをセットする前に」（P.29）
⇒「USBフラッシュメモリーをセットする」（P.33）

A4サイズの普通紙2枚
ディスクレーベル手書きナビシート印刷用[*1]とお試し印刷用

筆記用具
マーク用の鉛筆と色の濃いペンやマーカーなど[*2]

12cmプリンタブルディスク[*3]
（レーベル面に印刷可能なもの）
⇒P.46

ディスクトレイ
（本製品に付属）⇒P.46

*1　ディスクレーベル手書きナビシート印刷用の普通紙は、表裏ともに白い用紙を用意してください。
色のついた紙などは使用しないでください。

*2　文字や絵を書き込む筆記用具には、色の薄いペンや細いペン、蛍光ペンなどは避けてください。薄いとうまく読み取れないことがあります。

*3　8cmプリンタブルディスクへの印刷は、パソコンからのみ行うことができます。

参　考

- 画像がずれて印刷される場合は、［セットアップ］メニューの［本体設定］から［印刷設定］を選び、［ディスクの印刷位置調整］でプリンタブルディスクの印刷位置を調整してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

ディスクレーベル手書きナビシートを印刷する

1　印刷の準備をする

重　要

- プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1. **電源を入れる⇒P.12**
2. **カセットにA4サイズの普通紙が2枚以上セットされていることを確認する⇒P.99**
3. **排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く**

2　メニューを選び、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

1. **ホーム画面から［楽しい写真印刷］を選ぶ⇒P.14**
2. **［ディスクレーベル手書き］を選び、OKボタンをタッチする**
3. **［ナビシート印刷］が選ばれていることを確認し、OKボタンをタッチする**

4 **メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする⇒P.29、P.33**

重　要

- 写真の印刷が終了するまで、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜かないでください。
- ディスクレーベル手書きナビシートを印刷したあとに、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに写真を追加したり、削除した場合は、シートをスキャンしたときに、写真がうまく印刷されない場合があります。シートを印刷したあと、シートをスキャンするまでメモリーカードやUSBフラッシュメモリーの内容を書き換えないでください。

5 **液晶モニターの表示を確認し、OKボタンをタッチする**

3 印刷したい写真を選ぶ

1 **◀▶ボタン（スクロールホイール）で印刷したい写真を表示し、OKボタンをタッチする**

参　考

- 中央のファンクションボタンをタッチすると、表示/モードを変更する画面が表示され、写真の表示方法を切り替えることができます。⇒P.27

2 **トリミングのサイズと位置を確認し、OKボタンをタッチする**

▲▼◀▶ボタンをタッチすると、トリミング領域を移動できます。＋－ボタンまたはスクロールホイールをタッチすると、トリミング領域を拡大／縮小できます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

4 メッセージを確認して、カラーボタン（Color）をタッチする

ディスクレーベル手書きナビシートが印刷されます。

重　要

- 印刷されたシートは汚さないでください。シートが汚れていると正しく読み取れない場合があります。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。

シートに合成したい文字や絵を書き込む

マークを塗るときは、濃い鉛筆などを使ってしっかりと塗りつぶしてください。

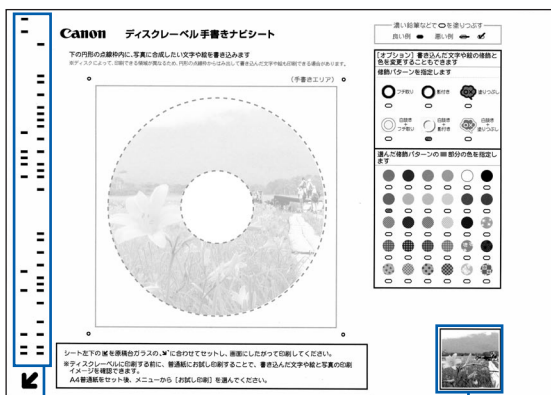
良い例

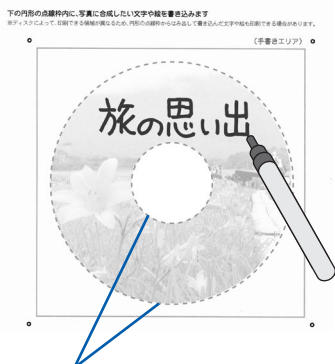
チェックマーク

線のみ

うすい

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄いとスキャンされないことがあります。

(A) 印刷設定情報がバーコードで表示されます。この部分は汚さないようにしてください。
(B) 選んだ写真が印刷されます。

1 シートの手書きエリアに合成したい文字や絵を書き込む

文字や絵は点線の枠内に書くようにしてください

参考

- 文字や絵は、濃い筆記用具でかすれのないようはっきりと書いてください。蛍光ペンなどの薄い色はうまく読み取れない場合があります。
- 印刷領域の設定によっては、実際のディスクレーベルの印刷結果とディスクレーベル手書きナビシート上の印刷イメージとが異なる場合があります。また、ナビシートを印刷する用紙の種類によって、写真の色あいなどの見えかたも異なります。
- プリンタブルディスクの内径と外径の近辺に文字や絵を書くと、印刷のときに欠けることがあります。

2 合成の方法を指定する

シートの［オプション］で、書き込んだ文字や絵に色を付けたり、影を付けることができます。詳しくは、「手書きの文字や絵に飾りを付ける」（P.53）を参照してください。
［オプション］を指定しない場合、文字や絵は手書きしたままの色になります。

シートをスキャンして写真を印刷する

参考

- 写真と合成する文字や絵をプリンタブルディスクに印刷する前に、普通紙にお試し印刷して、印刷結果を確認することができます。
⇒「用紙にお試し印刷する」（P.60）

1 ［ナビシート読込&印刷］が選ばれていることを確認し、OKボタンをタッチする

参考

- お試し印刷を行った場合は、表示内容を確認しながらOKボタンをタッチして、手順4の3まで進めてください。

2 原稿台ガラスに、ディスクレーベル手書きナビシートをセットする

⇒P.54

3 原稿台カバーをゆっくり閉じて、OKボタンをタッチする

4 プリンタブルディスクの印刷設定をする

1 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で外径を指定して、OKボタンをタッチする

2 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で内径を指定して、OKボタンをタッチする

参 考

- 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

3 印刷するプリンタブルディスクの種類を選んで、OKボタンをタッチする

参 考

- 使用するプリンタブルディスクが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品ディスク］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他のディスク］を指定してください。
- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

5 確認画面で印刷設定を確認し、カラーボタン(Color)をタッチする

参 考

- 設定内容を変更したい場合は、戻るボタンで変更したい画面まで戻って設定し直してください。

6 プリンタブルディスクをセットし(⇒P.46)、OKボタンをタッチして印刷を開始する

ディスクレーベル手書きナビシートがスキャンされ、指定した写真に手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。
印刷が終了するまでは原稿台カバーを開けないでください。
印刷終了後、原稿台ガラスからディスクレーベル手書きナビシートを取り出してください。

重 要

- 液晶モニターに「ディスクレーベル手書きナビシートの読み取りに失敗しました」と表示された場合はOKボタンをタッチし、「困ったときには」の「手書きナビシートからうまく印刷できない」（P.170）を参照してください。

参 考

- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。
- ［セット方法］と表示されている画面で左のファンクションボタンをタッチすると、プリンタブルディスクのセット方法が表示されます。
- 手書きした文字や絵の大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- プリンタブルディスクの取り出しについては「プリンタブルディスクを取り出す」（P.48）を参照してください。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷品質を保つため、10枚以上連続して印刷する場合は、10枚ごとに一度印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外して内部カバーを閉じてください。3分経過したあとで内部カバーを開き、ディスクトレイをセットして印刷を再開してください。
- ホームボタンをタッチすると、［楽しい写真印刷］を終了してホーム画面に戻ります。

用紙にお試し印刷する

1 ［お試し印刷］を選び、OKボタンをタッチする

2 原稿台ガラスに、ディスクレーベル手書きナビシートをセットする

⇒P.54

3 原稿台カバーをゆっくり閉じて、OKボタンをタッチする

4 プリンタブルディスクの印刷設定をする

1 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で外径を指定して、OKボタンをタッチする

2 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で内径を指定して、OKボタンをタッチする

参　考

- 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。

5 メッセージを確認して、カラーボタン（Color）をタッチする

お試し印刷が開始されます。

参　考

- お試し印刷の色あいや見えかたは、実際のディスクレーベルの印刷結果と異なる場合があります。
- お試し印刷の結果を確認して修正するには、以下の操作にしたがってください。
  －修飾パターンや色などを変更したい場合は、シートのオプションでマークを再度塗りつぶしてください。
  －手書きエリアに書き込んだ文字や絵を修正したい場合は、再度手書きナビシートを印刷し、書き直してください。

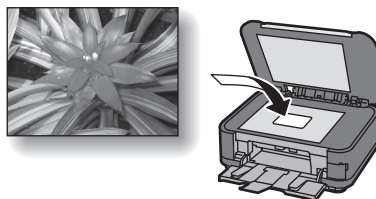
写真を焼き増ししてみよう

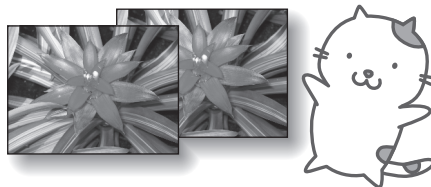
プリント写真を焼き増しして、いろいろなレイアウトで印刷することができます。

写真をセットしてスキャンする

印刷の設定をする

印刷設定

用紙ｻｲｽﾞ	L判
用紙種類	光沢ゴールド
印刷品質	標準
フチ指定	フチなし
写真補正	自動写真補正

カラーボタン（Color）または
モノクロボタン（Black）
をタッチすると

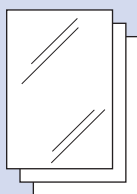
焼き増しの完成！

プリント写真から印刷する

プリント写真を焼き増ししてみましょう。
ここでは、プリント写真をスキャンして、L判サイズの写真用紙に印刷する方法について説明します。

参　考

- 写真焼き増しでスキャンした画像は、保存できません。スキャンした画像をパソコンやメモリーカード、USBフラッシュメモリーに保存する場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

用意するもの

プリント写真

印刷用の写真用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.106）

1　写真焼き増しの準備をする

1 電源を入れる⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.101
ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

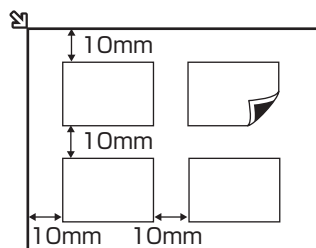
3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 ホーム画面から［写真焼き増し］を選ぶ⇒P.14

5 説明画面が表示されたら、OKボタンをタッチする

2　写真を原稿台ガラスにセットし、スキャンする

1 原稿台カバーを開ける

2 スキャンしたい面を下にして写真を原稿台ガラスにセットする⇒P.110
E判やL判は4枚、2L判やはがきは2枚までセットできます。

参　考

- 写真は原稿台ガラスと平行になるように、原稿台ガラスの端から10mm以上あけてセットしてください。
- 写真が2枚以上ある場合は、写真と写真の間隔を10mm以上あけてください。写真と写真の間隔が狭いと、1つの画像としてスキャンされる場合があります。
- 傾き補正機能により、約10度までの傾きは自動的に補正されます。
- 長い辺が約180mm以上の写真の傾きは補正できません。
- 写真選択画面にが表示された場合は、写真が原稿台ガラスの端に近づきすぎていないか、傾きが大きすぎないかを確認し、写真をセットし直してから、再度スキャンしてください。
- 約25mm四方より小さい写真は正しくスキャンできません。
- 次のような写真は、正しくスキャンできない場合があります。
  ー長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）
  ー全体が白っぽい写真
  ー周囲が白っぽい写真
- フチのある写真はフチの部分を正しくスキャンできない場合があります。必要に応じてトリミングを行ってください。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

3 **原稿台カバーをゆっくり閉じ、OK ボタンをタッチする**
スキャンが開始されます。

重　要

- 印刷前に写真を再度スキャンするため、印刷が終了するまでは原稿台カバーを開けたり、セットした写真を動かしたりしないでください。

3 印刷したい写真を選ぶ

1 **［選んで印刷］を選び、OK ボタンをタッチする**

参　考

- ［選んで印刷］のほかにも、便利な印刷機能があります。
⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.64）

2 **◀▶ ボタン（スクロールホイール）で印刷したい写真を表示する**

3 **＋－ボタンで印刷部数を指定する**

参　考

- 写真の左上にが表示されている場合は、正しくスキャンできなかった可能性があります。左のファンクションボタンをタッチして［再読込］を選び、メッセージにしたがって手順**2**から操作し直してください。
- 中央のファンクションボタンをタッチすると、トリミング画面に切り替わり、写真の一部を切り抜くことができます。⇒P.28

4 **手順2、3を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷部数を指定する**

5 **印刷に必要な用紙の枚数を確認する**

4 印刷を開始する

1 **右のファンクションボタンをタッチして［印刷設定］を選び、用紙のサイズや種類、印刷品質などを確認する**
ここでは、用紙サイズに［L 判］、用紙種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認します。
設定内容を変更するには、▲▼ボタン（スクロールホイール）で変更したい項目を選び、◀▶ ボタンで変更します。
⇒「設定を変更する」（P.24）

参　考

- 印刷設定画面の［写真補正］で［手動補正］を選んだあと、右のファンクションボタンをタッチして［詳細設定］を選ぶと、手動で写真補正を行うことができます。
⇒「いろいろな機能を使ってみよう」（P.64）
- 用紙のサイズや種類、印刷品質などの設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回［写真焼き増し］を選んだときにその設定が表示されます。

2 **カラーで印刷する場合はカラーボタン（Color）をタッチし、白黒で印刷する場合はモノクロボタン（Black）をタッチする**
印刷が開始されます。
印刷終了後、原稿台ガラスから写真を取り出してください。

参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタン（Stop）をタッチします。
- 印刷終了後ホームボタンをタッチすると、［写真焼き増し］を終了してホーム画面に戻ります。

いろいろな機能を使ってみよう

［写真焼き増し］で使える便利な機能の一部を紹介します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなレイアウトで印刷する

［選んで印刷］のほかに、レイアウトを選んで写真を印刷することができます。

［絵はがき風印刷］　［シール紙印刷］

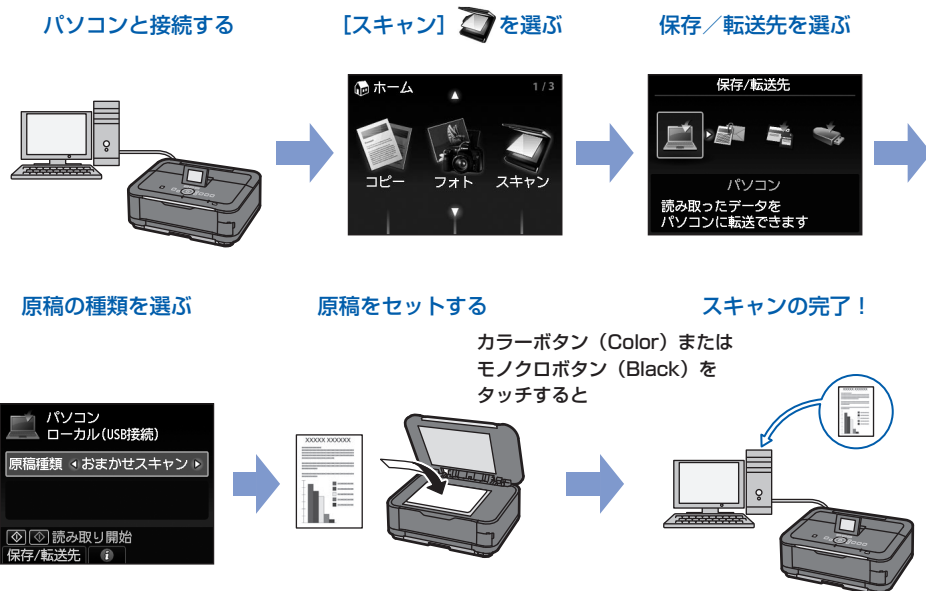
［すべての写真を印刷］

写真を補正する

印刷設定画面の［写真補正］で［手動補正］を選ぶと、写真に対して手動で明るさやコントラスト、色あいなどの調整や色あせ補正を行うこともできます。

［明るさ］　［コントラスト］

スキャンしてみよう

スキャンしたデータは、パソコンに保存／転送して付属のアプリケーションソフトを使って編集／加工したり、本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存することができます。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

スキャンしたデータをUSB接続またはネットワークに接続してあるパソコンに保存／転送することができます。

ここでは、［おまかせスキャン］で、原稿の種類を自動判別し、MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）の設定にしたがって、スキャンしたデータをUSB接続のパソコンに保存する方法について説明します。

スキャンしたデータをメモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存する方法や、パソコン側からスキャンする方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何にかかわらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

参　考

- ［おまかせスキャン］は、スキャンしたデータの保存／転送先がUSB接続のパソコンの場合のみ選ぶことができます。
- ［おまかせスキャン］で判別できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、ディスク（BD/DVD/CDなど）です。その他の原稿は、原稿種類から［文書］または［写真］を選び、読取サイズを指定してスキャンしてください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

操作パネルを使ったスキャンの準備

原稿をスキャンする前に、次のことを確認してください。

- ソフトウェア（MPドライバーとMP Navigator EX）はインストールされていますか？
  ソフトウェアをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［MPドライバー］と［MP Navigator EX］を選んでインストールします。
- ［おまかせスキャン］でスキャンしたデータの保存方法をMP Navigator EXで設定しましたか？
  操作パネルを使用して［おまかせスキャン］でパソコンに保存するときの保存方法は、MP Navigator EXの［環境設定］で設定することができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- スキャンする原稿は、原稿台ガラスにセットできる原稿の条件に合っていますか？
  詳しくは、「セットできる原稿について」（P.112）を参照してください。

本製品をUSBで接続している場合

本製品とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。

本製品をネットワークに接続している場合

ネットワークに接続しているパソコンを使用する場合は、次のことを確認してください。

- 本製品とパソコンが正しくネットワークに接続されていることを確認してください。

Windows

- Canon IJ Network Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・ネットワーク・スキャン・ユーティリティ）の設定画面で本製品が選択されていますか？
- Canon IJ Network Scan Utilityが起動していますか？

Macintosh

- Canon IJ Network Scanner Selector（キヤノン・アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セレクター）の設定画面で本製品が選択されていますか？
- Canon IJ Network Scanner Selectorが起動していますか？

詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）のネットワーク環境でスキャンするときの説明を参照してください。

パソコンに保存する操作

1 スキャン操作を選ぶ

1 本製品の電源を入れる⇒P.12

2 ホーム画面から［スキャン］を選ぶ⇒P.14

一度でもパソコンを保存先に指定してスキャンを行っている場合は、手順5に進みます。

3 ◀▶ボタン（スクロールホイール）で［パソコン］を選び、OKボタンをタッチする

パソコンを選択する画面が表示されます。

本製品で読み取ったデータは、パソコンに保存する以外にも、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存したり、パソコンで設定されているメールに添付したりすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

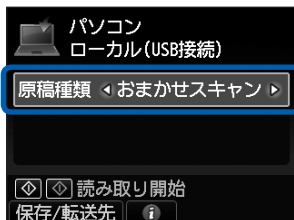
4 保存／転送先のパソコンを選び、OKボタンをタッチする

ここでは、［ローカル（USB接続）］を選びます。

参　考

- ネットワーク接続の場合は、一覧に表示されているパソコン名から保存／転送先を選んでください。ただし、ネットワーク接続されているパソコンを選ぶと、手順5で［おまかせスキャン］は表示されません。

5 原稿種類を選ぶ

ここでは、［おまかせスキャン］を選びます。

参　考

- 保存／転送先を変更する場合は、左のファンクションボタンをタッチして［保存/転送先］を選んでください。
- 原稿種類は［おまかせスキャン］のほかに、［文書］と［写真］があります。
- 原稿種類から［文書］や［写真］を選ぶと、右のファンクションボタンの［読取設定］で設定した、読取サイズ、データ形式、解像度でパソコンに保存／転送できます。⇒P.69

2 原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.110

セットできる原稿の種類やサイズについては、「セットできる原稿について」（P.112）を参照してください。

参　考

- 原稿種類から［文書］や［写真］を選んだときには、右のファンクションボタンをタッチして［読取設定］を選び、［読取サイズ］で読み取る原稿のサイズを選んでください。
⇒「設定を変更する」（P.69）
- 色の薄いペンや蛍光ペンで書かれた文字や線などは、正しくスキャンできない場合があります。

3 カラーボタン(Color)またはモノクロボタン(Black)をタッチして、スキャンを開始する

MP Navigator EXが起動し、スキャンされた原稿がMP Navigator EXの設定にしたがってパソコンに保存されます。
スキャン中は、「原稿を読み取っています」というメッセージが表示されます。

原稿種類が写真か文書かを自動で判別し、MP Navigator EXの設定（JPEG/Exif、TIFF形式、PDFファイル）にしたがって、1ファイルずつパソコンに保存します。

続けて原稿をスキャンする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットし、カラーボタン（Color）またはモノクロボタン（Black）をタッチしてください。

スキャン終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

重　要

- 動作中に電源を切らないでください。
- パソコンに本製品を接続して画像をスキャンしているときに、USBケーブルまたはLANケーブルを抜き差ししないでください。
- スキャンが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿を動かしたりしないでください。

参　考

- 原稿の種類によって画像の位置やサイズが正しくスキャンできない場合があります。そのようなときは、原稿種類で［文書］または［写真］を選び、「設定を変更する」（P.69）を参照して、［読取サイズ］などを実際の原稿に合わせてスキャンしてください。
- ［スキャン］の操作で、データ形式を［PDF］または［高圧縮PDF］で保存したデータや、MP Navigator EXでPDF形式で保存したデータは、ホーム画面の［文書印刷］から印刷することができます。
  詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

プログラム選択画面が表示されたときには

- 手順3のあとでプログラムの選択画面が表示される場合があります。
  その場合は、［MP Navigator EX Ver4.0］を選んで［OK］ボタンをクリックしてください。
  プログラム選択画面を表示させずに、MP Navigator EXを自動で起動するには、以下の操作にしたがってください。
  －Windows 7またはWindows Vistaをご使用の場合は、「困ったときには」の「Windowsをご使用の方へ」（P.168）を参照してください。
  －Windows XPをご使用の場合は、プログラムの選択画面で、起動するアプリケーションソフトに［MP Navigator EX Ver4.0］を指定して、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

設定を変更する

［原稿種類］を［文書］または［写真］に設定した場合、スキャン待機画面で右のファンクションボタンをタッチして［読取設定］を選ぶと、スキャンするときの読取サイズやデータの形式、解像度など、読取設定を変更することができます。
設定方法については、「設定画面の基本操作」（P.17）を参照してください。

ここでは、［原稿種類］で［文書］を選んだときに表示される設定項目について説明します。

❶ 読取サイズ*1	：	［A4］や［L判］など、スキャンする原稿の読み取りサイズを選びます。 ［オートクロップ］を選ぶと、自動で原稿のサイズを判別します。
❷ データ形式	：	［PDF］、［高圧縮PDF］、［TIFF］、［JPEG］など、スキャンした画像のデータ形式を選びます。
❸ 解像度	：	原稿を読み取るときの解像度を選びます。設定できる解像度は、75dpi / 150dpi / 300dpi / 600dpiです。
❹ プレビュー	：	保存／転送先を［メモリーカード］または［USBメモリー］に設定したときに、原稿台ガラスに置いた原稿のスキャンイメージを液晶モニターに表示させることができます。
❺ 原稿の裏写り低減*2	：	文字原稿の裏写りや、再生紙、新聞などの下地の色を軽減します。
❻ モアレ低減*2	：	スキャンする原稿に濃淡のむらや縞模様などのモアレがある場合、モアレを低減してスキャンします。
❼ 輪郭強調	：	ぼやけた画像をスキャンするときに、輪郭を強調してシャープな印象の画像に調整します。

*1　［原稿種類］で［写真］を選んだときには、［マルチクロップ］を選択でき、原稿台ガラスに複数枚の写真を置いても、1枚1枚の写真として読み取ることができます。

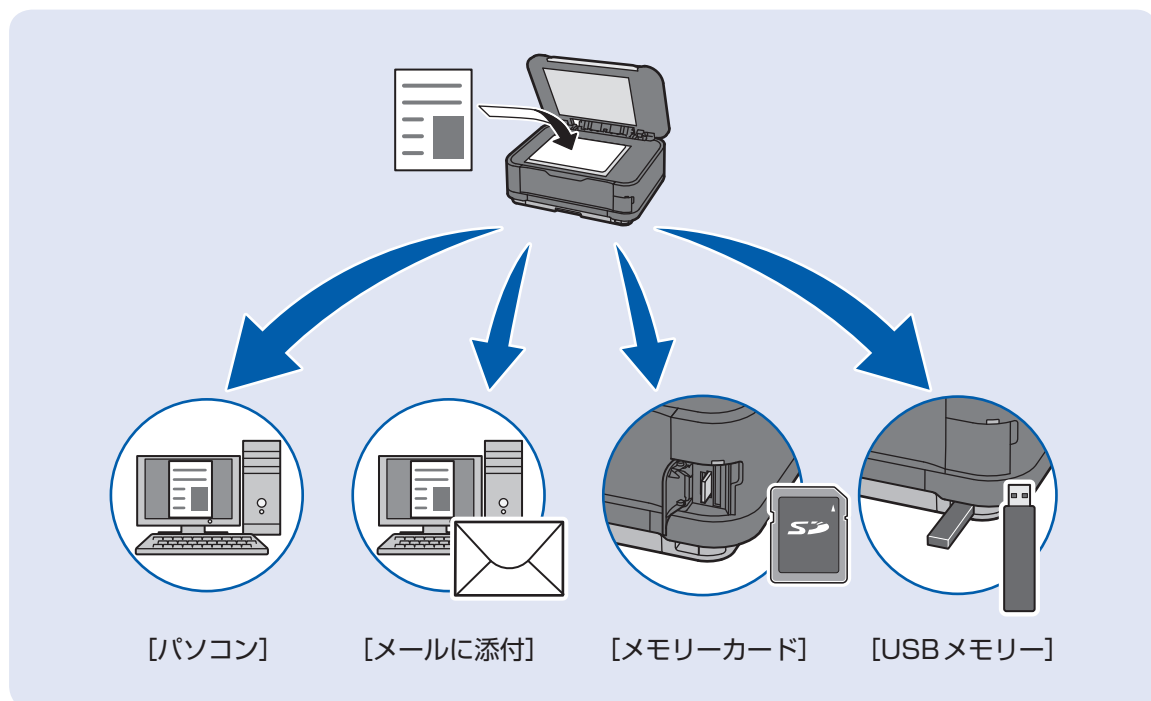
*2　［原稿種類］で［写真］を選んだときは、設定できません。

参　考

- ［保存/転送先］で［パソコン］以外を選んだ場合、表示される設定項目は異なります。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなスキャン機能を使ってみよう

スキャン待機画面で、左のファンクションボタンをタッチして［保存/転送先］を選ぶと、スキャンしたデータをパソコンに保存できるほかに、本製品にセットしたメモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存したり、パソコンから送信するメールに添付することができます。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

スキャンした原稿の保存／転送先

パソコンから印刷してみよう

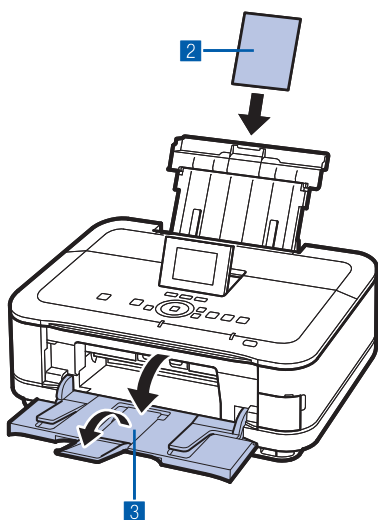
ここでは、文書や写真などをパソコンから印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で印刷することができます。

写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-PhotoPrint EX］を選んでインストールします。

1 印刷の準備をする

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

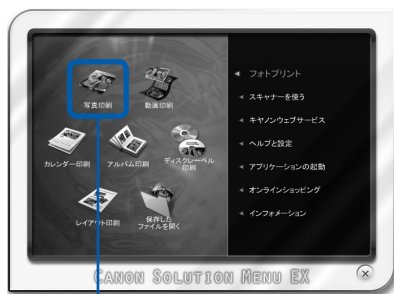
2 用紙をセットする⇒P.98

ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

参　考

- A4サイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

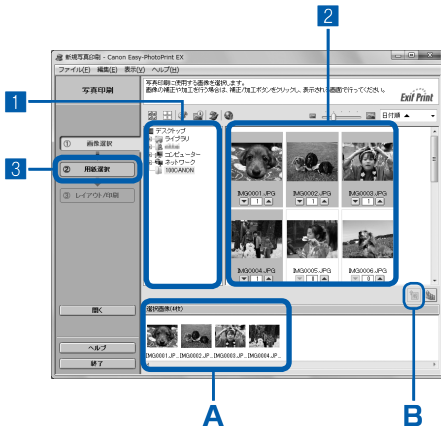
2 Solution Menu EXからEasy-PhotoPrint EXを起動する

1 Solution Menu EX（ソリューション・メニュー・イーエックス）を起動する⇒P.86

2 ［フォトプリント］メニューの［写真印刷］をクリックする

Easy-PhotoPrint EXが起動し、［写真印刷］の画面が表示されます。

参　考

- 写真印刷のほかにも、アルバムやカレンダーを作成することができます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう」（P.75）

3 印刷する写真を選ぶ

1 画像が保存されているフォルダーを選ぶ

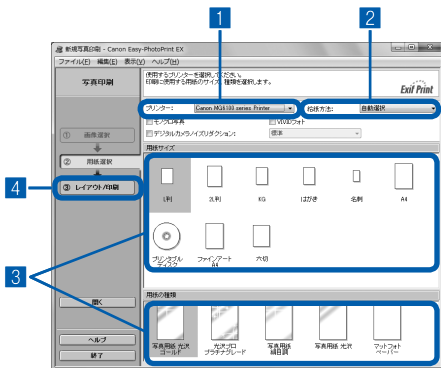
2 印刷する画像をクリックする

枚数が［1］と表示され、［選択画像］エリア（A）に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参考

- 同じ画像を2枚以上印刷したい場合は、ボタンをクリックして枚数を変更します。
- 選んだ画像を取り消すには、［選択画像］エリア（A）で取り消したい画像をクリックしてから、ボタン（B）をクリックします。ボタンで枚数を［0］にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 動画から画像を切り出して印刷することもできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう」（P.75）

3 ［用紙選択］をクリックする

4 用紙を選ぶ

1 ［プリンター］でご使用の製品名が選ばれていることを確認する

2 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

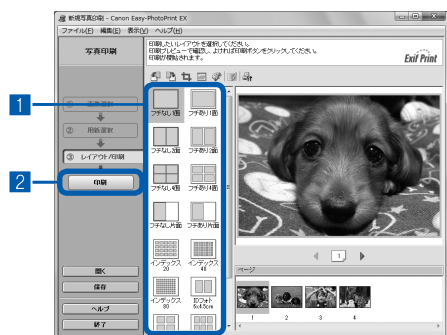
3 ［用紙サイズ］と［用紙の種類］で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、［用紙サイズ］で［L判］、［用紙の種類］でセットした写真用紙の種類を選びます。

参考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4サイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

4 ［レイアウト/印刷］をクリックする

5 レイアウトを選び、印刷する

1 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは［フチなし1面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参　考

- 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 ［印刷］をクリックする

参　考

Windows

- 印刷中に本製品のストップボタン（Stop）をタッチするか、プリンター状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
  プリンター状態の確認画面は、タスクバー上のプリンターのアイコンをクリックして表示します。
  Windows VistaまたはWindows XPをご使用の場合は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）Printer］をクリックして表示します。

Macintosh

- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］（または［ジョブを停止］）をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。

Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう

Easy-PhotoPrint EXで使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。

［アルバム］　［ディスクレーベル］　［名刺］

［カレンダー］　［シール］　［レイアウト印刷］

動画から静止画を作成する

動画の一部を切り出して、静止画を作成することができます。

文書を印刷する（Windows）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- ここでは、Windows 7 operating system Home Premium（以降、Windows 7）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1　本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2　用紙をセットする⇒P.98

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3　排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4　アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5　プリンタードライバーの設定画面を開く

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューまたはツールバーから［印刷］を選ぶ**

［印刷］ダイアログが表示されます。

2 **ご使用の製品名が選ばれていることを確認する**

参　考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

3 **［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする**

6 印刷に必要な設定をする

1 ［よく使う設定］で［文書印刷］を選ぶ

参　考

- ［よく使う設定］で［文書印刷］、［写真印刷］といった印刷目的を選ぶと、選んだ目的により、［追加する機能］の項目に自動的にチェックマークが表示されます。また、印刷目的に適した用紙や品質などの設定が表示されます。

2 表示された設定内容を確認する

ここでは、［用紙の種類］で［普通紙］、［印刷品質］で［標準］、［出力用紙サイズ］で［A4］、［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認してください。

参　考

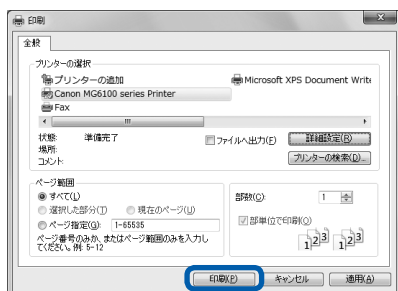
- ［部数］で２部以上の部数を指定すると、部単位で印刷されます。
- 設定内容は変更することができます。ただし、［出力用紙サイズ］を変更した場合は、［ページ設定］シートの［用紙サイズ］の設定がアプリケーションソフトの設定と合っていることを確認してください。
  詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

3 ［OK］ボタンをクリックする

参　考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタードライバーの［クイック設定］シート、［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- 変更した内容に名前を付けて［よく使う設定］に登録することもできます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- ［次回もこの設定で印刷する］にチェックマークを付けると、現在表示されている設定内容が次回以降の印刷にも適用されます。ただし、ご使用のアプリケーションソフトによっては、適用されない場合があります。
- ［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- ［基本設定］シートや［ページ設定］シートでは、詳細な印刷設定をすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

7 印刷を開始する

［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- 長形の封筒を指定した場合、印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。
  ［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークを付けると、次回からメッセージは表示されなくなります。封筒印刷時の設定については、「封筒をセットする」（P.103）を参照してください。
- 印刷中に本製品のストップボタン（Stop）をタッチするか、プリンター状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
  プリンター状態の確認画面は、タスクバー上のプリンターのアイコンをクリックして表示します。
  Windows Vista operating system（以降、Windows Vista）またはWindows XPをご使用の場合は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）Printer］をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.127）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

文書を印刷する（Macintosh）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Mac OS X v.10.6.xまたはMac OS X v.10.5.xの場合

参　考

- ここでは、Mac OS X v.10.6.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.98

ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

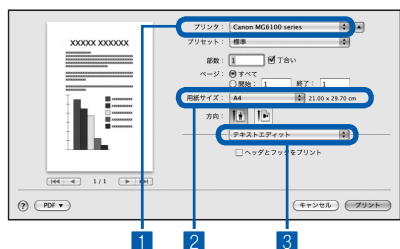
4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリントダイアログを開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

参　考

- 以下の画面が表示された場合は、▼ボタンをクリックしてください。

6 印刷に必要な設定をする

1 ［プリンタ］でご使用の製品名が選ばれていることを確認する

2 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ

ここでは［A4］を選びます。

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

ここでは［普通紙］を選びます。

参考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

5 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参考

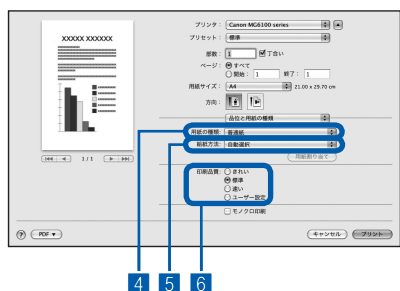
- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ

ここでは［標準］を選びます。

参考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックしてください。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参考

- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.127）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

Mac OS X v.10.4.11 の場合

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.98

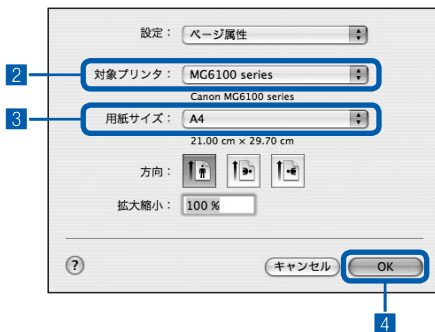
ここでは、カセットにA4サイズの普通紙がセットされていることを確認します。

参　考

- A4、B5、A5、レターサイズの普通紙はカセットに、それ以外の写真用紙などは後トレイにセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 用紙サイズを設定する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

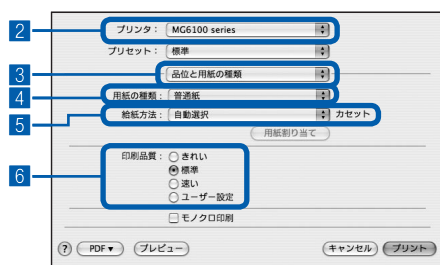
ページ設定ダイアログが表示されます。

2 ［対象プリンタ］でご使用の製品名が選ばれていることを確認する

3 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ

ここでは［A4］を選びます。

4 ［OK］ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

プリントダイアログが表示されます。

2 ［プリンタ］でご使用の製品名が選ばれていることを確認する

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

ここでは［普通紙］を選びます。

参　考

- 給紙方法で［自動選択］が設定されていると、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を指定したときにはカセットから給紙され、それ以外の写真用紙などを指定したときには、後トレイから給紙されます。
  用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。

5 ［給紙方法］で［自動選択］が選ばれていることを確認する

参　考

- そのほかの給紙方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ

ここでは［標準］を選びます。

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタードライバー機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックしてください。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。印刷中止後は、白紙が排紙されることがあります。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.127）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

ウェブページを印刷する（Easy-WebPrint EXを使う）

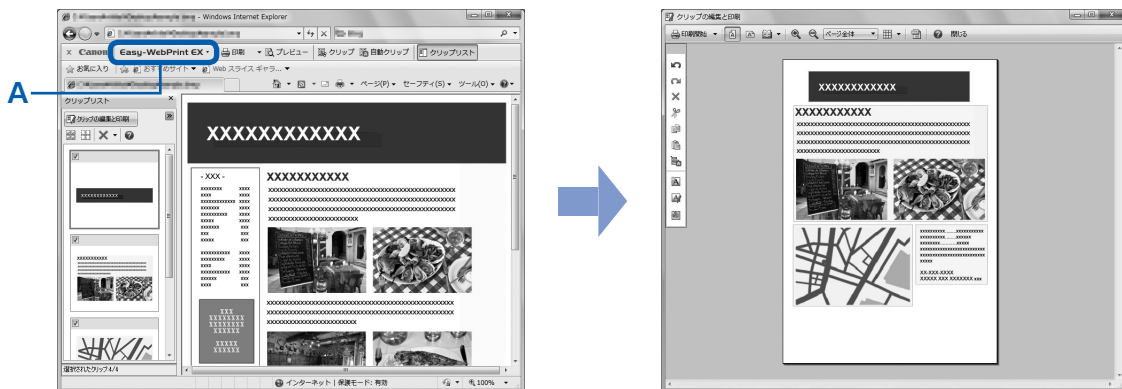
Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）は、Internet Explorerに表示されたウェブページをかんたんに印刷できるソフトウェアです。
ウェブページの端が切れないように用紙の幅に合わせて自動的に縮小して印刷したり、プレビューでページを選んで印刷することが可能です。
Easy-WebPrint EXは、Internet Explorer 7以上でご使用いただけます。Macintoshではご使用になれません。

重　要

- 他人の著作物を権利者に無断で複製・編集などすることは、個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき、違法となります。
  また、人物の写真などを複製・編集などする場合には肖像権が問題になることがあります。

参　考

- Easy-WebPrint EXのインストール方法や起動方法については、「Easy-WebPrint EXについて」（P.87）を参照してください。

たとえば、クリップ機能を使うと、いろいろなウェブページから必要な部分を切り取り、編集して印刷することができます。
Easy-WebPrint EXの操作方法については、Easy-WebPrint EXのヘルプを参照してください。
Easy-WebPrint EXのヘルプは、ツールバーの［Easy-WebPrint EX］（A）をクリックし、メニューから［ヘルプ］をクリックして表示します。

いろいろなソフトウェアを起動する

本製品に付属されているいろいろなソフトウェアを、かんたんに起動できるSolution Menu EX（ソリューション・メニュー・イーエックス）と、ウェブページを印刷できるEasy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）について説明しています。

Solution Menu EXについて

Solution Menu EXは、本製品に付属のアプリケーションソフトや取扱説明書を簡単に起動したり、お役立ちサイトにすぐアクセスできるソフトウェアです。

参　考

- Solution Menu EXや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）、使用したいアプリケーションソフトなどをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］からインストールします。

Solution Menu EXのメイン画面のカテゴリメニュー表示エリアには、メニューが表示されています。カテゴリメニュー表示エリアでメニューをクリックすると、メイン画面の機能アイコン表示エリアに選んだメニューに分類された機能のアイコンが表示されます。
ご使用の製品によって、メイン画面に表示されるアイコンやメニューの数や種類が異なります。

※画面は、Windows 7のものです。

よく使う機能のアイコンをショートカットメニューとして登録できます。

アクセサリーアイコン
Solution Menu EXのメイン画面を表示したり、ショートカットメニューの表示／非表示を切り替えます。

フォトプリント

デジタルカメラの写真を使っていろいろな印刷が行えます。

スキャナーを使う

写真や文書のスキャンを行えます。

キヤノンウェブサービス

ウェブサイトから印刷用のコンテンツや素材をダウンロードできます。

クリエイティブパーク プレミアムについて

クリエイティブパーク プレミアムは、本製品でキヤノン純正インクを使用しているお客様が、専用の印刷用素材をダウンロードすることができるサービスです。

キヤノン純正インクタンクの全色が正しく取り付けられていることを確認してください。

ヘルプと設定

Solution Menu EXのヘルプや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を表示できます。
また、Solution Menu EXやご使用の製品の設定ができます。
『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）では、本書に記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起こったときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。

参 考

- 『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は、デスクトップ上の アイコンをダブルクリックして表示することもできます。

アプリケーションの起動

Easy-PhotoPrint EXやマイ プリンタなどの付属のアプリケーションソフトを起動できます。
マイ プリンタは、プリンタードライバーの設定画面を表示したり、操作に困ったときの対処方法について知ることができるソフトウェアです。マイ プリンタはMactintoshではご使用になれません。

オンラインショッピング

インクなどの消耗品をウェブサイトから購入できます。

* Windowsをご使用の場合のみ表示されます。

インフォメーション

本製品の活用情報などを確認できます。

参 考

- お役立ち情報などが記載されたインターネット上のページへアクセスするには、インターネットへの接続が必要です。
- Solution Menu EXの操作方法については、［ヘルプと設定］メニューの［Solution Menu EXのヘルプ］ をクリックして、Solution Menu EXのヘルプを参照してください。

Solution Menu EXからアプリケーションソフトを起動する

Solution Menu EXでは、アプリケーションソフトを起動するだけでなく、アプリケーションソフトのいろいろな機能を直接選んで操作画面を表示することができます。
ここでは、Solution Menu EXを起動して、Easy-PhotoPrint EXの［写真印刷］の機能を選ぶ手順を例に操作を説明します。

1 Solution Menu EXを起動する

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

参考

- お買い上げ時から設定を変更していない場合は、ご使用のパソコンを起動すると、Solution Menu EXが自動的に起動します。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［Solution Menu EX］→［Solution Menu EX］の順に選びます。
- Solution Menu EXを起動してもメイン画面が表示されない場合は、（アクセサリーアイコン）を右クリックして［メイン画面を表示］を選ぶと、Solution Menu EXのメイン画面が表示されます。

Macintosh

Dock内にあるアイコン をクリックする

参考

- メニューバーから表示するときは、［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Solution Menu EX］の順に選び、［Canon Solution Menu EX］をダブルクリックします。
- Solution Menu EXを起動してもメイン画面が表示されない場合は、（アクセサリーアイコン）をControlキーを押しながらクリックして［メイン画面を表示］を選ぶと、Solution Menu EXのメイン画面が表示されます。
- Dock内にアイコンが表示されていない場合は、Dock内にアイコンを追加することができます。
詳細は、Solution Menu EXのヘルプを参照してください。

2 起動するアプリケーションソフトの機能を選ぶ

1 ［フォトプリント］メニューをクリックする

2 ［写真印刷］ をクリックする

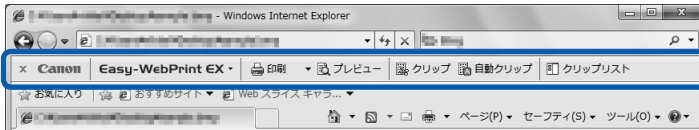
Easy-PhotoPrint EXが起動し、［写真印刷］の画面が表示されます。

参考

- ［写真印刷］のほかにも、アルバムやカレンダー印刷などの機能を直接選ぶことができます。Easy-PhotoPrint EXの操作や機能については、「写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）」（P.72）を参照してください。

Easy-WebPrint EXについて

Easy-WebPrint EXをインストールすると、Easy-WebPrint EXツールバーがInternet Explorerに組み込まれます。
Internet Explorerの実行中は、このツールバーをいつでも使用することができます。

参　考

Easy-WebPrint EXのインストールについて

- Easy-WebPrint EXをインストールしていないと、タスクバーの通知領域にEasy-WebPrint EXのインストールの案内が表示される場合があります。
  インストールするときは、案内表示をクリックし、画面の指示にしたがってください。
- 『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-WebPrint EX］を選んで、インストールすることもできます。
- Easy-WebPrint EXをインストールするには、Internet Explorer 7以上がインストールされていて、インターネットに接続されている必要があります。

Easy-PhotoPrint Proについて

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）は、Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elements、キヤノン製デジタルカメラ用RAW現像アプリケーションソフトDigital Photo Professional（対象機種はキヤノンのホームページをご覧ください）から起動し、フチなし全面印刷やインデックス印刷、モノクロ印刷、Adobe RGBに対応した印刷など、さまざまな写真印刷をよりかんたんにするためのプラグインソフトです。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- Easy-PhotoPrint Proは、Adobe Photoshop CS4、CS3、CS2、CS/Photoshop Elements 6、7*、8、Digital Photo Professional Ver.2.1以上にのみ対応しています。
  * Windowsのみ対応
  最新情報はキヤノンピクサスホームページ（canon.jp/pixus）をご覧ください。

※画面はWindows 7のものです。

いろいろなレイアウトで印刷

用紙の種類やサイズに応じて、いろいろなレイアウトが選べます。

フチあり１面印刷

インデックス印刷

Adobe RGBに対応したカラーマネージメント機能

アプリケーションで編集レタッチした結果を、指定したICCプロファイルにしたがって印刷できます。⇒P.193

サンプルを見ながら色補正

カラーバランスで、シアン／マゼンタ／イエローなど、色ごとに、強弱が設定できます。⇒P.193

モノクロ写真でレトロな雰囲気を演出

モノクロ印刷で、冷黒調や温黒調などモノクロの温かみを設定できます。⇒P.193

Easy-PhotoPrint Proを起動する

Digital Photo Professionalから起動する場合

1 Digital Photo Professionalで印刷したい写真を選ぶ

2 ［ファイル］メニューから［プラグイン印刷］→［Easy-PhotoPrint Proで印刷］の順に選ぶ

Easy-PhotoPrint Proが起動し、Digital Photo Professionalで選んだ写真が表示されます。

重　要

- Digital Photo Professionalで写真を１枚も選んでいないと、Easy-PhotoPrint Proを起動することができません。

Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsから起動する場合

1 Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsで印刷したい写真のファイルを開く

2 ［ファイル］メニューから［自動処理］→［Canon Easy-PhotoPrint Pro...］の順に選ぶ

Easy-PhotoPrint Proが起動し、Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsで開いたファイルの写真が表示されます。

重　要

- Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsで写真を１枚も表示していないと、Easy-PhotoPrint Proを起動することができません。
- Easy-PhotoPrint Proをインストールしても、Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop ElementsのメニューにEasy-PhotoPrint Proが表示されない場合は、以下の手順でPhotoshopプラグインをインストールしてください。

  Windows

  1. Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsが終了していることを確認する
  2. ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint Pro］→［Photoshopプラグインインストーラー］の順に選ぶ
  3. ［ユーザーアカウント制御］画面で［はい］または［続行］をクリックする
     Windows XPをご使用の場合は、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されませんので、手順４へ進んでください。
  4. メッセージにしたがってインストールする

  Macintosh

  1. Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsが終了していることを確認する
  2. Easy-PhotoPrint Proをインストールしたハードディスクの［アプリケーション］フォルダーを開いて、［Canon Utilities］フォルダー→［Easy-PhotoPrint Pro］フォルダー→［Plug-In Installer］アイコンの順にダブルクリックする
  3. メッセージにしたがってインストールする

  * Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsを一度も起動していない場合、Photoshopプラグインはインストールされません。
- Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsでレイヤー機能を使用した場合、Easy-PhotoPrint Proで写真が表示されないことがあります。
  その場合は、Adobe PhotoshopやAdobe Photoshop Elementsで写真とレイヤーを結合してください。

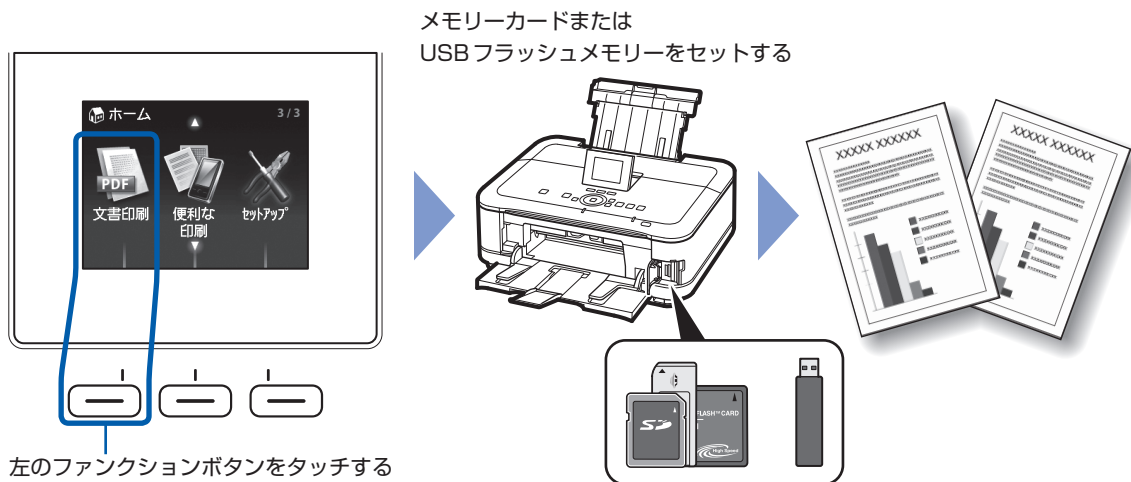
そのほかの使いかた

本製品のそのほかの使いかたとして、メモリーカード／USBフラッシュメモリーに保存したPDFファイルを印刷する文書印刷機能、レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷する機能、本体設定の各機能、デジタルカメラや携帯電話から直接印刷する機能について紹介しています。

メモリーカード／USBフラッシュメモリーのPDFファイルを印刷する（文書印刷）

メモリーカード／USBフラッシュメモリーに保存した文書（PDFファイル）を本製品から直接印刷することができます。文書印刷を開始するには、以下の方法があります。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

●ホーム画面から［文書印刷］を選ぶ

文書（PDFファイル）が保存されたメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットします。
文書リストが表示されるので、文書リストから印刷する文書を選んでください。

●ホーム画面やコピー待機画面などで、文書（PDFファイル）が保存されたメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

文書リストが表示されるので、文書リストから印刷する文書を選んでください。

参　考

メッセージが表示された場合

- メモリーカードやUSBフラッシュメモリーに、写真と文書（PDFファイル）が保存されていると、「写真データと文書（PDF）データが保存されています　どちらを印刷しますか？」のメッセージが表示されます。
  ［文書データを印刷］を選び、OKボタンをタッチします。
  文書リストが表示されるので、文書リストから印刷する文書を選んでください。

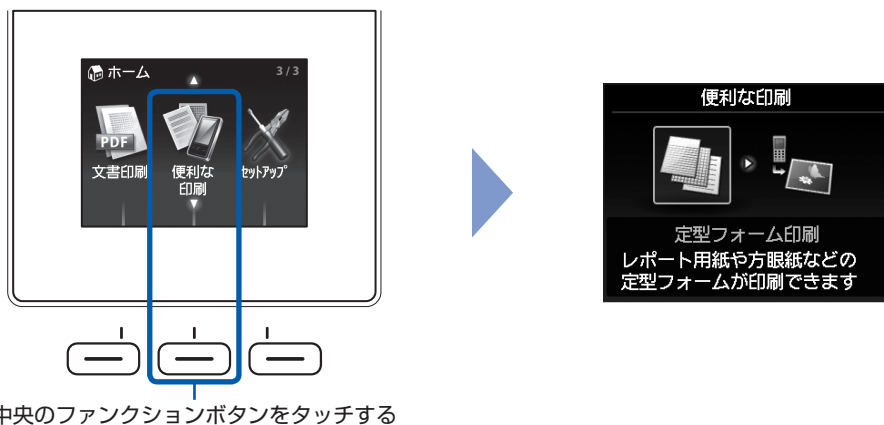
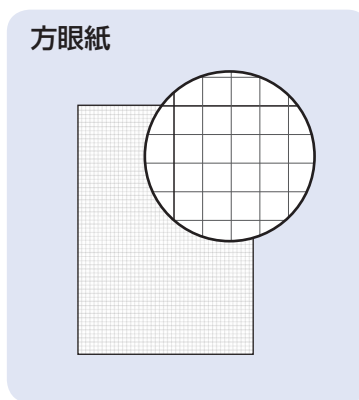
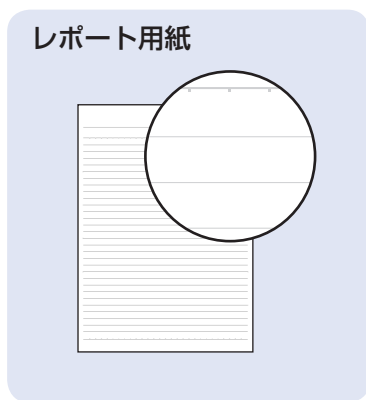
印刷できるPDFファイル：

本製品の操作パネルから印刷できる文書（PDFファイル）は、以下のとおりです。印刷の詳細については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

- 本製品でデータ形式を［PDF］または［高圧縮PDF］に設定してスキャンし、保存したPDFファイル（拡張子「.pdf」）
- 本製品に付属のMP Navigator EXで、PDF設定を［標準］または［高圧縮］に指定して作成し、保存したPDFファイル（拡張子「.pdf」）
  ただし、以下のデータは除きます。
  ー 暗号化したデータ
  ー 縦方向および横方向のピクセル数が9601 pixel以上の画像を含んだデータ

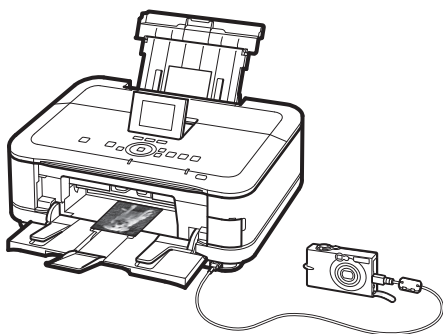
上記以外のPDFファイルは、文書リストの画面に表示されても印刷できません。
文書リストの画面で、右のファンクションボタンをタッチすると、詳細表示画面が表示されます。詳細表示画面が以下の場合、PDFファイルは印刷できません。
ー 印刷したいPDFファイルの詳細表示画面が表示されない
ー［作成元］に機種名または「MP Navigator EX」以外の文字が表示されている

レポート用紙や方眼紙などを印刷する（定型フォーム印刷）

ホーム画面の［便利な印刷］から［定型フォーム印刷］を選ぶと、レポート用紙や方眼紙など、いろいろな定型フォームを印刷することができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

たとえば、定型フォームでは、次のようなレイアウトのフォームを印刷できます。

デジタルカメラや携帯電話などから直接印刷する

PictBridge対応機器を接続して印刷する

PictBridgeに対応した機器を各社推奨のUSBケーブルで本製品と接続すると、機器内に保存された画像を直接印刷することができます。

対応機器を接続して印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
また、対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

本製品に接続可能な機器：
PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず接続可能

重　要

- PictBridge対応機器を接続する場合は、3mを超える長さのUSBケーブルを使用すると周辺の機器の動作に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。

参　考

- PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを介さずに直接プリンターで印刷するための規格です。
- 対応機器には マークが表示されています。

印刷可能な画像データ：
DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、またはPNGデータ

参　考

- PictBridge対応機器で印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定は行えません。

ワイヤレスで印刷する

カメラ付き携帯電話で撮った写真を、赤外線またはオプションのBluetoothユニットBU-30を使用して、ワイヤレスで印刷することができます。

Bluetooth対応のパソコンから印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

赤外線対応機器から印刷する場合：
印刷する用紙の種類やサイズを設定するときは、セットアップメニューから［本体設定］→［携帯電話印刷設定］を選びます。

パソコン以外のBluetooth対応機器から印刷する場合：
－ 印刷する用紙の種類やサイズを設定するときは、セットアップメニューから［本体設定］→［携帯電話印刷設定］を選びます。
－ Bluetooth対応機器から印刷する場合に、本製品の機種名やパスキーなどを変更するときは、セットアップメニューから［本体設定］→［Bluetooth通信設定］を選びます。

参　考

- ご使用の携帯電話によっては、印刷機能に対応していない場合があります。対応していない場合でも、画像データを保存したメモリーカードやUSBフラッシュメモリーを本製品にセットして印刷することができます。
⇒「写真を印刷してみよう（フォト／楽しい写真印刷）」（P.19）
- ご使用の携帯電話によって、印刷できるデータの種類が異なります。対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

赤外線対応の携帯電話の場合

- IrSimple規格またはIrDA規格に対応し、かつIrOBEXに対応した携帯電話で印刷が可能です。

Bluetooth対応の携帯電話の場合

- Bluetooth v2.0規格に対応し、かつBIP、OPPに対応した携帯電話で印刷が可能です。

※ ご使用の携帯電話が上記の規格に対応しているかにつきましては、携帯電話メーカーにお問い合わせください。
※ 上記の条件を満たすすべての携帯電話の機種について動作確認を行っているわけではありません。

本製品の設定について

ここでは、［セットアップ］の［本体設定］から設定／変更できる項目について紹介します。設定／変更方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

普通紙の給紙位置設定

普通紙を給紙する箇所を後トレイまたはカセットに設定します。
ご購入時の普通紙の給紙位置設定は、カセットに設定されています。後トレイに変更するときは、ここで設定を変更します。

印刷設定

用紙のこすれ改善

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

コピーのフチはみ出し量

［コピーメニュー］から［フチなしコピー］を選んだときに、原稿のはみ出し量を設定します。

ディスクの印刷位置調整

プリンタブルディスクに画像がずれて印刷されるときに、印刷位置を調整します。

自動写真補正設定

印刷する写真に自動写真補正を設定したときに、写真に保存されているExif情報を優先するかどうかを設定します。

LAN設定

無線LAN/有線LANの切換

有線LANを有効にするか、無線LANを有効にするかを切り換えます。LANを無効に設定することもできます。

無線LANセットアップ

無線LANの接続設定を、ご使用のアクセスポイントの種類や使用環境に合わせて設定できます。アクセスポイントがAOSSやらくらく無線スタート、WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は簡単な操作で無線LANの設定ができます。詳しくは『かんたんスタートガイド』を参照してください。

LAN設定情報の確認

本製品の無線LANまたは有線LANのネットワーク設定情報を液晶モニターに表示したり、印刷することができます。

その他の設定

プリンター名設定、IPv4/IPv6設定、メモリーカード共有設定、WSD（Web Services on Devices）設定など、その他のネットワーク設定を行います。

LAN設定リセット

本製品のネットワーク設定情報を初期化して、ご購入時の設定に戻すことができます。

本体の基本設定

日付表示形式

日付印刷や日付指定のときに、印刷または表示される年月日の並び順を設定します。

カード書き込み状態

本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして使用できるように設定できます。

音量調整

操作パネルのボタンをタッチしたときに鳴らすキータッチ音や、設定できないときやエラー時に鳴らすアラーム音の音量を調整します。

サイレント設定

夜間など、本製品の動作音（コピー時／メモリーカード印刷時／ PictBridge対応機器からの印刷時／ワイヤレス印刷時など）が気になるときに設定します。

ガイド表示設定

操作画面や設定画面の上部に、ガイドが表示されます。このガイドを表示するかどうかと、表示までの時間を設定します。

キーリピート

数値を入力するときに、ボタンをタッチしたままで数値が早く増えたり減ったりするように設定できます。
無効に設定すると、ボタンをタッチしたままでもボタンを１回しかタッチしていない操作と同様となります。

携帯電話印刷設定

ワイヤレス通信対応機器から印刷するときに、用紙や画像補正などの設定をします。
シール紙を選んだときは、シール紙のレイアウトを設定できます。

Bluetooth通信設定

機種名やパスキーなどのBluetooth通信の設定を変更できます。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

PictBridge印刷設定

PictBridge対応機器から写真を印刷するときの用紙や印刷品質などを設定したり、プリンタブルディスクに印刷するときのディスクレーベル印刷領域や種類を設定します。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

本製品で設定した値を、ご購入時の設定に戻すことができます（ただし、LAN設定、プリントヘッド位置調整での設定値、カード書き込み状態の設定、言語選択で設定した言語についてはリセットされません)。

用紙／原稿をセットする

ここでは、本製品で使用できる用紙／原稿の種類と、印刷する用紙を後トレイまたはカセットにセットする方法、コピーやスキャンする原稿のセット方法について説明しています。

用紙をセットする

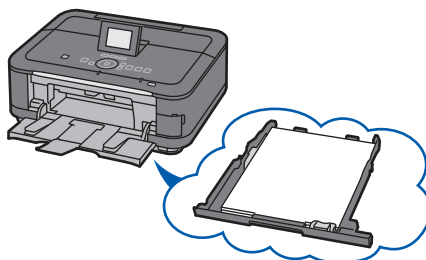
用紙のセット位置について

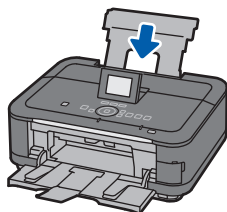
用紙は、カセットと後トレイの２箇所にセットすることができます。
用紙サイズや種類によってそれぞれセットできる用紙が決められています。用紙サイズや用紙の種類の設定にしたがって、カセットまたは後トレイから給紙されます。
⇒「使用できる用紙について」（P.106）

参考

- 印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されない場合があります。
  それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、「カセットに用紙をセットする」（P.99）、「後トレイに用紙をセットする」（P.101）を参照してください。

普通紙はカセットにセットします

A4、B5、A5、レターサイズの普通紙に印刷するときは、カセットにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、用紙の種類を［普通紙］（A4、B5、A5、レターサイズ）に設定すると、自動的にカセットから給紙されます。給紙方法の変更については『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

写真用紙／はがき／封筒は後トレイにセットします

写真用紙やはがきに印刷するときは、後トレイにセットします。
印刷するときに操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、用紙の種類を普通紙以外の写真用紙やはがきに設定すると、自動的に後トレイから給紙されます。
また、A4、B5、A5、レターサイズ以外の普通紙に印刷する場合も、後トレイにセットしてください。

カセットに用紙をセットする

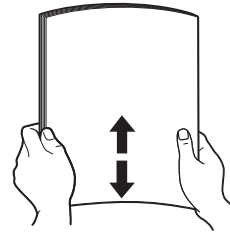
カセットにはA4、B5、A5、レターサイズの普通紙のみセットできます。
それ以外の用紙は後トレイにセットしてください。
⇒「使用できる用紙について」（P.106）

●普通紙に印刷するときの注意

参　考

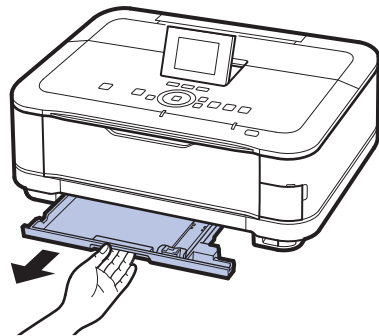
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.106）を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。
  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」（P.106）を参照してください。

1 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

参　考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.146）を参照してください。

2 用紙をセットする

1 カセットを手前に引き出す

2 **手前側の用紙ガイド（A）を用紙サイズのマーク位置に合わせる**

用紙ガイド（A）が用紙サイズのマーク位置に合うと止まります。

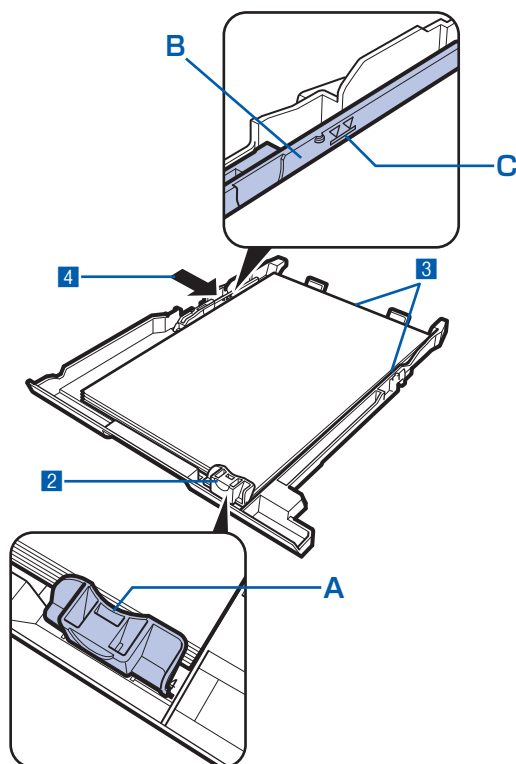
3 **印刷したい面を下にして、印刷開始位置が奥になるように、カセットの右側に合わせて用紙をセットする**

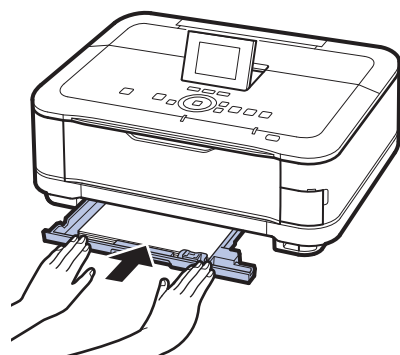
参　考

- 用紙ガイド（A）と用紙の間には隙間ができることがあります。

4 **左側の用紙ガイド（B）を用紙の端にぴったり合わせる**

参　考

- 用紙は（C）の線を超えないようにセットしてください。

5 **カセットを本体に差し込む**

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

参　考

用紙をセットしたら

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、印刷設定画面で［用紙サイズ］と［用紙種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定を変更する」（P.24、P.38）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.76）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.79）

後トレイに用紙をセットする

写真用紙やはがき、封筒は、後トレイにセットします。

写真用紙／はがきをセットする

重　要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズ、名刺、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

●はがきに印刷するときの注意

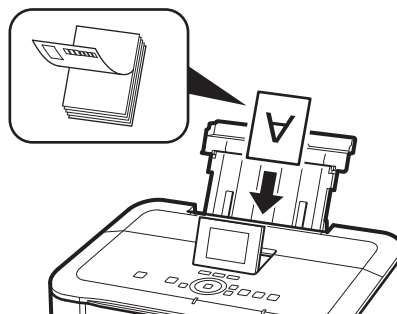
重　要

- パソコンからの印刷にのみ使用できるはがきもあります。詳しくは、「使用できる用紙について」(P.106)を参照してください。
- あて名面への印刷は、パソコンから行ってください。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズを必ず［往復はがき］に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参　考

- 往復はがきは自動両面印刷には対応していません。
- 自動両面印刷を行う場合は、あて名面→通信面の順に印刷してください。
はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」(P.106)を参照してください。

はがきをセットする場合

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、はがきのあて名面を裏にして郵便番号欄を下向きにセットします。

- パソコンから印刷する場合は、用紙の種類ではがきに対応した種類を設定します。往復はがきに印刷する場合は、必ず用紙サイズで、［往復はがき］を設定します。
印刷を実行すると、設定にしたがった印刷ガイドが表示されますので、メッセージにしたがって、はがきをセットしてください。
- 用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

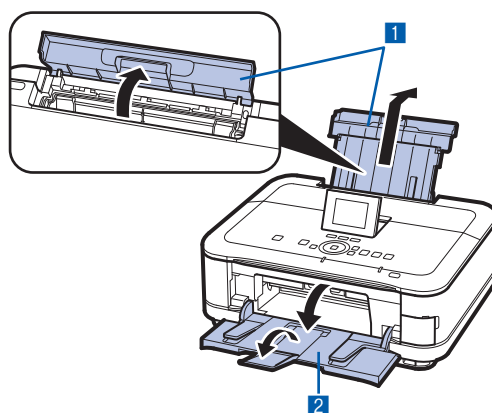
1 用紙の準備をする⇒P.99

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

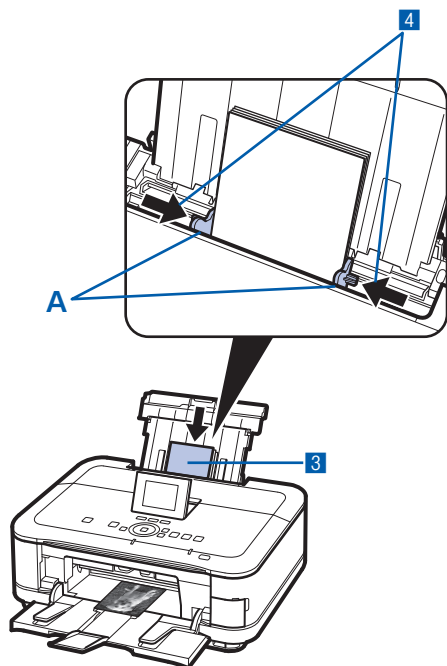
2 用紙をセットする

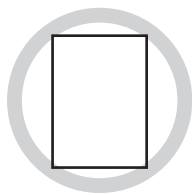
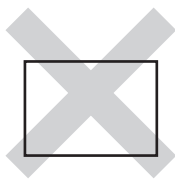
1 用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける

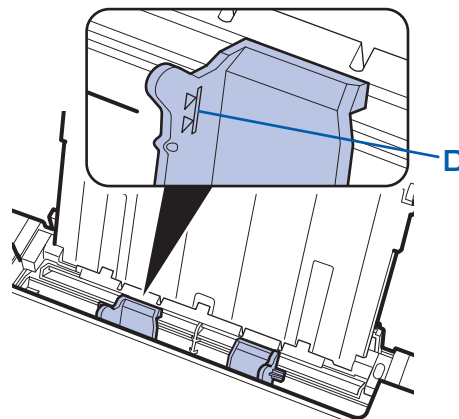
2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

用紙／原稿をセットする

3 **用紙ガイド（A）を広げ、用紙の印刷する面を表にして、後トレイの中央にセットする**

4 **用紙ガイド（A）を動かし、用紙の両端に合わせる**

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

重　要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（B）にセットしてください。横方向（C）にセットすると紙づまりの原因となります。

参　考

- 用紙は（D）の線を超えないようにセットしてください。

参　考

用紙をセットしたら

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷する場合は、印刷設定画面で［用紙サイズ］と［用紙種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  ⇒「設定を変更する」（P.24、P.38）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.76）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.79）

封筒をセットする

一般の長形３号／４号の封筒と、洋形４号／６号の封筒に印刷できます。
プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重　要

- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 次のような封筒は、紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
  －角形封筒
  －型押しやコーティングなどの加工された封筒
  －ふたが二重（またはシール）になっている封筒
  －ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- Macintoshをご使用の場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。

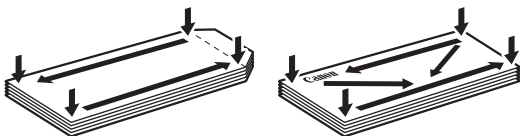
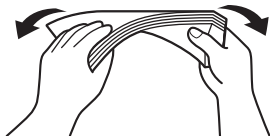
参　考

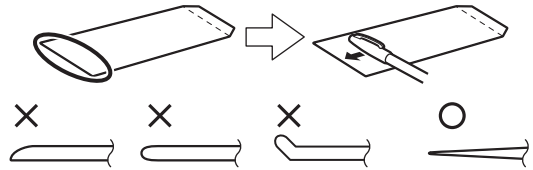
- Windowsをご使用の場合、長形封筒の印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークを付けると、次回からメッセージは表示されなくなります。

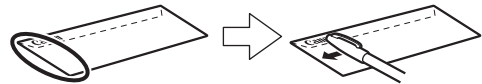
1 封筒の準備をする

- 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

• 長形封筒

• 洋形封筒

- 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

- 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
- 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

• 長形封筒

上の図は、封筒の先端部の断面図です。

• 洋形封筒

重　要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが3mmを超えないようにしてください。

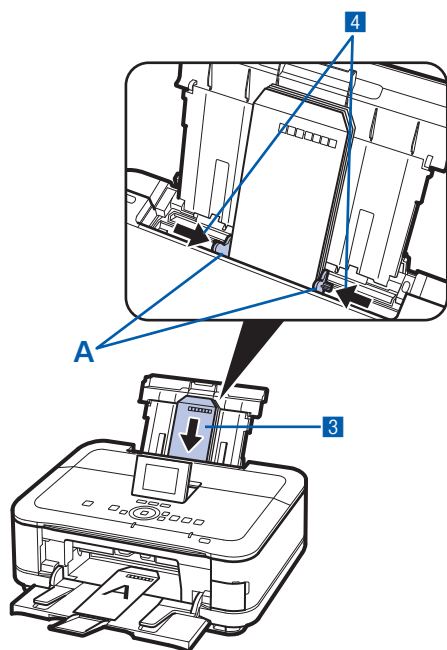
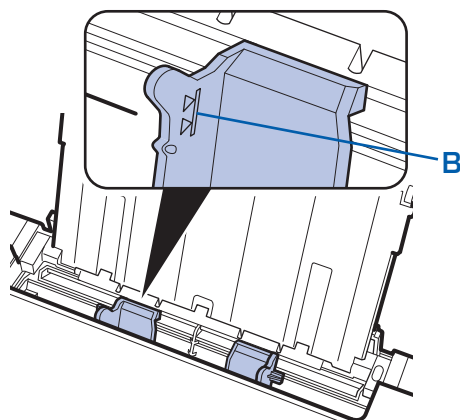
2 封筒をセットする

1 用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける**⇒P.101**

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く**⇒P.101**

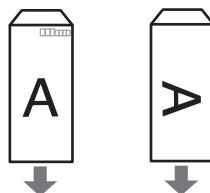
3 **用紙ガイド（A）を広げ、封筒の印刷する面を表にして、後トレイの中央にセットする**
一度に10枚までセットできます。

4 **用紙ガイド（A）を動かし、封筒の両端に合わせる**
用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

参 考

- 封筒は（B）の線を超えないようにセットしてください。

3 プリンタードライバーで用紙の設定をする

プリンタードライバーの設定画面を開き、以下の設定を行ってください。

- **長形封筒（Windowsのみ）**
  セットのしかた：

縦書き **横書き**

ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする

[よく使う設定]	：[封筒印刷]
[封筒サイズの設定]画面	：[長形３号]、[長形４号]
[印刷の向き]	：[縦]（縦書きの場合） [横]（横書きの場合）

- **洋形封筒**
  セットのしかた：

横書き

あて名面を表にし、折りたたんだふたを左側にして、縦置きでセットする

縦書き

あて名面を表にし、ふたを折りたたんで、縦置きでセットする
（郵便番号欄がある場合は下に向けてセットしてください）

Windows

[よく使う設定]	：[封筒印刷]
[封筒サイズの設定]画面	：[洋形４号]、[洋形６号]
[印刷の向き]	：[横]（横書きの場合） [縦]（縦書きの場合）

Macintosh

[用紙の種類]	：[封筒]
[用紙サイズ]	：[洋形４号]、[洋形６号]
[方向]	：[横]（横書きの場合） [縦]（縦書きの場合）

重　要

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。

参　考

- Windowsをご使用の場合、印刷結果が上下逆さまになるときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、［よく使う設定］で［封筒印刷］を選び、［追加する機能］で［180度回転］にチェックマークを付けてください。
- プリンタードライバーの設定については、以下を参照してください。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.76）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.79）

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

種類

市販の用紙

用紙の名称	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタードライバー
普通紙（再生紙を含む）*2	約150枚*3	約150枚	約50枚	普通紙	普通紙
はがき／年賀はがき*6	40枚	使用できません*8	40枚	—	通信面：はがき あて名面：すべてのはがき/はがき
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき*4	40枚		40枚	※通信面のみ IJはがき（インクジェットはがき）	通信面：インクジェットはがき あて名面：すべてのはがき/はがき
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき*4	20枚		20枚	※通信面のみ IJはがき（インクジェットはがき）	通信面：インクジェットはがき あて名面：すべてのはがき/はがき
往復はがき*2 *6	40枚		*9	—	通信面・あて名面：はがき
封筒*6	10枚		*9	—	封筒

キヤノン純正紙

用紙の名称＜型番＞*1	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタードライバー
書類の印刷に					
カラー普通紙 ＜LC-301＞	約100枚*3	約100枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト ＜SW-101＞	約130枚*3	約130枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 ＜SW-201＞	約100枚*3	約100枚	約50枚	普通紙	普通紙
写真の印刷に					
キヤノン写真用紙・光沢プロ［プラチナグレード］ ＜PT-101＞*7	A4、2L判、六切：10枚 L判、KG、はがき：20枚	使用できません*8	*9	プラチナグレード	光沢プロ プラチナグレード
キヤノン写真用紙・光沢 ＜GP-501＞*7				光沢	写真用紙 光沢
キヤノン写真用紙・光沢ゴールド　＜GL-101＞*7				光沢ゴールド	写真用紙 光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・絹目調 ＜SG-201＞*7				絹目調	写真用紙 絹目調
マットフォトペーパー ＜MP-101＞				マットフォト	マットフォトペーパー
ファインアートペーパー “Photo Rag” <FA-PR1>*6 *10	1枚			—	ファインアート “Photo Rag”

用紙の名称＜型番＞*1	最大積載枚数		排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
	後トレイ	カセット		操作パネル	プリンタードライバー
年賀状、挨拶状の印刷に					
キヤノン写真はがき・光沢 ＜KH-301＞*4 *5	20枚	使用できません*8	20枚	（通信面のみ）写真はがき 光沢	通信面：キヤノン写真はがき 光沢 あて名面：すべてのはがき/はがき
ビジネス文書の印刷に					
高品位専用紙 ＜HR-101S＞*6	80枚	使用できません*8	50枚	—	高品位専用紙
オリジナルグッズ作りに					
Tシャツ転写紙 ＜TR-301＞*6 *12	1枚	使用できません*8	*9	—	Tシャツ転写紙
ピクサスプチシール ＜PS-101＞*11 *12 （16面光沢フォトシール）	1枚			光沢	写真用紙 光沢
ピクサスプチシール・フリーカット ＜PS-201＞*11 *12	1枚			光沢	写真用紙 光沢
フォトシールセット ＜PSHRS＞*11 *12 （2面/4面/9面/16面）	1枚			光沢	写真用紙 光沢
片面光沢名刺用紙 ＜KM-101＞*13	20枚			光沢	写真用紙 光沢
両面マット名刺用紙 ＜MM-101＞*13	20枚			光沢	写真・イラスト：写真用紙 光沢 文字：普通紙

*1　＜型番＞のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノン ピクサスホームページ canon.jp/pixus をご覧ください。

*2　用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）

*3　A4、B5、A5、レターサイズの普通紙は、普通紙の給紙位置設定を後トレイに設定してある場合のみ給紙できます。設定方法について詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

*4　あて名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。

*5　Windowsをご使用の場合は、『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノン ピクサスホームページで紹介しています。canon.jp/pixus にアクセスしてください。

*6　パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*7　用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

*8　カセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。

*9　にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

*10 ファインアートペーパーをご使用の場合は、用紙の上下端35mmは印刷されません。ファインアートペーパー専用の用紙サイズを選択すると、上下端35mmには印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
また、ファインアートペーパーをご使用になる場合は『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「役立つ情報」の「アート紙に印刷する前に」を参照してください。
キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

*11 プリント写真をスキャンしてシール紙に印刷するときは、［写真焼き増し］から［シール紙印刷］を選び、印刷してください。この場合は、用紙の種類を設定することはできません。⇒P.64
メモリーカード／USBフラッシュメモリーの写真をシール紙に印刷するときは、［楽しい写真印刷］から［シール紙印刷］を選び、印刷してください。この場合は、用紙の種類を設定することはできません。⇒P.26
携帯電話の写真をシール紙に印刷するときは、［セットアップ］の［本体設定］から［携帯電話印刷設定］を選び、用紙サイズに［シール紙］を指定することで、印刷することができます。⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

*12『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと印刷の設定がかんたんにできます。パソコンにインストールしてお使いください。

*13 パソコンからテキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55mm×91mm）で作成し、上下左右の余白を5mm程度に設定してください。

参　考

- 付属のディスクトレイを使い、プリンタブルディスクに印刷することができます。詳しくは、「プリンタブルディスクをセットする前に」（P.46）を参照してください。
- PictBridge対応機器、および携帯電話の写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参　考

- カセットにセットできる普通紙の用紙サイズは、以下のとおりです。
  A4、B5、A5、レターサイズ
  それ以外の普通紙は、カセットにセットできません。後トレイにセットしてください。
- Macintoshをご使用の場合、長形３号／４号の封筒は使用できません。

定型：

- レター 8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
- A5（148.0×210.0mm）
- B5［B5 JIS］（182.0×257.0mm）
- US 4 x 8（101.6×203.2mm）
- 六切（203.2×254.0mm）
- 2L判（127.0×178.0mm）
- 往復はがき（200.0×148.0mm）
- EUR DL Env.［封筒DL］（110.0×220.0mm）
- 長形４号（90.0×205.0mm）
- 洋形６号（98.0×190.0mm）
- 名刺（55.0×91.0mm）
- ファインアートA4（210.0×297.0mm）
- リーガル（215.9×355.6mm）
- A4（210.0×297.0mm）
- KG（101.6×152.4mm）
- US 5 x 7（127.0×177.8mm）
- L判（89.0×127.0mm）
- はがき（100.0×148.0mm）
- US Comm. Env. #10［封筒#10］（104.6×241.3mm）
- 長形３号（120.0×235.0mm）
- 洋形４号（105.0×235.0mm）
- ワイド101.6 x 180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）
- ファインアートレター（215.9×279.4mm）

＊［ ］内はMacintoshでの表示です。

非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

• 最小サイズ：　55.0mm × 91.0mm（後トレイ）
• 最大サイズ：　215.9mm × 676.0mm（後トレイ）

重さ

64 ～ 105g/m^2（キヤノン純正紙以外の用紙）
この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

保管上の注意について

- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

フチなし全面印刷に対応した用紙について

- フチなし全面印刷を行う場合、両面印刷を設定することはできません。
- リーガル／ A5 ／ B5 サイズの用紙と往復はがき、封筒にはフチなし全面印刷できません。
- 普通紙はパソコンから印刷するときのみフチなし全面印刷ができます。印刷品質がやや低下することがありますので、試し印刷などにご使用ください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の用紙で重さ 105g/m^2 を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／ L 判など、A5 サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角形封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

原稿をセットする

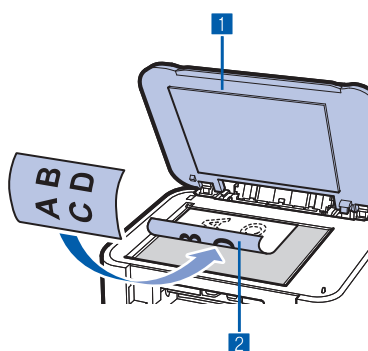
本製品の原稿台ガラスに原稿をセットする方法について説明します。
［コピー］や［写真焼き増し］、［スキャン］などの機能で、原稿をセットするときには、選択した機能により原稿のセット位置が異なる場合があります。選択した機能に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、正しく読み取りできない場合があります。

重　要

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。

原稿をセットする

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

1 原稿台カバーを開ける

重　要

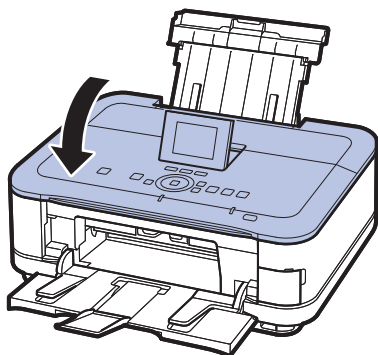
- 原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。
- 原稿台カバーの開閉時に、操作パネルのボタンには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

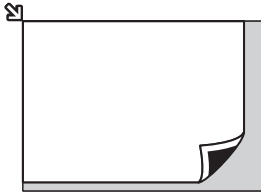
2 原稿の読み取る面を下にして、原稿台ガラスにセットする

機能ごとの原稿のセット方法を確認してください。
⇒P.111

重　要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損することがあります。
  －原稿台ガラスに2.0kg以上の物をのせない
  －原稿を強く押さえる（2.0kgを超える力で）など、原稿台ガラスに重みをかけない

2 原稿台カバーをゆっくり閉じる

機能ごとの原稿のセット方法

原稿位置合わせマーク（⍂）に合わせてセットする

原稿を、読み取る面を下にして、原稿位置合わせマーク（⍂）に合わせて置いてください。

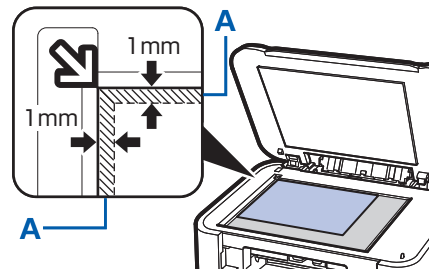
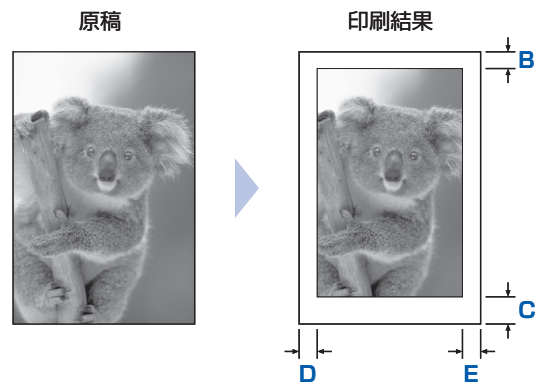
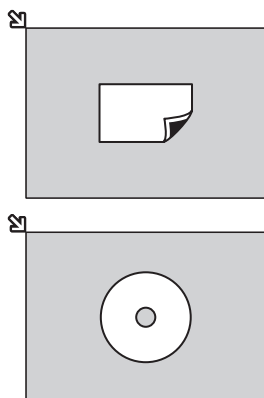
●コピーする原稿をセットする場合

●［スキャン］の［原稿種類］で、
- ［おまかせスキャン］を選び、文書／雑誌／新聞をスキャンする場合
- ［文書］または［写真］を選び、読取サイズにA4、レターなどの定型サイズを指定した場合

●パソコンからアプリケーションソフトを使用し、
- ［原稿の種類］で文書／雑誌／新聞を指定した場合
- ［原稿サイズ］でA4、レターなどの定型サイズを指定した場合

●手書きナビシート／ディスクレーベル手書きナビシートをスキャンする場合

重　要

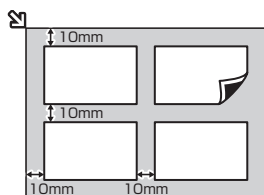
- 原稿台ガラスの端から1mmの部分（A）は読み取れません。

- 印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分になります。
  （B）3mm
  （C）5mm
  （D）3.4mm（レター、リーガルのみ：6.4mm）
  （E）3.4mm（レター、リーガルのみ：6.3mm）

原稿台ガラスの中央にセットする

原稿台ガラスの端から10mm以上離し、読み取る面を下にして原稿を置いてください。

● ［コピー］の［ディスクレーベルコピー］でディスクを１枚スキャンする場合

● ［写真焼き増し］でプリント写真を１枚スキャンする場合

● ［スキャン］の［原稿種類］で、
 －［おまかせスキャン］を選び、プリント写真／はがき／名刺／ディスクを１枚スキャンする場合
 －［文書］または［写真］を選び、読取サイズに［オートクロップ］を指定して１枚スキャンする場合

●パソコンからアプリケーションソフトを使用して、プリント写真／はがき／名刺／ディスクを１枚スキャンする場合

複数枚の原稿をセットする

原稿台ガラスの端から10mm以上離し、読み取る面を下にして置いてください。原稿と原稿の間も10mm以上離してください。
E判やL判は4枚、2L判やはがきは2枚までセットできます。

● ［写真焼き増し］でプリント写真を複数枚スキャンする場合

● ［スキャン］の［原稿種類］で、
 －［おまかせスキャン］を選び、プリント写真／はがき／名刺を複数枚スキャンする場合
 －［写真］を選び、読取サイズに［マルチクロップ］を指定して複数枚スキャンする場合

●パソコンからアプリケーションソフトを使用して、プリント写真／はがき／名刺を複数枚スキャンする場合

参 考

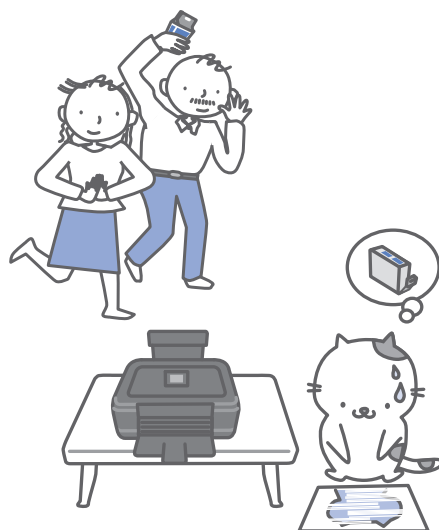
- 傾き補正機能により、約10度までの傾きは自動的に補正されます。長い辺が約180mm以上の写真の傾きは補正できません。
- 長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）は正しくスキャンできない場合があります。

セットできる原稿について

以下の原稿をコピーやスキャンできます。

原稿の種類　：文書、雑誌、新聞
　　　　　　　　プリント写真、はがき、名刺、ディスク（BD/DVD/CDなど）
サイズ（幅×長さ）：最大216mm×297mm

お手入れ

ここでは、インクがなくなったときのインクタンクの交換方法、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

インクタンクを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されてお知らせします。エラーメッセージの内容を確認してから、「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してエラーの対処をしてください。

参 考

- 本製品で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）を参照してください。

交換の操作

インクタンクの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

重 要

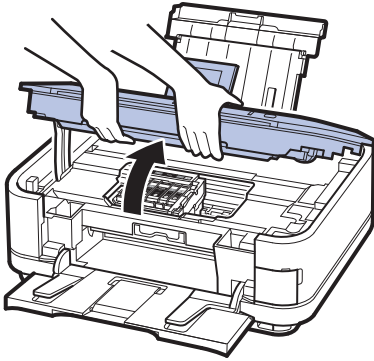
- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
  (*すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。)
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参 考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。
  また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
  インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。
  詳しくは巻末の「知って得するヒント集」を参照してください。

1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

2 スキャナーユニット(カバー)を止まる位置まで持ち上げる

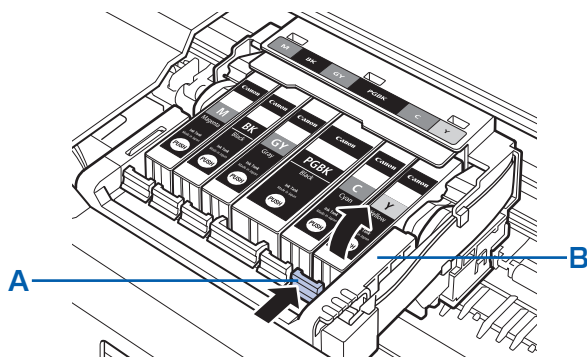
プリントヘッドホルダーが交換位置に移動します。

⚠注意

- プリントヘッドホルダーが動いている間はプリントヘッドホルダーを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重　要

- 原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。
- スキャナーユニット(カバー)は、原稿台カバーと一緒に持ち上げてください。原稿台カバーが開いていると、スキャナーユニット(カバー)は開きません。
- スキャナーユニット(カバー)の開閉時に、操作パネルのボタンには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。
- スキャナーユニット(カバー)を10分以上開けたままにすると、プリントヘッドホルダーが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナーユニット(カバー)を閉じ、再度開けてください。

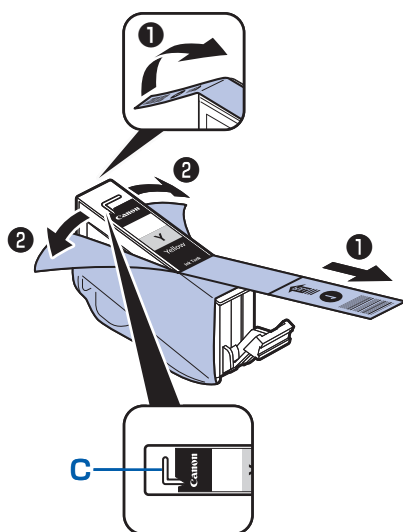
3 インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

インクタンクの固定つまみ（A）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。
プリントヘッド固定レバー（B）には触れないようにしてください。

重　要

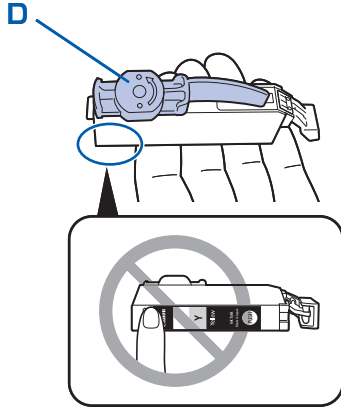
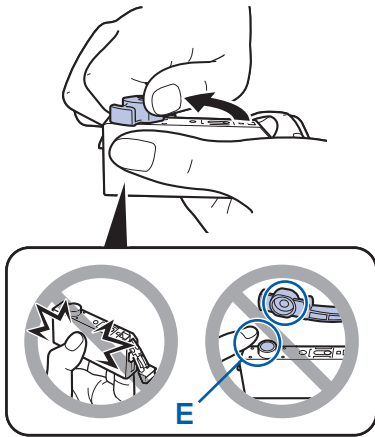
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.185）を参照してください。

参　考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず１つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態を確認する」（P.119）を参照してください。

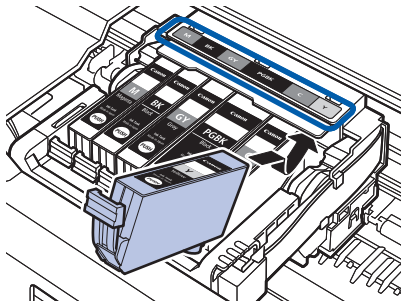
4 インクタンクを準備する

1 **新しいインクタンクをパッケージから取り出し、オレンジ色のテープ❶をすべてはがしてから、保護フィルム❷をすべてはがす**

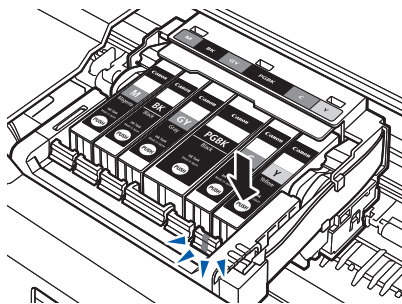
重　要

- インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。
- L字の空気溝（C）にオレンジ色のテープが残っていると、インクが飛び散ったり、正しく印刷できない場合があります。

2 L字の空気溝（C）をふさがないように、オレンジ色の保護キャップ（D）を上にして持つ

3 オレンジ色の保護キャップ（D）を、水平に90度ひねってからゆっくり取り外す

重　要

- インクタンクの側面を強く押さないでください。L字の空気溝（C）をふさいだ状態でインクタンクの側面を押すと、インクが飛び散る場合があります。
- 保護キャップ（D）の内側やインク出口（E）には触れないでください。インクで手が汚れる場合があります。
- 取り外した保護キャップ（D）は、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。

5 インクタンクを取り付ける

1 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。

2 インクタンク上面の(PUSH)部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する

取り付けたら、インクランプが赤く点灯したことを確認してください。

重　要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダーに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。必ずすべてのインクタンクをセットしてください。

6 スキャナーユニット(カバー)をゆっくり閉じる

⚠注意

- スキャナーユニット（カバー）は必ず両手でしっかりと持ち、指などはさまないように注意してください。

重　要

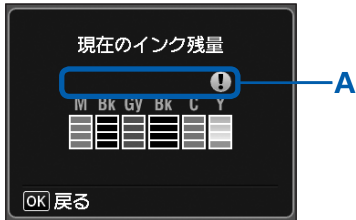
- スキャナーユニット（カバー）の開閉時に、操作パネルのボタンには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

参　考

- スキャナーユニット（カバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.127
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

インクの状態を確認する

インクの状態は、液晶モニターやインクランプで確認することができます。

液晶モニターで確認する

1 **電源が入っていることを確認し、ホームボタンをタッチする**
ホーム画面が表示されます。

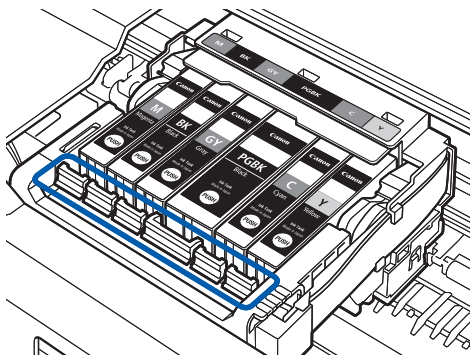
2 **ホーム画面から［セットアップ］を選ぶ⇒P.14**
セットアップメニュー画面が表示されます。

3 **［インク残量表示］を選び、OKボタンをタッチする**
インクの残量についてお知らせがあるときは、図の（A）の部分にマークが表示されます。

例：
インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

参考

• 印刷中に液晶モニターに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。

インクランプで確認する

1 **電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く**

2 **スキャナーユニット（カバー）を止まる位置まで持ち上げる⇒P.115**

3 **インクランプの状態を確認する**
インクランプの状態を確認したら、スキャナーユニット（カバー）を閉じてください。⇒P.118

点灯

インクタンクは正しく取り付けられています。

点滅

• **ゆっくり点滅（約3秒間隔）**

 ・・・繰り返し

インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

お手入れ

- **はやく点滅（約１秒間隔）**

インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなりました。プリントヘッドホルダーに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されているエラー内容をご確認ください。⇒P.133

消灯

インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクの(PUSH)の部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。
インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されているエラー内容をご確認ください。⇒P.133

印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときは、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

重　要

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参　考

お手入れを行う前に

- インクタンクにオレンジ色のテープが残っていないかを確認してください。
  ⇒「困ったときには」の「動作はするがインクが出ない」（P.153）
- スキャナーユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「インクの状態を確認する」（P.119）を参照して、必要な操作を行ってください。
- プリンタードライバーの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

印刷がかすれている、むらがある場合：

Step 1
ノズルチェックパターンを印刷する⇒P.123
ノズルチェックパターンを確認する⇒P.124

パターンに欠けや白い横すじがある場合

Step 2
プリントヘッドをクリーニングする ⇒P.125

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認

２回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドを強力クリーニングする ⇒P.126

参　考

- Step ３までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.184

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する ⇒P.127

参　考

- お手入れの操作は、パソコンから行うこともできます。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参　考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.114

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- 内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてください。

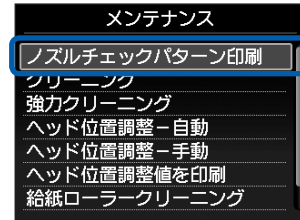
4 ノズルチェックパターンを印刷する

1 ホーム画面から［セットアップ］を選ぶ ⇒P.14

セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

3 ［ノズルチェックパターン印刷］を選び、OKボタンをタッチする

確認画面が表示されます。

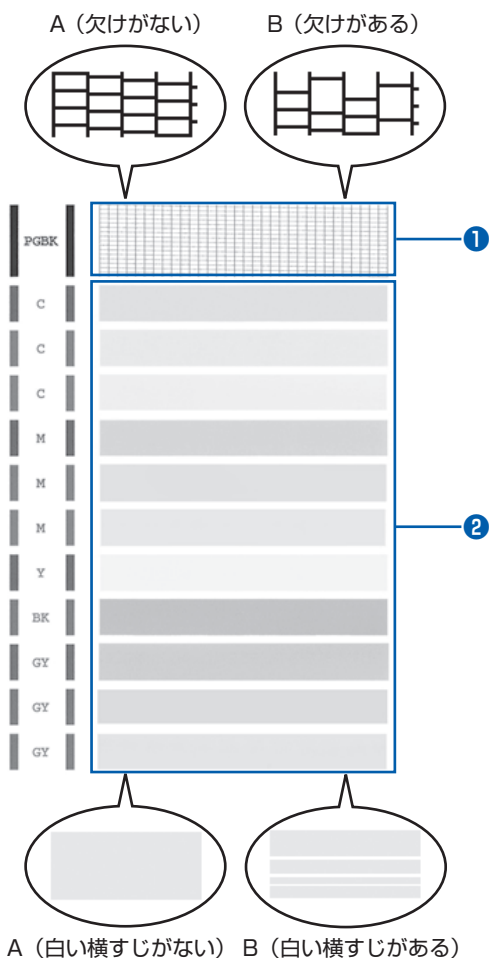
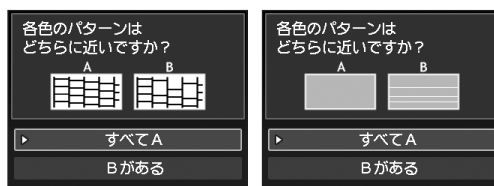
4 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

ノズルチェックパターンが印刷され、液晶モニターに2つのパターン確認画面が表示されます。

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.124

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1 ❶のパターンに欠けがないか、❷のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する

2 パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ

❶ ❷どちらもA（欠け／白い横すじがない）の場合：

1 クリーニングの必要がないので、[すべてA] を選んでOKボタンをタッチする

2 メッセージを確認し、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面に戻ります。

参 考

- ホームボタンをタッチすると、[セットアップ] を終了してホーム画面に戻ります。

❶か❷のどちらか、または❶と❷の両方にBがある（欠け／白い横すじがある）場合：

1 クリーニングが必要なので、[Bがある] を選んでOKボタンをタッチする

クリーニング確認画面が表示されます。

2 [はい] を選んでOKボタンをタッチする

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。⇒P.125

参 考

- 巻末の「知って得するヒント集」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- 内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてください。

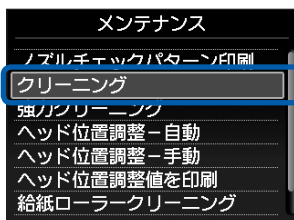
4 プリントヘッドをクリーニングする

1 ホーム画面から［セットアップ］を選ぶ ⇒P.14

セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

3 ［クリーニング］を選び、OKボタンをタッチする

確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約１分かかります。

ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

5 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.124

参　考

- ホームボタンをタッチすると、［セットアップ］を終了してホーム画面に戻ります。
- クリーニングを２回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.126

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

2 カセットにA4サイズの普通紙が１枚以上セットされていることを確認する

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- 内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてください。

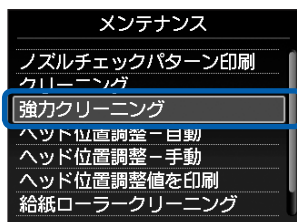
4 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 ホーム画面から［セットアップ］を選ぶ⇒P.14

セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

3 ［強力クリーニング］を選び、OKボタンをタッチする

確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分30秒かかります。

ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

5 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 強力クリーニング終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒「ノズルチェックパターンを確認する」（P.124）の手順1

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。⇒P.114

改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.184

参　考

- ホームボタンをタッチすると、［セットアップ］を終了してホーム画面に戻ります。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

参　考

- インク残量が少ないとプリントヘッド位置調整シートが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.114
- 付属の用紙（マットフォトペーパー MP-101）がなくなったり、キヤノン純正の専用紙が用意できない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、普通紙で手動のプリントヘッド位置調整を行ってください。
- パターンは黒と青で印刷されます。

用意するもの：A4サイズのマットフォトペーパー（MP-101）1枚

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイに付属の用紙またはA4サイズのマットフォトペーパー（MP-101）を1枚セットする

印刷面（より白い面）を表にして、後トレイにセットします。

重　要

- カセットからは自動のプリントヘッド位置調整はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- 内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてください。

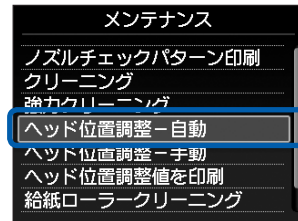
4 プリントヘッド位置を自動調整する

1 ホーム画面から［セットアップ］ を選ぶ **⇒P.14**

セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］ を選び、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

3 ［ヘッド位置調整－自動］を選び、OKボタンをタッチする

確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

プリントヘッド位置調整シートが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまで約4分30秒かかります。

参　考

- ホームボタンをタッチすると、［セットアップ］を終了してホーム画面に戻ります。
- 自動調整が正しく行えなかったときには、液晶モニターに「自動ヘッド位置調整に失敗しました」のメッセージが表示されます。「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してください。
- 記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。
詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙３枚

1 電源が入っていることを確認する

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

重　要

- 内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてください。

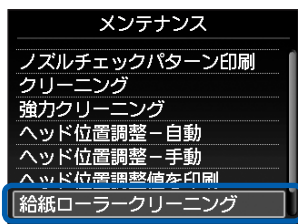
3 給紙ローラークリーニングを選ぶ

1 ホーム画面から［セットアップ］を選ぶ
⇒P.14

セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

3 ［給紙ローラークリーニング］を選び、OKボタンをタッチする

確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OKボタンをタッチする

5 クリーニングする給紙箇所（［後トレイ］または［カセット］）を選び、OKボタンをタッチする

4 用紙を使用せずに給紙ローラーをクリーニングする

1 メッセージにしたがって、手順3の5で選んだ給紙箇所にセットされている用紙をすべて取り除く

2 OKボタンをタッチする

給紙ローラーが回転してクリーニングが開始されます。

5 用紙を使用して給紙ローラーをクリーニングする

1 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージにしたがって、手順3の5で選んだ給紙箇所に、A4サイズの普通紙を３枚以上セットする

2 OKボタンをタッチする

クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

3 クリーニング終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをタッチする

メンテナンス画面が表示されます。

参　考

- ホームボタンをタッチすると、［セットアップ］を終了してホーム画面に戻ります。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.184

カセットの内部を清掃する

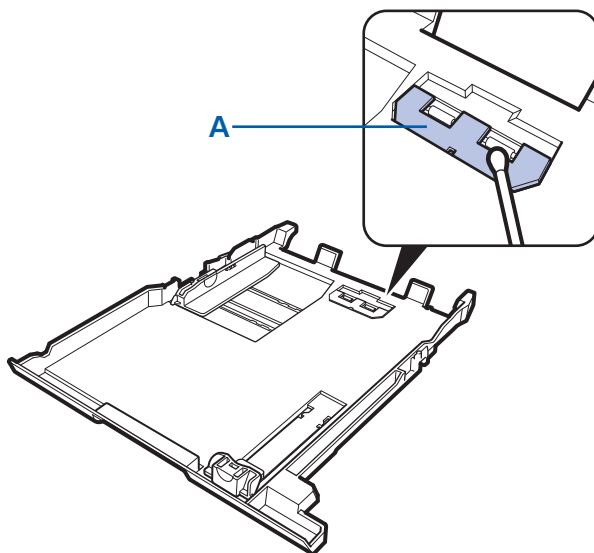
カセット内部のパッドに紙粉や汚れがつくと、用紙が複数枚排紙されることがあります。そのような場合は、パッドの清掃を行います。

用意するもの：綿棒

1 カセットを取り外し、セットされている用紙を取り除く

2 湿らせた綿棒でパッド(A)を拭く

重　要

- 汚れを拭いたあとは、十分に乾燥させてください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.184

困ったときには

本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。
ここでは、発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）をあわせて参照してください。
LANのセットアップ時のトラブルについては、『ネットワーク設置で困ったときには』を参照してください。

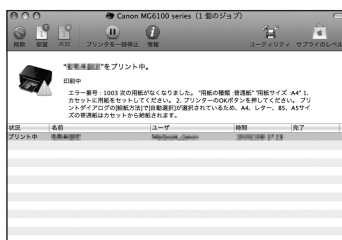
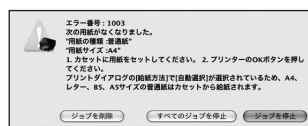
エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows

Macintosh

Mac OS X v.10.6.xをご使用の場合

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

Mac OS X v.10.4.11をご使用の場合

電源が入らない

チェック 1 **電源ボタンを押してみてください**

チェック 2 **本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください**

チェック 3 **電源プラグをコンセントから抜き、3分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください**

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
インクがなくなった可能性があります インクタンクの交換をお勧めします U041	インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。インクタンクを交換することをお勧めします。印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本機のOKボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） 参　考 • 複数のインクランプが点滅している場合は、「インクの状態を確認する」（P.119）を参照して、インクタンクの状態を確認してください。
プリントヘッドが装着されていません プリントヘッドを装着してください U051／ プリントヘッドの種類が違います 正しいプリントヘッドを装着してください U052	『かんたんスタートガイド』の説明にしたがってプリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）
正しい位置に取り付けられていないインクタンクがあります U072／ 下記のインクタンクが、複数取り付けられています U071	• 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。 • 同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。 各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114）

エラー／確認メッセージ	対処方法
インクの残量を正しく検知できません インクタンクを交換してください U130	インクの残量を正しく検知できません。 インクタンクを交換して、スキャナーユニット（カバー）を閉じてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） 一度空になったインクタンクで印刷を続けると、本機に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本機のストップボタンを5秒以上押してから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インクを補充したことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「インクの状態を確認する」（P.119）
下記のインクタンクが、認識できません U043 U140 U150	• インクタンクが取り付けられていません。インクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） • 本製品がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） • インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。 インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114）
対応していないインクタンクが取り付けられています 正しいインクタンクを取り付けてください U141	対応していないインクタンクが取り付けられています。 本機がサポートできないインクタンクが取り付けられているため、印刷できません。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） 印刷を中止する場合は、本機のストップボタンを押してください。
インクがなくなりました インクタンクを交換してください U163	インクがなくなりました（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換して、スキャナーユニット（カバー）を閉じてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.114） このまま印刷を続けると本機に損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本機のストップボタンを5秒以上押してから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「インクの状態を確認する」（P.119）

<table>
<tr><th>エラー／確認メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>適切なデータが保存されていません</td><td>• セットしたメモリーカード、またはUSBフラッシュメモリーに読み込める画像や文書データが保存されていません。
• ファイル名（フォルダー名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。
• パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。
参　考
• 撮影情報がパソコンなどで編集されている写真を液晶モニターに表示しようとすると、「?」が表示されます。</td></tr>
<tr><td>指定した文書データ（PDF）は、本機に対応していない形式か、データが大き過ぎるため、印刷できません</td><td>• メモリーカード、またはUSBフラッシュメモリーから印刷可能なPDFファイルか確認してください。印刷できるデータについては「メモリーカード／USBフラッシュメモリーのPDFファイルを印刷する（文書印刷）」（P.92）を参照してください。
参　考
• 印刷できないPDFファイルでも、文書リストの画面にファイル名が表示されます。印刷可能なPDFファイルか確認することをお勧めします。以下の場合、PDFファイルを印刷できません。
－印刷したいPDFファイルの［詳細表示］画面が表示できない
－［詳細表示］画面の［作成元］に機種名または「MP Navigator EX」以外の文字が表示される
－印刷プレビュー画面で「?」が表示される
• パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。</td></tr>
<tr><td>指定した文書データ（PDF）には印刷できない箇所があり、印刷の一部がかける可能性があります</td><td>画像が多く含まれているPDFファイルや、高精細の画像が含まれているPDFファイルは、文書や画像の一部が欠けたり、印刷が途中で止まる場合があります。この場合は、パソコンから印刷を行ってみてください。</td></tr>
<tr><td>内部カバーが開いています
カバーを閉じて、OKを押してください</td><td>内部カバーが開いている場合は、内部カバーを閉じてから本製品のOKボタンをタッチしてください。</td></tr>
<tr><td>インク吸収体が満杯に近づきました
OKで継続できますが、早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください</td><td>本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。
この状態になった場合、本製品のOKボタンをタッチすると、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）</td></tr>
</table>

エラー／確認メッセージ	対処方法
**** インク吸収体の交換が必要です 修理受付窓口へ交換をご依頼ください	「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。 インク吸収体が満杯になりました。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。お早めにパーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）
タイムアウトエラーが発生しました	コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経ちました。 本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除し、もう一度コピーをやり直してください。
対応していない機器が接続されました 取り外してください	• カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、PictBridge対応機器またはBluetoothユニットBU-30（オプション）、USBフラッシュメモリーです。 • 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続しているUSBケーブルを抜き、再度USBケーブルを接続してください。 PictBridge対応機器から印刷する場合、ご使用のデジタルカメラの機種により、接続する前にPictBridge対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
自動ヘッド位置調整に失敗しました OKを押して操作をやり直してください 《取扱説明書を参照》	• ノズルが目づまりしています。 本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。 ⇒「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.123） • A4サイズ以外の用紙がセットされています。 本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除し、キヤノン純正のA4サイズの用紙（マットフォトペーパー MP-101）を後トレイに1枚セットしてください。 自動でプリントヘッド位置調整を行う場合は、必ず後トレイに用紙をセットしてください。 • 本製品の排紙口内に強い光が当たっています。 本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。 上記の対策をとったあと、再度プリントヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除したあと、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。 ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」
対応していないUSBハブが接続されました 取り外してください	本製品のカメラ接続部にUSBハブを接続している場合は、USBハブを本製品から取り外してください。PictBridge対応機器は直接本製品に接続してください。

<table>
<tr><th>エラー／確認メッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>B200
プリンタートラブルが発生しました
電源プラグを抜いて、修理受付窓口へ修理をご依頼ください</td><td>本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）</td></tr>
<tr><td>****
プリンタートラブルが発生しました
電源を入れ直してください
解決しない場合は、取扱説明書を参照してください</td><td>「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。
• 「5100/5110」と表示された場合
印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダーの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。
重　要
• このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因となります。
• それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）
• 「6000」と表示された場合
本製品の手前にものがある場合は取り除いてください。
排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、本製品の電源を入れ直してみてください。
• それ以外の表示の場合
本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）</td></tr>
<tr><td>スキャナーが、正常に動作できません</td><td>本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから、本製品の電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）</td></tr>
<tr><td>カード書き込み状態がパソコンから書き込み可能な状態に設定されています
［PCから書き込み禁止］に設定してください</td><td>カードスロットが書き込み可能（［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］）になっています。
カードスロットが［USB接続PCから可能］または［LAN接続PCから可能］に設定されていると、メモリーカードから印刷したり、スキャンしたデータをメモリーカードに保存できません。［本体の基本設定］の［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に戻してください。</td></tr>
<tr><td>前回、正しい手順で電源が切られていません
電源を切るときは、電源ボタンを押してください</td><td>前回本製品の電源を切ったときに、電源が入った状態で電源プラグが抜かれた可能性があります。
本製品のOKボタンをタッチしてエラーを解除してください。
参　考
• 正しい電源プラグの抜きかたについては巻末の「知って得するヒント集」を参照してください。</td></tr>
</table>

エラー／確認メッセージ	対処方法
印刷できないデータです	指定したデータを印刷することができませんでした。 クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷しようとしたときは、パソコンの画面の表示を確認し、キヤノン純正インクタンクの全色が正しく取り付けられていることを確認してから再度印刷を行ってください。
内部カバーを開き、ディスクトレイをセットして、OKを押してください	ディスクレーベル印刷を開始するときに内部カバーが閉じている場合は、スキャナーユニット（カバー）を閉じたまま内部カバーを開き、ディスクトレイをセットしてから本製品のOKボタンでエラーを解除してください。 印刷中に内部カバーを開閉しないでください。破損の原因になります。 ⇒「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）

液晶モニターの表示が消えている

電源ランプが消えているとき：

電源が入っていません。電源コードが接続されていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点灯しているとき：

液晶モニターが自動消灯しています。操作パネルの電源ボタン以外のボタンをタッチしてください。

日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

1 **ホームボタンをタッチして５秒以上待つ**

2 **［ホーム］画面から［セットアップ］を選ぶ**

参考

- ［ホーム］画面でのメニューの選びかたは、「ホーム画面でメニューを選ぶ」（P.14）を参照してください。

3 **［本体設定］を選び、OKボタンをタッチする**

［本体設定］画面が表示されます。

4 **▼ボタンを６回タッチし、OKボタンをタッチする**

Bluetoothユニットを取り付けているときは、▼ボタンを７回タッチしてから、OKボタンをタッチしてください。

5 **▲▼ボタンで［日本語］を選び、OKボタンをタッチする**

MP ドライバーがインストールできない

重 要

- LAN接続でMPドライバーがインストールできない場合は、『ネットワーク設置で困ったときには』も参照してください。

Windows

『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROMドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

次の手順にしたがってインストールを開始してください。

1 ［スタート］メニューから［コンピューター］を開く
【Windows XP】［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開く

2 開いたウィンドウにある ［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする
CD-ROMの内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

参 考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  ーCD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  ーパソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

［プリンターの接続］画面で止まってしまうとき：

［プリンターの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順にしたがってインストールをやり直してください。

参 考

- ご使用のパソコンによっては、［プリンターを認識していません。接続を確認してください。］というメッセージが表示されることがあります。
  その場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。

1 ［キャンセル］ボタンをクリックする

2 ［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする

3 表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする

4 ［PIXUS XXX］画面（「XXX」は機種名）で［終了］ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す

5 本製品の電源を切る

6 パソコンを再起動する

7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する

8 再度『セットアップCD-ROM』をセットして、［おまかせインストール］を選んでMPドライバーをインストールする

それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがい、MPドライバーをインストールし直してください。
MPドライバーが正しくインストールされなかった場合は、MPドライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MPドライバーを再インストールしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバーを削除する」

MPドライバーを再インストールする場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［MPドライバー］を選んでインストールしてください。

参　考

- Windowsのエラーが原因でインストーラーが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、MPドライバーがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

Macintosh

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがい、MPドライバーをインストールし直してください。
MPドライバーを再インストールする場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［MPドライバー］を選んでインストールしてください。

参　考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  －CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  －パソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

アプリケーションがインストールできない

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）を起動できない（メニューが表示されない）

Easy-PhotoPrint Pro をインストールしても、Adobe Photoshop のメニューにEasy-PhotoPrint Pro が表示されない場合、Adobe Photoshop が終了していることを確認して、下記の手順でPhotoshop プラグインをインストールしてください。

Windows

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint Pro］→［Photoshopプラグインインストーラー］を順に選ぶ

2 メッセージにしたがってインストールする

Macintosh

1 Finderの［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダー、［Easy-PhotoPrint Pro］フォルダー、［Plug-In Installer］アイコンを順にダブルクリックする

2 メッセージにしたがってインストールする

参　考

- Adobe Photoshop を一度も起動していない場合、Photoshop プラグインはインストールされません。

Windows Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない（メニューが表示されない）

Internet Explorer（インターネット・エクスプローラー）でEasy-WebPrint EXを起動できない場合や、メニューが表示されない場合は、以下の項目を確認してください。

参　考

- Easy-WebPrint EXはInternet Explorer 7以上で使用できます。

チェック 1　Internet Explorerの［表示］メニュー内の［ツールバー］メニューに［Canon Easy-WebPrint EX］は表示されていますか

表示されていない場合は、Easy-WebPrint EXがインストールされていません。『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-WebPrint EX］を選び、インストールしてください。

参　考

- Easy-WebPrint EXがインストールされていないと、タスクバーの通知領域にEasy-WebPrint EXのインストールの案内が表示される場合があります。インストールするときは、案内表示をクリックし、画面の指示にしたがってください。
- Easy-WebPrint EXをインストールおよびダウンロードするときは、インターネットへの接続が必要となります。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

チェック 2 **Internet Explorerの［表示］メニュー内の［ツールバー］メニューにある［Canon Easy-WebPrint EX］にチェックマークは付いていますか**

［Canon Easy-WebPrint EX］にチェックマークが付いていない場合は、Easy-WebPrint EXが有効になっていません。チェックマークを付けて、Easy-WebPrint EXを有効にしてください。

印刷・スキャン速度が遅い／ Hi-Speed USBとして動作しない／ Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷・スキャン速度が遅くなることがあります。

チェック **ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください**

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
  USBケーブルは、必ずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバーが正しく動作していますか。
  Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバーを入手して、再インストールしてください。

重　要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック 1 **セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか**

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。
写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。
また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。
フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。
用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本製品の操作でコピーをする場合	本製品の操作パネル ⇒「設定を変更する」（P.38）
本製品の操作でメモリーカードから印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒「設定を変更する」（P.24）
本製品の操作でUSBフラッシュメモリーから印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒「設定を変更する」（P.24）

本製品の操作でプリント写真から印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒「設定を変更する」(P.24)
PictBridge対応機器から印刷する場合	PictBridge対応機器 ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「PictBridge対応機器から印刷する」 本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
携帯電話から印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
パソコンから印刷する場合	プリンタードライバー ⇒「文書を印刷する(Windows)」(P.76) 「文書を印刷する(Macintosh)」(P.79)

チェック 2 チェック1の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

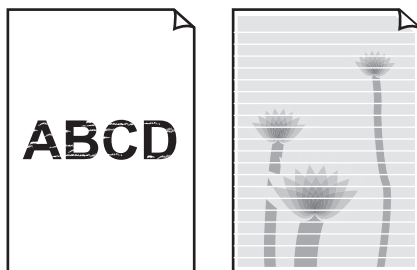
参 考

- PictBridge対応機器から印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定はできません。
- 携帯電話から印刷する場合は、印刷品質の設定はできません。

チェック 3 それでも解決しない場合は、ほかの原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。

⇒「白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る」(P.144)
⇒「罫線がずれる」(P.145)
⇒「インクがにじむ／用紙が反る」(P.146)
⇒「印刷面が汚れる／こすれる」(P.146)
⇒「用紙の裏面が汚れる」(P.149)
⇒「色むらや色すじがある」(P.150)

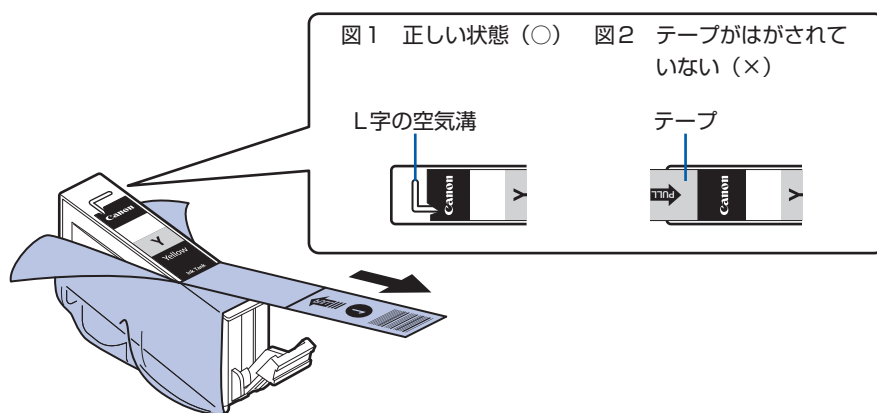
白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

チェック 2　**インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください**

⇒「インクタンクを交換する」（P.114）

チェック 3　**インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか**

下の図１のように、オレンジ色のテープがＬ字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残ってＬ字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。

チェック 4　**ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）を参照してください。

チェック 5　片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：

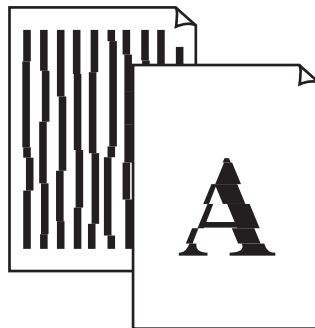
チェック 6　原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていることを確認してください

⇒「原稿をセットする」（P.110）

チェック 7　原稿はコピーする面を下にしてセットしましたか

チェック 8　本製品で印刷したものをコピーしていませんか

メモリーカードまたは、USBフラッシュメモリー、デジタルカメラから直接印刷するか、パソコンから印刷し直してください。
本製品で印刷したものをコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。

罫線がずれる

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

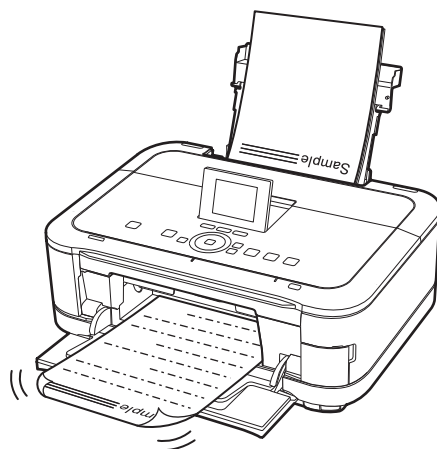
チェック 2　プリントヘッドの位置調整を行ってください

プリントヘッドの取り付け位置がずれていると、罫線がずれて印刷される場合があります。
プリントヘッドを取り付けたあとは、必ず位置調整を行ってください。
⇒「プリントヘッド位置を調整する」（P.127）

参　考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

困ったときには

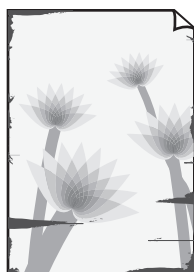
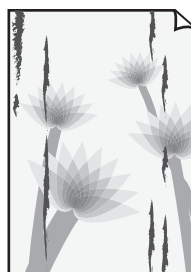
インクがにじむ／用紙が反る

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

チェック 2　**写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか**

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

⇒「使用できる用紙について」（P.106）

印刷面が汚れる／こすれる

用紙の端が汚れる

用紙の端以外が汚れる

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

チェック 2　適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください

- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
  ⇒「使用できる用紙について」（P.106）
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。
  フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

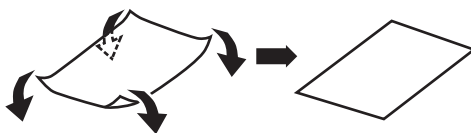
チェック 3　反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

普通紙の場合

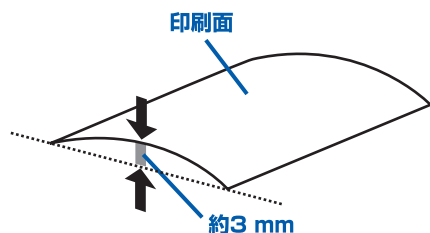
用紙の裏表を逆にしてセットしてください。
後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。
なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

その他の用紙の場合

用紙の四隅が3mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

1　下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

2　印刷する用紙が、平らになっていることを確認する
反りを修正した用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参　考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ3mm程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

反りをつけた用紙は、1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック 4　厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。
用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。
* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

本製品の操作パネルで設定する場合

［ホーム］画面から［セットアップ］→［本体設定］→［印刷設定］を順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」

パソコンで設定する場合

Windows

プリンタードライバーの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタードライバーの開きかた」を参照してください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「Canon IJ Printer Utilityの開きかた」を参照してください。

チェック 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

チェック 6　原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

チェック 7　給紙ローラーが汚れていませんか

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。
⇒「給紙ローラーをクリーニングする」（P.128）

参　考

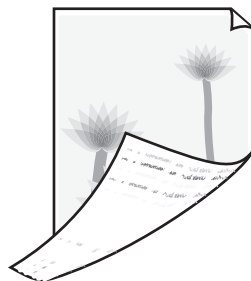
- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 8　本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

用紙の裏面が汚れる

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

チェック 2　インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- フチなし全面印刷や両面印刷、多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.142）

チェック 2 **ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）を参照してください。

チェック 3 **プリントヘッドの位置調整を行ってください**

⇒「プリントヘッド位置を調整する」（P.127）

参 考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

印刷が始まらない

チェック 1 **電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください**

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参 考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが青色に点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2 **インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合はインクタンクを交換してください**

⇒「インクタンクを交換する」（P.114）

チェック 3　スキャナーユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点滅していないか確認してください

インクが十分あるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。
⇒「インクの状態を確認する」（P.119）

チェック 4　スキャナーユニット（カバー）を開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください

インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上のPUSH部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

チェック 5　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 6　パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

チェック 7　内部カバーが開いていないか確認してください

開いている場合は閉じて、本製品のOKボタンをタッチしてください。

チェック 8　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

異なる機種のプリンタードライバーを使用していると、正常に印刷できません。

Windows

［印刷］ダイアログで［Canon XXX Printer］（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

参　考

- 本製品を［通常使うプリンターに設定］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Macintosh

プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参　考

- 本製品を［デフォルトのプリンタ］または［デフォルトにする］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Windows

チェック 9　プリンターポートを正しく設定してください

プリンターポートの設定を確認してください。

1 **管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**

2 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選ぶ**
Windows Vistaをご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。
Windows XPをご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］を選びます。

3 **［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選ぶ**
Windows VistaまたはWindows XPをご使用の場合は、［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選びます。

4 **［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する**

参　考

- 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザーが設定した任意の文字列です。

- **設定が誤っている場合：**
MPドライバーを再インストールしてください。
- **USBケーブルで接続していて［USBnnn］が選ばれていても印刷が始まらない場合：**
タスクトレイの［Canonマイ プリンタ］を起動し、［プリンターの診断・修復］からプリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示にしたがって操作し、機種選択画面では［Canon XXX Printer］を選びます。
それでも印刷が始まらない場合は、MPドライバーを再インストールしてください。
- **無線LAN接続または有線LAN接続で“CNBJNPxxxxxxxxxx”が表示されていても印刷が始まらない場合：**
Canon IJ Network Toolを起動し、［Canon IJ Network Tool］画面のポート名に手順4で確認した“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されている列を選び、［設定］メニューの［ポートの関連付け］を選んでポートとプリンターの関連付けをしてください。
それでも印刷が始まらない場合は、MPドライバーを再インストールしてください。

コピー／印刷が途中で止まる

チェック　通常の印刷（ディスクレーベル印刷以外の印刷）中に内部カバーを開いていませんか

内部カバーを閉じてから、本製品のOKボタンをタッチしてください。
エラーが発生したときに本製品に送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。

動作はするがインクが出ない

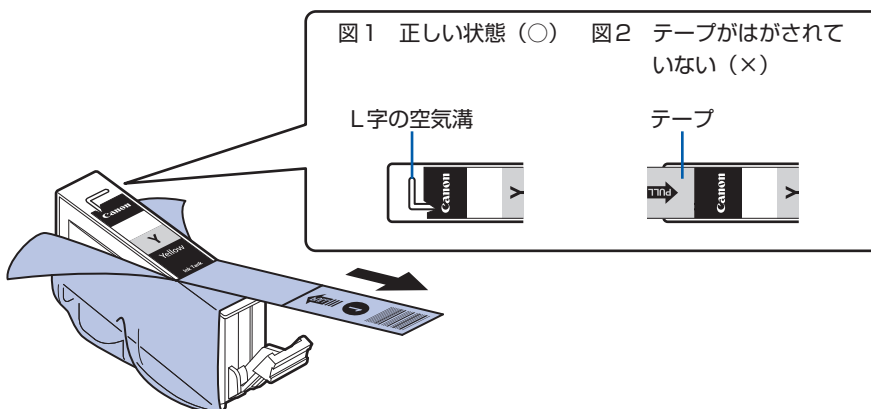
チェック 1　プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）を参照してください。

チェック 2　インクがなくなっていませんか

「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してインクタンクの状態を確認し、状態に応じて対処してください。

チェック 3　インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか

下の図１のように、オレンジ色のテープがL字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。
図２のようにテープが残ってL字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。

プリントヘッドホルダーが交換位置に移動しない

チェック 1 **電源ランプが消えていませんか**

電源ランプが青色に点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとプリントヘッドホルダーは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、スキャナーユニット（カバー）を閉じて電源を入れてください。
電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度スキャナーユニット（カバー）を開けてください。

チェック 2 **エラーメッセージが表示されていませんか**

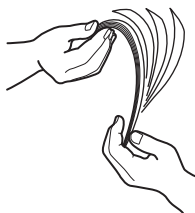
スキャナーユニット（カバー）をいったん閉じ、表示されたエラー／確認メッセージにしたがってエラーを解除してから、開いてください。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してください。

参　考

- 印刷の途中でスキャナーユニット（カバー）を開けてしまうと、プリントヘッドホルダーは右側へ移動してしまいます。スキャナーユニット（カバー）をいったん閉じ、印刷の動作が終了してから開けてください。

用紙がうまく送られない

チェック 1 **次のことに注意して用紙をセットしてください**

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙をよくさばいてからセットしてください。

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。
ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 後トレイ、カセットとも、印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を表にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。
- カセットに用紙をセットするときは、手前の用紙ガイドを用紙サイズのマーク位置に合わせ、印刷したい面を下にして用紙の右端をカセットの右側にぴったりと突き当ててセットし、左側の用紙ガイドを用紙の左端に合わせてください。
⇒「用紙をセットする」（P.98）

チェック 2　厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

⇒「使用できない用紙について」（P.109）

チェック 3　はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。
  はがき、往復はがきに印刷するときは、「はがきに印刷するときの注意」（P.101）を参照してください。
- 封筒に印刷するときは「封筒をセットする」（P.103）を参照し、印刷前に準備をしてください。
  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック 4　給紙位置設定が合っているか確認してください

*お買い上げ時から何も設定を変更していない場合、普通紙はカセットから給紙する設定になっています。

- 本製品の操作パネルで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
- プリンタードライバーで設定する場合
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「目的に合わせて給紙方法を切り替える」
- プリンタードライバーの［給紙方法］で［自動選択］に設定した場合の、普通紙の給紙位置設定について
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「普通紙の給紙位置を設定する」

チェック 5　カセットに異物がある場合は取り除いてください

チェック 6　後トレイに異物が入っていないか確認してください

チェック 7　内部カバーが閉じていることを確認してください

少しでも開いていると用紙がうまく送られません。
⇒「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）

チェック 8　給紙ローラーのクリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラーをクリーニングする」（P.128）

参　考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 9　カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃について詳しくは「カセットの内部を清掃する」（P.129）を参照してください。

チェック 10　背面カバーは正しく閉まっていますか

背面カバーが正しく閉まっていないと、用紙がつまることがあります。背面カバーを奥までしっかり押し込んで取り付けてください。
背面カバーの位置については、「各部の名称と役割」（P.8）を参照してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

Windows プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない

チェック　アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる給紙位置を指定していませんか

アプリケーションソフトの設定をプリンタードライバーの設定に合わせるか、プリンタードライバーの［ページ設定］シートにある［印刷オプション］で［アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする］を選択してください。
アプリケーションソフトで、プリンタードライバーと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

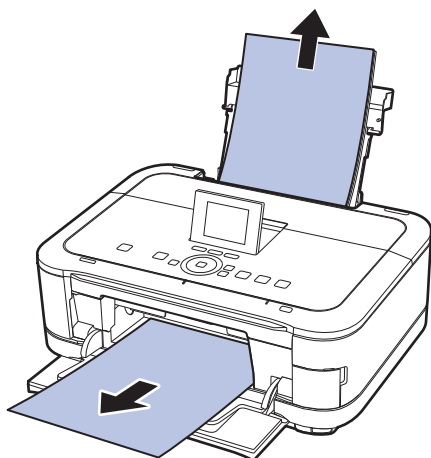
用紙がつまった

参　考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタン（Stop）をタッチして、印刷を中止してから電源を切ってください。

排紙口／後トレイで用紙がつまった

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　排紙側または給紙側（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

参 考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、スキャナーユニット（カバー）を開けて取り除いてください。
  このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
  用紙を取り除いたら、スキャナーユニット（カバー）を閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

2 用紙をセットし直し、本製品のOKボタンをタッチする

手順1で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

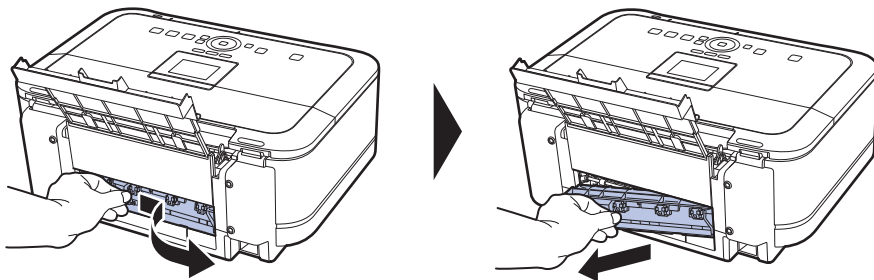
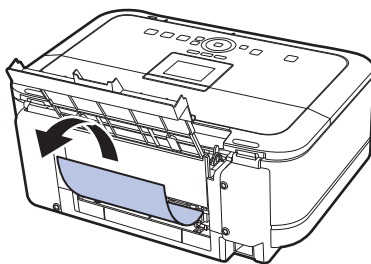
参 考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.98）
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

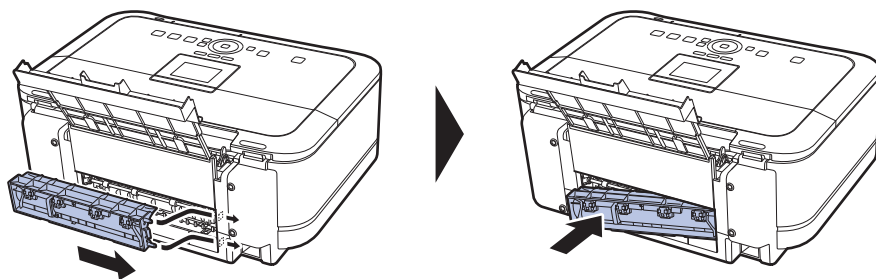
搬送ユニットで用紙がつまった

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

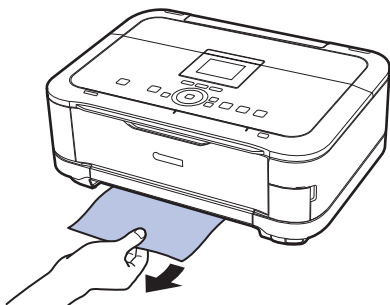
1 背面カバーを取り外す

2 用紙をゆっくり引っ張る

参　考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を切り、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排紙されることがあります。

3　背面カバーを取り付ける

背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

手順２で用紙を取り除けなかったとき：

4　カセットを取り出す

5　用紙をゆっくり引っ張る

6　カセットから用紙がはみ出しているときは、用紙を取り除き用紙をそろえてからセットし直す

自動両面印刷をしていて、手順１～５でも用紙が見つからないときは、両面搬送部を確認してください。

⇒「自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかった」（P.159）

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
⇒「用紙をセットする」（P.98）

7　カセットを本製品にセットし直し、本製品のOKボタンをタッチする

手順２で電源を入れ直したときは、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

自動両面印刷をしていて、用紙を取り除けなかった

操作を行う前に、「搬送ユニットで用紙がつまった」(P.157)を確認してください。それでも解決しない場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

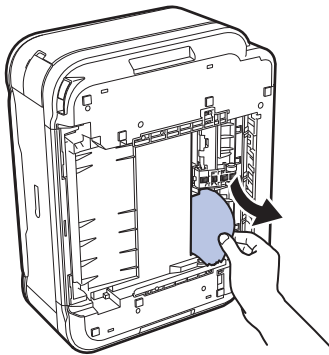
2　カセットを取り出す

後トレイに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いて用紙サポートを収納してください。

3　左側面を下にして、本製品本体を立てる

重　要

- 本製品を立てるときは、スキャナーユニット(カバー)がしっかりと閉まっていることを確認してください。

4　用紙が破れないようにゆっくり引っ張る

参　考

- つまった用紙を取り除いたあとは、速やかに本製品を元の位置に戻してください。

5　用紙をそろえてカセットにセットし直す

後トレイに用紙をセットしていたときは、用紙をセットし直してください。

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」(P.98)

6　カセットを本製品にセットし直す

7　電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直す

本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」(P.184)

名刺サイズの用紙がつまった

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重　要

- 名刺サイズの用紙は、横向きにセットできません。

1 **後トレイに同じ用紙を１枚縦向きにセットする**
　横向きにセットしないでください。

2 **本製品の電源を切る**

3 **本製品の電源を入れる**
　用紙が給紙され、つまった用紙を押し出しながら排紙されます。
　本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

それ以外のとき

次のことを確認してください。

チェック 1　**排紙口付近に異物はありませんか**

チェック 2　**後トレイに異物は入っていませんか**

チェック 3　**背面カバーが正しく閉まっていますか**

チェック 4　**反りのある用紙を使用していませんか**

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.147）

パソコンの画面にメッセージが表示されている

Windows ディスクレーベル印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック 1　印刷を開始するときに内部カバーが閉じていませんか

内部カバーを開きディスクトレイをセットしてから本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
印刷中に内部カバーを開閉しないでください。破損の原因になります。

チェック 2　ディスクトレイを正しくセットしましたか

内部カバーを開いて、ディスクトレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 3　ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットしましたか

ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットし、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 4　認識できないプリンタブルディスクをセットしている可能性があります

推奨するプリンタブルディスクのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨するプリンタブルディスクの最新情報については、「キヤノンサポートホームページ」（canon.jp/support）をご覧ください。
  推奨するプリンタブルディスクの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 5　すでに印刷してあるプリンタブルディスクをセットしていませんか

すでに印刷してあるプリンタブルディスクに印刷しようとすると、ディスクトレイが排出されることがあります。
その場合は、プリンタードライバーの［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックしたあと、もう一度印刷してください。
印刷が終わったら、［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

参　考

- 印刷後に［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのプリンタブルディスクの印刷を行うと、ディスクトレイにプリンタブルディスクがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、ディスクトレイが汚れるのを防ぐことができます。

「エラー番号：B200　プリンタートラブルが発生しました。プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理受付窓口へ修理をご依頼ください」が表示されている

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

「エラー番号：****　プリンタートラブルが発生しました。プリンターの電源を切り、もう一度電源を入れてください。エラーが解除されないときは、プリンターの取扱説明書を参照してください」が表示されている

「****」部分は半角英数字で表示され、表示が異なります。

- **「5100」または「5110」と表示された場合：**
  プリントヘッドホルダーの動きが妨げられていないか確認してください。
  パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダーの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。

重　要

- このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因となります。
- それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

- **「6000」と表示された場合：**
  本製品の手前にものがある場合は取り除いてください。
  排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、本製品の電源を入れ直してみてください。
- **4桁の英数字と「プリンタートラブルが発生しました」が表示された場合：**
  本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  本製品の電源を入れ直してみてください。
  それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック **『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください**

自動ヘッド位置調整に関するエラーメッセージが表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.136）を参照し、対処してください**

Windows 電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている

本製品の電源が入った状態で、電源プラグが抜かれた可能性があります。
メッセージの内容を確認して、［OK］ボタンをクリックしてください。
印刷が開始されます。
電源プラグの抜きかたについては、巻末の「知って得するヒント集」を参照してください。

Windows「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 プリンタードライバーのプロパティで、プリンターポートが正しく設定されていることを確認してください

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

1 管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする

2 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選ぶ

Windows Vistaをご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。
Windows XPをご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］を選びます。

3 ［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選ぶ

Windows VistaまたはWindows XPをご使用の場合は、［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選びます。

4 ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する

参　考

- 無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、ポート名は“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されます。xxは、MACアドレスから生成される文字列、または、ネットワークのセットアップ時にユーザーが設定した任意の文字列です。

- **設定が誤っている場合：**
  MPドライバーを再インストールしてください。
- **USBケーブルで接続していて［USBnnn］が選ばれていても印刷が始まらない場合：**
  タスクトレイの［Canonマイ プリンタ］を起動し、［プリンターの診断・修復］からプリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示にしたがって操作し、機種選択画面では［Canon XXX Printer］を選びます。
  それでも印刷が始まらない場合は、MPドライバーを再インストールしてください。
- **無線LAN接続または有線LAN接続で“CNBJNPxxxxxxxxxx”が表示されていても印刷が始まらない場合：**
  Canon IJ Network Toolを起動し、［Canon IJ Network Tool］画面のポート名に手順4で確認した“CNBJNPxxxxxxxxxx”と表示されている列を選び、［設定］メニューの［ポートの関連付け］を選んでポートとプリンターの関連付けをしてください。
  それでも印刷が始まらない場合は、MPドライバーを再インストールしてください。

チェック 3　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 4　MPドライバーが正しくインストールされていることを確認してください

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバーを削除する」に記載されている手順にしたがってMPドライバーを削除したあと、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［MPドライバー］を選んで再インストールしてください。

チェック 5　USB接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順にしたがって、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1. **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャー］の順に選ぶ**
   ［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。
   Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］、［システム］を順にクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

2. **［ユニバーサル シリアル バス コントローラー］、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックする**
   Windows XPをご使用の場合は、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックします。
   ［USB印刷サポート］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。
   ⇒「チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください」（P.164）

3. **［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する**
   デバイスの異常が表示されている場合は、Windowsのヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Macintosh「エラー番号：300」が表示されている

チェック 1　電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2　本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB接続で本製品をご使用の場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

無線LAN接続または有線LAN接続で本製品をご使用の場合は、LANケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。
⇒『かんたんスタートガイド』

チェック 3　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタードライバーの開きかた」

Macintosh「メッセージ：1001」が表示されている

チェック　ディスクトレイを正しくセットしてください

ディスクトレイを正しくセットし、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

Macintosh 「エラー番号：1002」が表示されている

チェック 1 ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットしてください

ディスクトレイにプリンタブルディスクを正しくセットし、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 2 認識できないプリンタブルディスクをセットしている可能性があります

推奨するプリンタブルディスクのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨するプリンタブルディスクの最新情報については、「キヤノンサポートホームページ」（canon.jp/support）をご覧ください。
  推奨するプリンタブルディスクの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 3 すでに印刷してあるプリンタブルディスクをセットしていませんか

すでに印刷してあるプリンタブルディスクに印刷しようとすると、ディスクトレイが排出されることがあります。
その場合は、Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）の［特殊設定］で［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックしたあと、もう一度印刷してください。
印刷が終わったら、［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

参　考

- 印刷後に［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのプリンタブルディスクの印刷を行うと、ディスクトレイにプリンタブルディスクがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、ディスクトレイが汚れるのを防ぐことができます。

Macintosh 「エラー番号：1701」が表示されている

チェック 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.135）を参照し、対処してください

Macintosh 「インク情報番号：1600」が表示されている

チェック 「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなった可能性があります」（P.133）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1683」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクの残量を正しく検知できません」（P.134）を参照し、対処してください**

Macintosh「インク情報番号：1688」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなりました」（P.134）を参照し、対処してください**

Macintosh「インク情報番号：1750」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないインクタンクが取り付けられています」（P.134）を参照し、対処してください**

Macintosh「メッセージ：1850」が表示されている

チェック **内部カバーを開いて、ディスクトレイを正しくセットしてください**

内部カバーを開いて、ディスクトレイを正しくセットし、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

Macintosh「エラー番号：1851」が表示されている

チェック **内部カバーを閉じてから、本製品のOKボタンをタッチしてください**

Macintosh「エラー番号：1856」が表示されている

チェック **内部カバーを閉じてから、本製品のOKボタンをタッチしてください**

印刷データが１枚分消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。

Macintosh「エラー番号：2001」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していない機器が接続されました」（P.136）を参照し、対処してください**

Macintosh「エラー番号：2002」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないUSBハブが接続されました」（P.136）を参照し、対処してください**

Macintosh 「エラー番号：2500」が表示されている

チェック **「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「自動ヘッド位置調整に失敗しました」（P.136）を参照し、対処してください**

Windows そのほかのエラーメッセージ

チェック **プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください**

- ［ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。］
  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- ［メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。］
  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。
  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- ［プリンタードライバーが読み込めませんでした。］
  『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバーを削除する」に記載されている手順にしたがってMPドライバーを削除し、再インストールしてください。
- ［「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。］
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

Windowsをご使用の方へ

本製品のカラーボタン（Color）またはモノクロボタン（Black）をタッチしたあとで、常にMP Navigator EXを起動させたい

チェック **本製品のカラーボタン（Color）またはモノクロボタン（Black）をタッチしたときの動作を設定してください**

以下の手順にしたがって、パソコンで設定してください。

Windows 7をご使用の場合：

1 **管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**

2 **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選ぶ**

3 **［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［スキャン プロパティ］を選ぶ**
［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は［はい］をクリックします。

4 **［WIA Canon XXX serのプロパティ］画面（「XXX」は機種名）で［イベント］タブをクリックする**

5 **［操作］で［指定したプログラムを起動する］を選び、プルダウンメニューから［MP Navigator EX Ver4.0］を選ぶ**
［イベントを選択してください］プルダウンメニューでイベントを切り替えて、すべてのイベントで起動するプログラムを［MP Navigator EX Ver4.0］に設定してください。すでに［MP Navigator EX Ver4.0］に設定されている場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

6 **［OK］ボタンをクリックする**

Windows Vistaをご使用の場合：

1 管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする

2 ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［スキャナとカメラ］を選ぶ

3 ［WIA Canon XXX ser］アイコン（「XXX」は機種名）を選び、［プロパティ］ボタンをクリックする

［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は［続行］をクリックします。

4 ［WIA Canon XXX serのプロパティ］画面（「XXX」は機種名）で［イベント］タブをクリックする

5 ［操作］で［指定したプログラムを起動する］を選び、プルダウンメニューから［MP Navigator EX Ver4.0］を選ぶ

［イベントを選択してください］プルダウンメニューでイベントを切り替えて、すべてのイベントで起動するプログラムを［MP Navigator EX Ver4.0］に設定してください。すでに［MP Navigator EX Ver4.0］に設定されている場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

6 ［OK］ボタンをクリックする

PictBridge対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge対応機器から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参 考

- キヤノン製以外のPictBridge対応機器からのプリンターエラーの解除方法がわからない場合は、本製品の液晶モニターに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。本製品のエラーの解除方法は「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）を参照してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、PictBridge対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

携帯電話からうまく印刷できない

携帯電話から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

手書きナビシートからうまく印刷できない

参　考

- ディスクレーベル手書きナビシートからうまく印刷できないときも、以下を参照してください。

手書きナビシートを印刷すると白紙が排紙される／[指定した写真を印刷できません]が表示される

チェック 1　メモリーカード／ USBフラッシュメモリーの写真が本製品に対応した画像データかどうか確認してください

⇒「メモリーカードをセットする」（P.29）、「USBフラッシュメモリーをセットする」（P.33）

チェック 2　メモリーカード／ USBフラッシュメモリーに保存されている写真をパソコンで編集しませんでしたか

パソコンで編集された写真は印刷できないことがあります。

参　考

- 撮影情報がパソコンなどで編集されている写真を液晶モニターに表示しようとすると、「?」が表示されます。

[手書きナビシートの読み取りに失敗しました］が表示される

チェック 1　手書きナビシートの印刷に、色のついた用紙をセットしませんでしたか

色のついた用紙に印刷するとうまくスキャンができないことがあります。表裏ともに白い用紙を使用して手書きナビシートを作成し直してください。

チェック 2　手書きナビシートの⬋マークを原稿位置合わせマーク（⍂）に合わせてセットしましたか

チェック 3　手書きナビシートの印刷に、A4サイズの普通紙をセットしましたか

参　考

- 再生紙や色のついた紙、汚れや折り目のある紙に印刷するとうまくスキャンできないことがあります。

チェック 4　手書きナビシートに汚れやしわがある場合は、手書きナビシートを作成し直してください

手書きナビシートのバーコード付近が汚れているとうまくスキャンができないことがあります。表裏ともにきれいな用紙を使用して手書きナビシートを作成し直してください。

チェック 5　マークの付け忘れや、同じ項目に複数のマークを付けていないか確認してください

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さいと、手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。

チェック 6　原稿台ガラスが汚れている場合は、原稿台ガラスを清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

手書きナビシートをスキャンすると［指定した写真を印刷できません］が表示される／異なる写真や白紙が印刷される／印刷途中で排紙される

チェック 1　印刷したい写真が表示されているか確認してください

［ホーム］画面から［フォト］を選び、印刷したい写真を表示して、メモリーカード／ USB フラッシュメモリーに写真が保存されていることを確認してください。

チェック 2　手書きナビシートを印刷し直してください

参　考

- 手書きナビシートの「この手書きナビシートを再印刷する」にマークをつけてシートをスキャンしてもうまく印刷できないことがあります。
  ［ホーム］画面から［楽しい写真印刷］、［手書きナビ印刷］（ディスクレーベル手書きナビシートの場合は［ディスクレーベル手書き］）の順に選び、表示される案内にしたがって手書きナビシートを印刷し直してください。

チェック 3　メモリーカード／ USB フラッシュメモリーの写真が本製品に対応した画像データかどうか確認してください

⇒「メモリーカードをセットする」（P.29）、「USB フラッシュメモリーをセットする」（P.33）

チェック 4　メモリーカード／ USB フラッシュメモリーに保存されている写真をパソコンで編集しませんでしたか

パソコンで編集された写真は印刷できないことがあります。

参　考

- 撮影情報がパソコンなどで編集されている写真を液晶モニターに表示しようとすると、「?」が表示されます。

チェック 5　手書きナビシートを印刷したあとにメモリーカード／ USB フラッシュメモリーの内容を変更しませんでしたか

写真の追加や削除を行った場合は、もう一度手書きナビシートを作成し直してください。

重　要

- 手書きナビシートを印刷したあと、手書きナビシートをスキャンするまではメモリーカード／ USB フラッシュメモリーの内容を書き換えないでください。

チェック 6　印刷中にメモリーカード／ USB フラッシュメモリーを取り出しませんでしたか

印刷が終わるまで、メモリーカード／ USB フラッシュメモリーを取り出さないでください。

重　要

- メモリーカード／ USB フラッシュメモリーの写真データを読み込みながら印刷が行われるため、印刷中にメモリーカード／ USB フラッシュメモリーを取り出すと印刷できなくなります。また、印刷中にメモリーカード／ USB フラッシュメモリーを取り出すと、保存されている内容が破損することがあります。

手書き文字や絵がうまく合成できない

チェック 1 **手書き文字や絵は濃い色の太めのペンではっきりと書かれていますか**

参　考

- 細い線や薄い色、かすれた文字や絵は正しくスキャンできないことがあります。

チェック 2 **手書きエリアの四隅の○マークが汚れていませんか**

重　要

- 手書きエリアの四隅の○マークが汚れていると、手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。○マーク付近は汚さないでください。

チェック 3 **手書きナビシートの↙マークを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせてセットしましたか**

参　考

- 手書きナビシートが傾いていると、うまく合成できないことがあります。

チェック 4 **異なる写真や白紙が印刷された場合は、メモリーカード／ USBフラッシュメモリーの写真を確認してください**

メモリーカードが取り出せない

お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

⇒「お問い合わせの前に」（P.184）

重　要

- 細い棒やピンセットなどを使用して取り出さないでください。故障の原因になります。

参　考

- 次のメモリーカードは専用のカードアダプターが必要です。専用のカードアダプターを取り付けてから、本製品のカードスロットに挿入してください。
  miniSDカード／miniSDHCカード／microSDカード／microSDHCカード／xD-Pictureカード／xD-PictureカードType M ／ xD-PictureカードType H ／メモリースティック マイクロ／ RS-MMC ／ MMCmobile

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツが利用できない

クリエイティブパーク プレミアムにアクセスできない

チェック 1 本製品の電源は入っていますか

本製品の電源が入っていないと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、本製品の電源を入れて、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 2 パソコンと本製品は接続されていますか

パソコンと本製品が接続されていないと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、パソコンと本製品を正しく接続して、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 3 インクタンクは正しく取り付けられていますか

キヤノン純正インクタンクが正しく取り付けられていないと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、キヤノン純正インクタンクの全色が正しく取り付けられていることを確認して、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 4 本製品が処理中ではありませんか

本製品が処理中だと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、処理が終了したら、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 5 本製品のプリンタードライバーがインストールされていますか

本製品のプリンタードライバーがインストールされていないと、Solution Menu EXにクリエイティブパーク プレミアムのメニューが表示されません。本製品のプリンタードライバーをインストールしてから、クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 6 本製品がSolution Menu EXで選ばれていますか

本製品がSolution Menu EXで選ばれていないと、Solution Menu EXにクリエイティブパーク プレミアムのメニューが表示されません。Solution Menu EXの［ヘルプと設定］メニューから［Solution Menu EXの設定］を選び、［機種設定］で本製品を選んでから、クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 7 プリンタードライバーの双方向サポートの設定が有効になっていますか

プリンタードライバーの双方向サポートが無効の場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、プリンタードライバーの双方向サポートの設定が有効になっていることを確認し、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

参　考

- プリンタードライバーの双方向サポートの設定を有効にするには、プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けてください。

チェック 8 パソコンと本製品がBluetoothで接続されていませんか

パソコンと本製品をBluetoothで接続している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続に変更して、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

チェック 9 Macintosh 本製品をAirMacとUSB接続して共有プリンターとして使用していませんか

本製品をAirMacとUSB接続して、共有プリンターとして使用している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続で本製品をパソコンに接続して、再度クリエイティブパークプレミアムにアクセスしてください。

チェック 10 インターネットに接続できますか

クリエイティブパーク プレミアムにアクセスするためには、インターネットに接続する必要があります。ご使用のパソコンがインターネットに接続できることを確認し、再度クリエイティブパーク プレミアムにアクセスしてください。

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツが印刷できない

チェック 1 Easy-PhotoPrint EXはインストールされていますか

Easy-PhotoPrint EXがインストールされていないと、クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷することはできません。Easy-PhotoPrint EXをインストールしてから、Solution Menu EXのプレミアムコンテンツ印刷メニューを選択して、クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

チェック 2 クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツをダウンロードしてインストールしましたか

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツをダウンロードしてインストールしてから、再度印刷を行ってください。印刷枚数がコンテンツの印刷可能枚数を超えた場合や、コンテンツの使用期限が過ぎている場合は、コンテンツは表示されません。
コンテンツの印刷可能枚数や使用期限については、クリエイティブパーク プレミアムをご覧ください。

チェック 3 本製品では印刷できない用紙サイズのコンテンツを印刷しようとしていませんか

本製品で印刷できない用紙サイズのコンテンツを印刷しようとすると、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、コンテンツの用紙サイズを確認してください。

チェック 4 インクタンクは正しく取り付けられていますか

キヤノン純正インクタンクが正しく取り付けられていないと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、キヤノン純正インクタンクの全色が正しく取り付けられていることを確認して、再度クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

チェック 5 本製品が処理中ではありませんか

本製品が処理中だと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、処理が終了するまでお待ちください。処理が終了したら、再度クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

チェック 6　本製品のプリンタードライバーがインストールされていますか

本製品のプリンタードライバーがインストールされていないと、クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷することはできません。本製品のプリンタードライバーをインストールしてから、再度クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

チェック 7　本製品がSolution Menu EXで選ばれていますか

本製品がSolution Menu EXで選ばれていないと、Solution Menu EXにクリエイティブパーク プレミアムのメニューが表示されません。Solution Menu EXの［ヘルプと設定］メニューから［Solution Menu EXの設定］を選び、［機種設定］で本製品を選んでから、Solution Menu EXのプレミアムコンテンツ印刷メニューを選んで、クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

チェック 8　プリンタードライバーの双方向サポートの設定が有効になっていますか

プリンタードライバーの双方向サポートが無効の場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容にしたがい、プリンタードライバーの双方向サポートの設定が有効になっていることを確認し、再度クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

参　考

- プリンタードライバーの双方向サポートの設定を有効にするには、プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けてください。

チェック 9　パソコンと本製品がBluetoothで接続されていませんか

パソコンと本製品をBluetoothで接続している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続に変更して、再度クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷してください。

Macintosh

チェック 10　本製品をAirMacとUSB接続して共有プリンターとして使用していませんか

本製品をAirMacとUSB接続して、共有プリンターとして使用している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続で本製品をパソコンに接続して、再度クリエイティブパークプレミアムのコンテンツを印刷してください。

ディスクにうまく印刷できない

ディスクレーベル印刷が始まらない

チェック 1　ディスクトレイを正しくセットしましたか

内部カバーを開いて、ディスクトレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）をご使用ください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 2　ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットしましたか

ディスクトレイにプリンタブルディスクを正しくセットし、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 3　ディスクレーベル印刷が途中で止まる場合は、もう一度操作をやり直してください

ディスクレーベル印刷の途中で一定の時間が経過すると、本製品の準備動作が中止されます。
本製品のOKボタンで、本製品の準備動作が再開されます。
表示される案内にしたがって、もう一度操作をやり直してください。

ディスクトレイがうまく送られない

チェック 1　ディスクトレイを正しくセットしましたか

ディスクトレイを正しくセットし直し、本製品のOKボタンでエラーを解除してください。
ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（Gのマークがあるもの）をご使用ください。
正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 2　認識できないプリンタブルディスクをセットしている可能性があります

推奨するプリンタブルディスクのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨するプリンタブルディスクの最新情報については、「キヤノンサポートホームページ」（canon.jp/support）をご覧ください。
  推奨するプリンタブルディスクの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 3　すでに印刷してあるプリンタブルディスクをセットしていませんか

すでに印刷してあるプリンタブルディスクに印刷しようとすると、ディスクトレイが排出されることがあります。

Windows

プリンタードライバーの［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックしたあと、もう一度印刷してください。
印刷が終わったら、［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）の［特殊設定］で［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックしたあと、もう一度印刷してください。
印刷が終わったら、［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

参　考

- 印刷後に［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのプリンタブルディスクの印刷を行うと、ディスクトレイにプリンタブルディスクがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、ディスクトレイが汚れるのを防ぐことができます。

ディスクトレイがつまった

ディスクトレイをゆっくり引き出してください。
ディスクトレイが引き出せない場合は、本製品の電源を切り、電源を入れ直してください。ディスクトレイが自動的に排出されます。
ディスクトレイを取り除いたら、ディスクトレイ（Gのマークがあるもの）をセットし直し、もう一度印刷してください。ディスクトレイをセットし直す場合は、「プリンタブルディスクをセットする」(P.46) を参照し、プリンタブルディスクを正しくセットしてください。
上記の手順どおりに処理をしてもつまる場合は、プリンタブルディスクに問題がないか確認してください。
⇒「ディスクトレイがうまく送られない」(P.176)

付録

仕様

装置の概要	
印刷解像度（dpi）	9600（横）* X 2400（縦） * 最小1/9600インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
インターフェース	プリンター接続部： Hi-Speed USB *1 カメラ接続部： PictBridge Bluetooth v2.0（オプション）*2 *3 *4 USBフラッシュメモリー 赤外線ポート: IrDA IR *5 LAN接続部： 有線LAN　100BASE-TX/10BASE-T 無線LAN　IEEE802.11n/IEEE802.11g/IEEE802.11b *6 *1 Hi-Speed USBでのご使用は、パソコン側がHi-Speed USBに対応している必要があります。 また、Hi-Speed USBインターフェースはUSB 1.1の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースがUSB 1.1でも接続してご使用いただけます。 *2 最大通信速度：1.44 Mbps *3 イメージ形式（JPEG/PNG）のみ *4 Bluetooth接続はプリント時のみ *5 最大通信速度：4 Mbps 通信距離：20 cm以内 *6 AOSS、らくらく無線スタート、WPS（Wi-Fi Protected Setup)、WCN（Windows Connect Now)、手動による設定で接続が可能です。
印字幅	最長　203.2 mm　　フチなし時：最長216 mm
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：10 ～ 90 % RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 V　50/60 Hz （付属の電源コードはAC 100 V用です）
消費電力	印刷時（コピー時）：約24 W 待機時（スリープ時）：約2.0 W * 電源OFF時：約0.5 W * * USB接続時 ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約470 mm（横）X 368 mm（奥行き）X 173 mm（高さ） ※用紙サポートと排紙トレイを格納した状態
質量	本体　約9.2 kg ※プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド/インク	6144 ノズル （顔料BK 512 ノズル、Y/染料BK 各512 ノズル、C/M/GY 各1536 ノズル）

コピー仕様	
連続コピー枚数	最大99枚
濃度調整	9段階、自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大/縮小	25 % ～ 400 %（1 %刻み）

スキャナー仕様	
スキャンドライバー	TWAIN準拠/WIA（Windows 7/Windows Vista/Windows XP対応）
最大原稿サイズ	A4/レター/216 X 297 mm
読み取り解像度	光学（主走査、副走査）最大：4800 X 4800 dpi ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：19200 X 19200 dpi
読み取り階調（入力/出力）	グレースケール：16 bit/8 bit カラー：48 bit/24 bit（RGB各色16 bit/8 bit）

プリントビーム基本仕様	
方式	IrDA IR（IrSimple対応） Bluetooth v2.0（最大通信速度1.44 Mbps）* * オプションBU-30使用時
転送情報	イメージ画像：JPEG（Exif準拠）/PNG

ネットワーク仕様	
通信プロトコル	TCP/IP
無線LAN部	準拠規格：IEEE802.11n/IEEE802.11g/IEEE802.11b 周波数帯域：2.4 GHz帯 チャンネル：1-13 伝送速度（規格値）： IEEE802.11n：最大150 Mbps IEEE802.11g：最大54 Mbps IEEE802.11b：最大11 Mbps 有効範囲：屋内50 m *（*環境条件により異なります。） セキュリティ： WEP（64/128 bit） WPA-PSK（TKIP/AES） WPA2-PSK（TKIP/AES） セットアップ： AOSS らくらく無線スタート WCN（WCN-UFD/WCN-NET） WPS（プッシュボタン方式/PINコード方式） その他：管理パスワード
有線LAN部	準拠規格：IEEE802.3u（100BASE-TX)/IEEE802.3（10BASE-T） 伝送速度：10 M/100 Mbps（自動切替）

動作条件

参考 OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS **CPU** **メモリー**	Windows 7 1 GHz以上のプロセッサ （32-bit（x86）/64-bit（x64）） 1 GB（32-bit）/2 GB（64-bit） Windows Vista、Vista SP1、Vista SP2 1 GHz以上のプロセッサ 512 MB Windows XP SP2、SP3 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB	Mac OS X v.10.6 Intelプロセッサ 1 GB Mac OS X v.10.5 Intelプロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4（867 MHz以上） 512 MB Mac OS X v.10.4.11 Intelプロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB
ブラウザー	Internet Explorer 6以上	Safari 3
ハードディスク空き容量	1.5 GB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量 容量は予告なく変更となる場合があります。	1.5 GB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量 容量は予告なく変更となる場合があります。
CD-ROMドライブ	必要	必要
表示環境	SVGA 800 X 600以上	XGA 1024 X 768以上

- Windows 7、Windows Vista、Windows XPのいずれかがプレインストールされているコンピューター。
- Windows VistaからWindows 7にアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンターに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows 7にアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアを再インストールしてください。
- Windows Media Centerでは、一部の制限があります。
- Mac OS拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
- Mac OS X v.10.5以下のバージョンから、Mac OS X v.10.6にアップグレードして本製品をお使いになる場合は、アップグレード後、ソフトウェアを再インストールしてください。
- Easy-WebPrint EXをご使用になる場合は、Internet Explorer 7以上が必要です。Windowsでのみご使用になれます。
- Easy-PhotoPrint Proは、Canon Digital Photo Professional Ver.2.1以降、Adobe Photoshop CS4、CS3、CS2、CS、およびAdobe Photoshop Elements 6、7*、8用のプラグインソフトウエアです。
  * Windowsのみ

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

仕様は、予告なく変更することがあります。

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

お問い合わせの前に

本書または『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は?

本製品が正常に動作し、MPドライバーのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム(OS、メモリー、ハードディスク、インターフェースなど)に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、MPドライバーを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

MPドライバーのバージョンアップについては、以下のキヤノンサポートホームページまたはお客様相談センターにてご確認ください。

本製品の故障の場合は?

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日>9:00～18:00(日祝、年末年始を除く)

その他のお困り事は?

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

050-555-90015

【受付時間】 <平日>9:00～20:00
<土日祝>10:00～17:00(1/1～1/3を除く)

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本製品を修理にお出しいただく場合
- ・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- ・本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要:梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い: 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品の保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　　キヤノンサポートホームページ　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

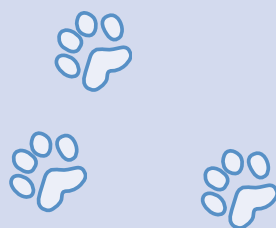
キヤノンマーケティングジャパン株式会社　　**〒108-8011 東京都港区港南2-16-6**

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口

ソフトウェアについては、『セットアップCD-ROM』の電子マニュアル（取扱説明書）、またはソフトウェアのREAD MEファイル、HELPなどをあわせてご覧ください。

- らくちんCDダイレクトプリント for Canon
  （株）メディアナビ　03-5467-1781
  http://www.medianavi.jp/ 「サポート」
- 読取革命Lite
  パナソニック ソリューションテクノロジー（株）
  0570-00-8700
  パナソニック ソリューションテクノロジー　ソフトサポートセンター
  http://panasonic.co.jp/sn/psn/pstc/products/yomikaku_l/
- 上記以外のソフトウェア
  キヤノンお客様相談センター　050-555-90015
  canon.jp/support

※ご使用の製品によって付属されるソフトウェアは異なります。

知って得するヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

インクはこんなふうに使われています

豆知識

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。
本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重　要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにパーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。

⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.133）

豆知識

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

つづく

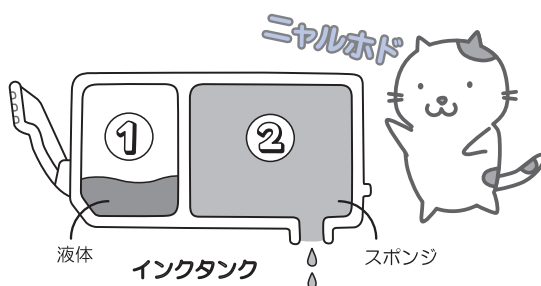
豆知識

ブラックインクが2つあるのはなぜ？

本製品のブラックインクには、染料インク（BCI-326BK）と顔料インク（BCI-325PGBK）の2種類あります。
染料インクはおもに写真やイラストなどの印刷に使われ、顔料インクは文字などの印刷に使われます。それぞれの用途が異なるため、どちらかのインクがなくなっても、もう一方のインクが代わりに使われることはありません。どちらか一方でもインクがなくなった場合には、インクタンクの交換が必要になります。
また、2つのブラックインクは、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定に応じて自動的に使い分けられます。お客様によるインクの使い分けはできません。

豆知識

そんなインクたちを、少なくなったらランプでお知らせ

インクタンク内部は、液体のインクをためている部分（①）とそのインクが染み込んだスポンジ部分（②）とでできています。

まず①がなくなると、インクランプがゆっくり点滅し、インクが少なくなったことをお知らせします。次に②がなくなると、インクランプの点滅がはやくなり、新しいインクタンクへの交換をお知らせします。
⇒「インクタンクを交換する」（P.114）

特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは!?

ヒント!

印刷前に本製品の状態を確認しよう

●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。
⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）

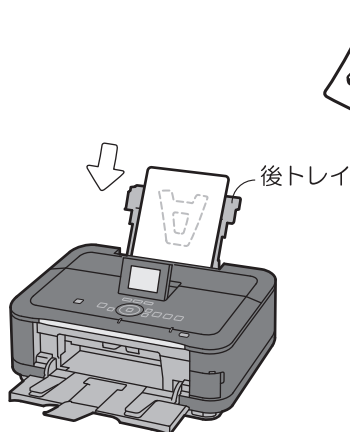
●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インクふき取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

つづく

用紙のセット方法を確認しよう

●用紙の向きは大丈夫？

後トレイとカセットでは、セットする用紙の向きが違います。

印刷したい面を**表**にしてセットする

印刷したい面を**下**にしてセットする

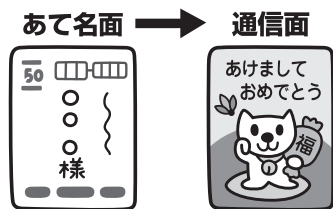
●はがきはどちらの面を先に印刷？

・自動両面印刷のとき

あて名面→通信面の順番で印刷します。そのため、あて名面を先に印刷するようセットしてください。

・片面ずつ印刷するとき

通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

⇒「はがきに印刷するときの注意」(P.101)

●その用紙、反っていませんか？

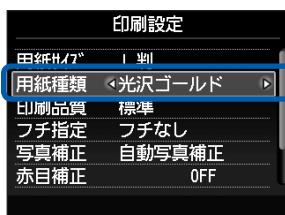
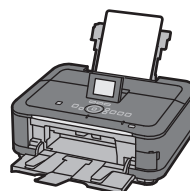
反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

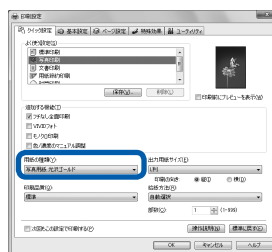
⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」(P.147)

つづく

用紙をセットしたあとは、**用紙の設定**を忘れずに！

STEP 1　用紙をセットしたら

STEP 2　用紙の種類を選ぶ

操作パネル

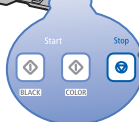
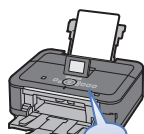
または

プリンタードライバー

用紙のセットが済んだら、操作パネルまたはプリンタードライバーの［用紙の種類］で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.142

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、［用紙の種類］にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を［用紙の種類］で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

付録

印刷中止は、ストップボタン（Stop）で

電源ボタンは**押さない**で！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。印刷を中止したいときは、ストップボタン（Stop）をタッチしてください。

参　考

- パソコンからの印刷中に、ストップボタン（Stop）をタッチしても印刷が中止されないときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、プリンター状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。（Windows）

最新版のMPドライバーを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のMPドライバーを提供しています。
最新版のMPドライバーは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバーを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンのトラブルを解決できることがあります。

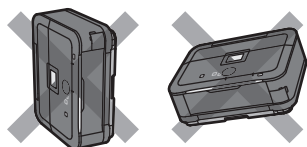
STEP 1 まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のMPドライバーをダウンロード

STEP 2 本製品の電源を切り、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く

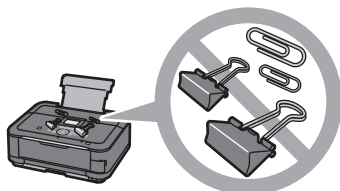
STEP 3 古いMPドライバーを削除する（Windowsの場合）
［スタート］→［すべてのプログラム］→［Canon（ご使用の製品名）series］→［MPドライバーアンインストーラー］の順にクリックします。
以降は画面の指示にしたがってください。

STEP 4 ダウンロードした最新のMPドライバーをインストールする

詳しい手順はキヤノンのホームページをご覧ください。

使用時や移動時に注意することは？

製品を立てたり傾けたりしないで！

製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。
使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

原稿台カバーの上に物を置かないで！

原稿台カバー上には物を置かないでください。原稿台カバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。また、上から物が落ちる場所などには、本製品を置かないでください。

設置場所に気を付けて！

●蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意

蛍光灯などの電気製品と本製品は約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。

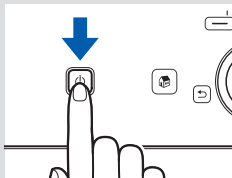
●無線LAN通信時のご注意

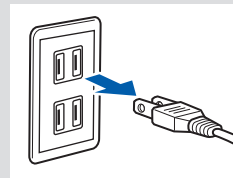
電子レンジの近くに設置すると、通信状態が悪くなる可能性があります。
無線LANに使用されている周波数は電子レンジと同じであるため、電子レンジ使用中は相互干渉により通信状態が悪くなる可能性があります。

いつもきれいな印刷を楽しむためには？

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

●電源プラグを抜くときは次の順番で

STEP 1
本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

STEP 2
電源ランプが消えたことを確認

STEP 3
電源プラグをコンセントから抜く

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いてしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。
電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

●定期的に印刷しよう

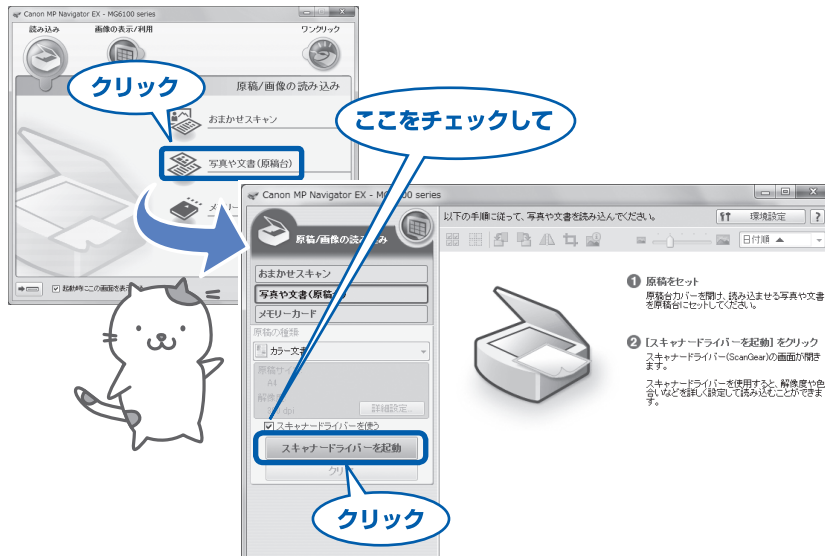
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に１回程度は印刷することをお勧めします。

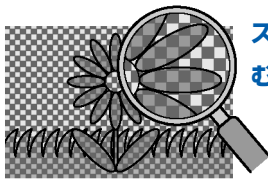
参　考

• 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

付録

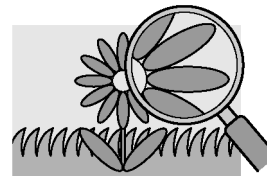
パソコンから 画像がきれいにスキャンできなかったときには？

MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）を使っている場合は、設定を変えてスキャンしてみましょう。

重　要

- ［モアレ低減］や［輪郭強調］を［ON］にすると、スキャンに時間がかかることがあります。
- ［モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっているとモアレが残ることがあります。その場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

スキャンした画像にむらがある……

スキャンした画像がぼやけている……

詳細設定で［モアレ低減］を［ON］にしてスキャン

詳細設定で［輪郭強調］を［ON］にしてスキャン

詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- 本製品の操作パネルからも、［モアレ低減］や［輪郭強調］を設定してスキャンすることができます。⇒「設定を変更する」（P.69）

あれあれ？

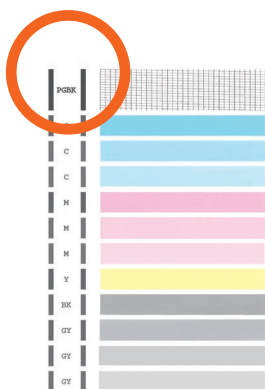
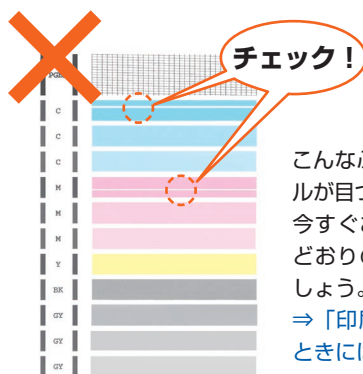
色がおかしい、かすれるなぁ・・

ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

この写真が

ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目づまりしているかどうかがわかります。

ノズルに目づまりはありません。

こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.121）

写真の色合いを調整するときには？

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）を使用したり、プリンタードライバーを使用すると色の微調整をすることができます。

●カラーバランスで、シアン／マゼンタ／イエローなど、色ごとに、強弱が設定できます。

補正なし

カラーバランスで補正

●モノクロ印刷で、冷黒調や温黒調などモノクロの温かみを設定できます。

冷黒調

白黒（標準）

温黒調

●アプリケーションで指定したICCプロファイルにしたがって印刷できます。

sRGB

Adobe RGB

⇒ 詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

●キヤノン PIXUS ホームページ　**canon.jp/pixus**

新製品情報、Q&A、各種ドライバーのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター　**050-555-90015**

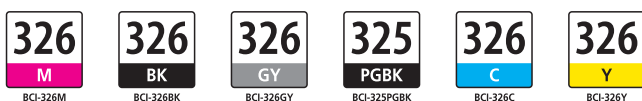
PIXUS・インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、上記の窓口にお願いいたします。
年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口にお願いいたします。

年賀状印刷専用窓口　050-555-90019（受付期間：11/1～1/15）

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00
（1/1～1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9631 をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

326 M	326 BK	326 GY	325 PGBK	326 C	326 Y
BCI-326M	BCI-326BK	BCI-326GY	BCI-325PGBK	BCI-326C	BCI-326Y

インクタンクについてのご注意

・インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例 * も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
・非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、本書の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

QT5-3034-V03　XXXXXXXX

PRINTED IN THAILAND